

久米島町 学校施設等長寿命化計画

令和 3 年 3 月
久米島町教育委員会

目次

序章 はじめに

1. 背景	1
(1) 学校施設の長寿命化の動き	1
(2) 学校施設に求められている機能	1
2. 目的	2
3. 計画期間	2
4. 対象施設	3

第1章 学校施設の目指すべき姿の検討

1. 上位関連計画の取り組み	4
(1) 第2次久米島町総合計画【基本構想・前期基本計画】	4
(2) 久米島町公共施設等総合管理計画	6
(3) 平成29年度公共施設等再配置(案)報告書	8
(4) 久米島町教育主要施策(令和2年度～令和6年度)	9
2. 学校施設の目指すべき姿	10

第2章 学校施設の実態

1. 学校施設を取り巻く状況	11
(1) 人口及び世帯数の推移	11
(2) 将来人口の推計	12
(3) 財政の状況	13
(4) 公共施設の保有量	15
(5) 公共施設等の将来更新費用	16
2. 学校施設の運営・活用状況	18
(1) 児童生徒数の変化	18
(2) 学級数の変化	20
(3) 学校施設の活用状況	22
(4) 学校施設の保有量	23
(5) 学校施設の全体コスト	26
3. 学校施設の老朽化状況	27
(1) 老朽化状況調査の方法	27
(2) 事前ヒアリング(管理者アンケート)調査	28
(3) 構造躯体の健全性評価	32
(4) 構造躯体以外の劣化状況評価	34
(5) 今後の維持・更新コストの把握	36
4. 学校施設の実態を踏まえた課題	38

第3章 学校施設整備の基本的な方針等

1. 学校施設整備の基本方針	39
(1) 長寿命化計画の方針	39
(2) 学校施設の規模・配置計画等の方針	40
2. 改修等の基本方針	44
(1) 長寿命化改修の方針	44
(2) 予防保全の方針	45
(3) 目標使用年数の設定	45
(4) 改修周期の設定	45

第4章 基本的な方針等を踏まえた施設整備の水準等

1. 改修等の整備水準	46
2. 維持管理の項目・手法等	47
(1) 維持管理の項目・手法	47
(2) 情報の更新と整理	47

第5章 長寿命化の実施計画

1. 改修等の優先順位付け	50
2. 実施計画の策定	52
(1) 今後の学校施設の整備について	52
(2) 今後5年間の実施計画	52
3. 長寿命化のコストの見通しと効果	55
(1) 長寿命化のコストの見通し	55
(2) 長寿命化の効果	55

第6章 長寿命化計画の継続的運用方針

1. 長寿命化計画のPDCAサイクル	58
2. 情報基盤の整備・運用と活用方針	58
3. 推進体制等の整備	59
4. フォローアップによる達成状況の管理	59

序章 はじめに

1. 背景

(1) 学校施設の長寿命化の動き

我が国の公共施設は、高度経済成長期に急激な人口増加と社会変化に伴う要請を受け、集中的に整備されました。これらの公共施設は、今後一斉に更新時期を迎えるなど、施設更新の波が加速度的に押し寄せています。このような中、国の関係省庁連絡会議で策定された「インフラ長寿命化基本計画（平成 25 年 11 月）」では、国民の安全・安心を確保し、公共施設の中長期的な維持管理等に係るトータルコストの縮減及び予算の平準化を図る方向性が打ち出されました。全国の公立学校施設においても、昭和 40 年代後半～50 年代に建設された施設が多く、これらの施設も人口減少と少子高齢化が進む中で、更新時期を迎え老朽化が進んでいます。

これを踏まえ、文部科学省では所管する施設のメンテナンスサイクルの構築やトータルコストの縮減、予算の平準化を目指して、平成 27（2015）年 3 月に「文部科学省インフラ長寿命化計画【行動計画】」を策定し、各教育委員会による学校施設に係る「個別施設毎の長寿命化計画（個別施設計画）」の策定を推進することとしています。

久米島町（以下、「本町」という。）においても、公共施設やインフラの維持管理・更新等を着実に推進するため、中長期的な将来予測推計に基づいた整備の基本的な方針を明らかにした「久米島町公共施設等総合管理計画（平成 27 年度策定・平成 28 年度改訂）」（以下、「総合管理計画」という。）を策定しています。総合管理計画によると、本町は建築物で 127 施設、約 8.7 万㎡の公共施設を保有し、各機能別施設の保有割合は、学校教育機能（小学校・中学校）が全体の 34.0%（29,782 ㎡）と最も高く、今後の老朽化対策に多額の費用が必要となることが予想され、いかに計画的かつ効率的に対応していくかが課題となっています。

(2) 学校施設に求められている機能

学校施設は、学校教育活動を行うための基本的な教育条件の一つで、次の時代を担う子供たちが集い、学び、また、生活をする場です。今日では、多様な学習内容・形態への対応など、学校に対するニーズも多様化しており、充実した教育活動を存分に展開するためには、機能的な施設環境を整えるとともに、豊かな人間性を育むのにふさわしい、快適で十分な安全性、防災性、防犯性や衛生的な環境を備えた安全・安心な施設であることが求められています。

一方、学校施設は地域住民にとって最も身近な施設であり、生涯にわたる学習・文化・スポーツなどの活動の場であるとともに、災害時には避難所として活用するなど、地域にとっても重要な役割を担う拠点施設となっています。

今後も、学校教育の向上や地域の振興・再生など、社会的要請に適切に対応できる施設機能の強化とともに、その運営に関する配慮等が求められています。

2. 目的

本町は、沖縄本島西方の東シナ海に位置し、久米島本島（以下、本島という。）及び奥武島・オーハ島の有人離島、さらに鳥島や硫黄島などの無人島を含めた 5 つの島から構成されています。本島の北部は、ラムサール条約に登録されている大岳、宇江城岳、南東部にはアーラ岳を中心とする山地が連なり、南西・南東部の海岸域は、隆起サンゴ礁の内海（イノー）やイーフビーチなど美しい海浜景観を有する海浜地帯に囲まれています。このように、自然の豊かさは海岸域から山地まで広がり、島のほぼ全域と周辺海域は県立自然公園に指定されています。

本町は、小学校 6 校と中学校 2 校の町立学校施設を有しており、少子化による児童生徒数の減少が進む中、近い将来に老朽化対策に多額の費用をかけて行うことが課題となっています。一方で、教育環境の充実、島での子育てにとって最も重要な要素であるとともに、“しっかりとした教育を豊かな自然の中で”といった移住促進策の柱の一つにもなっています。

このため、「久米島町学校施設等長寿命化計画」（以下、本計画という。）は、総合管理計画を上位計画とし、本町が所有する学校施設等について、中長期的な視点に立ち、維持管理及び更新等に係る財政負担の縮減及び予算の平準化を図りつつ、学校施設に求められる機能・性能を確保するとともに、総合管理計画の個別計画として実行可能な計画策定により学校施設における将来及び地域ビジョンの創造を図ることを目的とします。

3. 計画期間

上位計画である総合管理計画は、公共施設の耐用年数等をかんがみ、中長期的な視点が不可欠であることから平成 26（2014）年度から令和 36（2054）年度までの 40 年間の将来予測推計に基づき、今後 10 年間の方向性を策定しています。本計画においても、総合管理計画の個別計画に位置付けられること、計画を推進するためには中長期的な視点が不可欠であることから、将来の改築や長寿命化改修などの維持・更新コストの把握に際しては、文科省提供ソフトに準じて令和 3（2021）年度から 40 年間を見据えたものとします。これに基づき、本計画の計画期間は、令和 3（2021）年度から令和 12（2030）年度までの「10 年間」とします。

なお、急激な社会情勢・経済情勢の変化に対応し、財政計画及び総合管理計画との整合を図ることで、より実効性の高い計画とするため、必要に応じて適宜見直しを行います。

 **計画期間を令和 3（2021）～令和 12（2030）年度までの「10 年間」とします**

4. 対象施設

本計画の対象施設は、本町が保有する「小学校・中学校の学校施設」（以下、「対象学校施設」という。）とします。また、対象となる学校施設8施設の建物用途は、校舎、屋内運動場及び水泳プールや倉庫等のその他建物とし、教員住宅は対象外とします。以下に、対象学校施設の一覧とその位置を示します。

■対象学校施設一覧

番号	学校調査番号	名称	よみ	所在地	児童生徒数(人)		
					普通	特支	計
1	0262	仲里小学校	なかざと	久米島町字謝名堂970番地	121	11	132
2	0263	美崎小学校	みさき	久米島町字真謝103番地	43	3	46
3	0264	久米島小学校	くめしま	久米島町字儀間1番地	50	4	54
4	0265	比屋定小学校	ひやじょう	久米島町字宇江城2220番地	11	0	11
5	0267	大岳小学校	おおたけ	久米島町字山里177番地	74	1	75
6	0268	清水小学校	しみず	久米島町字鳥島198番地	135	8	143
小学校児童数計					434	27	461
7	3676	球美中学校	くみ	久米島町字比嘉2856番地	94	5	99
8	3732	久米島西中学校	くめじまにし	久米島町字西銘1324-1番地	113	4	117
中学校生徒数計					207	9	216
児童生徒数合計					641	36	677

※児童生徒数は令和2年5月1日現在、「特支」は特別支援

資料：令和2年度公立学校施設等の統括表

■対象学校施設位置図



第1章 学校施設の目指すべき姿の検討

1. 上位関連計画の取り組み

(1) 第2次久米島町総合計画【基本構想・前期基本計画】

「第2次久米島町総合計画（平成28年3月策定）」（以下、「総合計画」という）は、「人口減少に歯止めをかける」を最大のテーマに据え、計画の期間を平成28(2016)年度から令和7(2025)年度、人口目標を8,500人、将来像を『夢つむぐ島ー島人みんなで織り上げる未来ー』とし、基本構想は目指す将来像とそこに向かうアプローチを示しています。また、前期基本計画（～令和2(2020)年度まで）は、将来像を実現させるための8つの島づくりの目標とこれに沿った44の施策の柱をまとめています。

■ 施策の体系

将来像	島づくりの目標		施策の柱	
夢つむぐ島 ー島人みんなで織り上げる未来ー	人を惹きつける島	すべての世代が生き活きと暮せる島	1 「生まれる」世代のために 安心して「出産」できる島の実現	1 出産できる島の実現 2 出産サポートの充実
			2 「育つ」世代のために 安心して「子育て」できる島の実現	3 子育て支援体制の充実 4 子どもの遊び場の充実 5 発達障がい児の支援充実 6 子ども健康プロジェクトの推進
			3 「学ぶ」世代のために 幼児・小中高等学校教育の充実 生涯教育の充実	7 幼児教育の充実 8 小中学校教育の充実 9 高校教育の充実 10 文化・社会教育環境の充実 11 生涯学習体制の充実
			4 「働く」世代のために 連携する産業振興 働く質の向上	12 連携する産業振興体制づくり 13 暮らしの立つ農業地域づくり 14 多面的な漁業の振興 15 製造業の振興 16 商業・サービス業の振興 17 働きやすい職場環境の整備
			5 「暮らす」世代のために 安心・快適な生活環境づくり 島民の健康づくり推進 共に暮らせる島づくり	18 交通の便利な島づくり 19 安全な水の安定供給 20 ゴミのない島づくり 21 環境を守る下水道、し尿処理 22 安心して暮らせる島づくり 23 災害に強い島づくり 24 快適な住環境づくり 25 島民の健康づくり推進 26 スポーツ・レクリエーションの振興
			6 「老いる」世代のために 高齢者福祉の充実	27 福祉の充実 28 多様なニーズに応えられる町づくり 29 高齢者の生きがいある暮らしづくり 30 高齢者の健康増進 31 高齢者が安心して暮らせる島づくり
			7 「次世代」のために 次世代のための島づくり 総合計画実現に向けて	32 新しいビジネスの創出 33 未来を見据えた人材育成 34 伝統文化の継承と文化遺産の保護・活用 35 食糧自給率の向上 36 再生可能エネルギーによるエネルギーによるエネルギー自給率向上 37 島の豊かな自然資源の保護・活用 38 連携する総合計画推進 39 住民に分かりやすく効率的な行財政運営
			8 「旅したい」「移住したい」「帰ってきたい」人のために 久米島らしさの醸成 情報発信力の強化 交流人口・移住定住人口の増大	40 久米島らしいライフスタイル・ブランドの確立 41 情報発信力の強化 42 交流文化の推進 43 観光の振興 44 移住定住促進体制の充実

前期基本計画においては、分野別に計画の方向性や主な取り組みを定め、各事業計画を進めていくこととしています。以下に、本計画に関連する【3.「学ぶ」世代のために】の分野における基本計画の概要を示します。計画では、島で学ぶ子供たちが夢を持ち、実現に向かって確かな力をつけるため、学校・家庭・地域が連携して支援することを目指しています。

■関連する基本計画の概要

★島づくりの目標：3「学ぶ」世代のために ⇒ 幼児・小中高等学校教育の充実

★施策の柱：8 小中学校教育の充実

1. 教育環境の充実

- ★児童生徒の学力向上推進の充実
 - 基礎学力向上支援員の確保と配置に取り組む
 - 学習センター（町営塾）の中学生向けの開設検討を行う
- ★キャリア教育の充実
 - 地域・企業・行政団体と連携したキャリア教育を推進する
- ★施設整備の充実
 - 学校 ICT 環境の充実に取り組む
 - 旧耐震施設の耐震化及び老朽化対策を推進する
- ★学校給食センターの整備
 - 給食センターの改築に取り組む

2. 教育事業の充実

- ★研究事業の充実
 - 学年会・教務主任会（小）、教科会・教務主任会において指導方法の共有や情報交換を図ることにより指導技術の向上を図る
- ★各種検定の無料化の推進、各種大会派遣の支援
 - 学習意欲を高めるための各種検定、児童生徒の実態把握のための検定の支援を行う
 - 島外でのスポーツ・文化等の各種大会への派遣費について一部補助の支援を行う
- ★国際理解教育の推進
 - ALT、JET を派遣しての英語教育の充実、英検 3 級以上の中学生 3 名をアメリカ等海外へホームステイ派遣する

3. 教師の授業力の向上

- ★教育研修の充実
 - 授業力向上のため島外講師招聘補助や町主催研修を実施する

4. 家庭の教育力の向上

- ★保護者と連携した家庭教育の充実
 - 家庭の日、ファミリー読書の日の習慣化の推進を図る
- ★児童生徒の基本的な生活習慣の確立
 - PTA や地域が協力・連携して行う基本的な生活習慣の確立に向けた取組を推進する

5. 交流事業促進

- ★児童生徒の他地域交流事業の推進
 - 気候風土や文化、習慣の異なる地域あるいは、久米島とゆかりのある地域との児童生徒の交流を積極的に実施する

6. 地域の教育力の向上

- ★子ども達の地域活動への参加促進
- ★子ども達への声かけ、見守り体制の充実
 - 自治会や町内各種団体・サークル等と連携を図り、地域教育力の向上に取り組む
 - 子ども達が地域の歴史、文化、産業の理解に対する取組を促進する。
- ★放課後子ども教室の充実
 - 各小学校に設置している教室の継続を促進する
- ★スポーツクラブ、趣味、余暇など課外活動の促進
 - 各活動の活性化を図るため、発表の場を創出する
- ★久米島に対する理解促進
 - 地域資源の積極的な利活用を推進する

(2) 久米島町公共施設等総合管理計画

総合管理計画では、公共施設の老朽化が進む中、施設の実態をハード・ソフト両面からできるだけ正確に把握し、将来に生じる改修・更新投資額を予測し、財政的に次の世代に引き継げる公共施設の整備、改修・更新、管理運営のあり方を示すため、以下に示す管理に関する基本的な考え方を定めています。また、本計画に関連する学校教育機能（小学校・中学校）の現状と課題、管理に関する基本的な考え方を次頁に掲げます。

■公共施設等の管理に関する基本的な考え方

1. 計画期間

○中長期的な視点が不可欠であることから、平成 26 年度（2014 年）から平成 66 年（2054 年）までの 40 年間の将来予測推計に基づき、今後 10 年間の方向性を策定。

2. 数値目標

- 公共建築物に関して新規建設費用（平成 25 年度ベース：約 5 億円）を約半分程度に抑える。
- 現存の公共建築物に関して、人口動態の推移や利用率が低下している施設、設置目的が重複している施設は統合または廃止、複合化等を検討し、40 年間で総延床面積の 30%削減を目標とする。
- 更新コスト削減を図るための長寿命化計画や必要な施設の老朽化対策、適切な維持管理等に対して平成 28 年度を目標に策定する。

3. 点検・診断等の実施方針

- 公共施設は、法定点検だけでなく劣化状況や利用状況等の把握しながら、必要に応じて専門業者による劣化診断等を実施して詳細な状況把握を行っていく。また、定期的な安全点検等により状況を随時確認し、関係者で情報共有を図りながら適正な管理を行う。
- インフラは、インフラ長寿命化計画（個別施設計画）など国土交通省から示される技術基準等に準拠しつつ、適正に点検・診断等を実施する。

4. 安全確保の実施方針

- 公共施設に求められている最低限の機能は安全性の確保である。施設管理者の定期的な巡回点検や建築基準法の定期報告など各種法令に基づく点検などを適正に実施する。また、指定管理者制度を採用している施設では適正な施設管理の徹底を指定管理者と協働で実施する。

5. 長寿命化の実施方針

- 点検の強化及び早期の管理・修繕により更新コストの削減を目指すため、長寿命化計画の策定及びこれに基づく予防管理、長寿命化に資する改善を推進する。

6. 民間活用（PFI/PPP 等）活用の考え方

- 施設の維持管理・運営コストを抑制しつつサービスの質を向上するため、指定管理者制度などを活用する。

7. 維持管理・修繕・更新等の実施方針

- 限られた財源を効果的に活用するため効率的な維持管理等を実施する。
- インフラは、劣化状況等を把握しながら効率的な維持管理・修繕・更新等に努める。

8. 耐震化の実施方針

- 新耐震基準は昭和 56 年 6 月 1 日以降に建築確認を受けた建物に適用されていることから、改正前の旧耐震基準により設計・建築された建物は耐震性のない建物となるため、耐震化の必要な施設については、経過年数や危険度等を勘案し適切に対応する。

9. 統合や廃止の推進方針

- 社会情勢や経済状況が大きく変化する中で、設置の目的や意義が薄れ、利用率が低下している施設や設置目的が重複している施設は統合・廃止に努める。

■学校教育機能（小学校・中学校）の現状と課題、管理に関する基本的な考え方

★現状

- 学校教育機能（小学校・中学校）の施設は、全体で8施設あり、小学校は6校、中学校2校と中学校で2校の統廃合を行っている状況。
- 小・中学校は、築後30年以上の仲里小学校（1975年）、比屋定小学校（1977年）、清水小学校・美崎小学校（共に1979年）、久米島小学校（1980年）、大岳小学校（1981年）があり、耐震基準を満たしていない建物等がある。
- 老朽化の状況は、8施設中、老朽化比率60%以上（更新検討施設）が6施設あり、その全てが小学校で、全体としても老朽化比率が高い状況にある。
- 平均コストは50,301千円で、児童数の多い清水小学校や生徒数の多い2つの中学校が平均より高い状況。
- 小学校の平均コストは約35,947千円、中学校の平均コストは約93,363千円で、大岳小学校・清水小学校が平均より高い状況にある。
- コストを児童一人当たりで見ると、児童数の多い清水小学校と仲里小学校以外は平均コスト（児童一人当たり）より高く、6校とも老朽化比率が高いため、今後は維持管理コストの他に建替コストが発生すると思われる。

★課題

- 特に小学校の6校の平均老朽化率は71.0%に達しており、今後小学校の建替えや大規模修繕等が発生すると考えられる。
- 小学校の児童数は、2007年（平成19年）をピークに徐々に減少傾向にある。

★管理に関する基本的な考え方

- 小学校に関しては、児童数の減少等が懸念されるが現段階においては継続し、施設に関しては老朽化が進んでいるため更新（建替え）にて対応する。
- 中学校に関しては、H19年度およびH26年度に統廃合をおこなったため、しばらくは2中学校にて継続する。

(3) 平成 29 年度公共施設等再配置(案) 報告書

「久米島町公共施設等総合管理計画・平成 29 年度公共施設等再配置(案) 報告書」(以下、「公共施設等再配置(案)」という。)は、総合管理計画を上位計画とする個別施設計画策定にあたって、各施設類型における基本方針・施設の再配置(案)などをとりまとめたもので、総合管理計画の全施設を対象に平成 30 年 3 月に策定され、今後緊急性の高いものから優先的に個別施設計画の検討・策定を行うことが望まれるとしています。以下に、本計画に関連する学校教育機能の再配置案とアクションプランを示します。

■ 学校教育機能の再配置案・アクションプラン

No.	施設名	判定	アクションプラン	
1	大岳小学校	維持・長寿命化	校舎	2017 年度：点検 2022～2023 年度：長寿命化工事
			校舎(特別教室)	2035、2045 年度：長寿命化工事
			校舎(普通教室)	2029、2039 年度：長寿命化工事
			体育館	2040、2050 年度：長寿命化工事
2	清水小学校	維持・長寿命化	特別教室棟	2037、2047 年度：長寿命化工事
			普通教室棟	2020～2021 年度：長寿命化工事
			普通教室棟	2020～2021 年度：長寿命化工事
			管理棟	2022、2028 年度：長寿命化工事
			放送室	2022、2028 年度：長寿命化工事
			クラブハウス	2033、2043 年度：長寿命化工事
3	久米島小学校	維持・長寿命化	管理・普通・特別教室棟	2019 年度：点検 2022～2023 年度：長寿命化工事
			特別教室棟	2019 年度：点検 2022～2023 年度：長寿命化工事
			屋内運動場	2039、2049 年度：長寿命化工事
			屋内運動場	2039、2049 年度：長寿命化工事
4	比屋定小学校	維持・長寿命化	校舎	2020、2025 年度：長寿命化工事
			校舎	2021、2031 年度：長寿命化工事
			校舎	2021、2031 年度：長寿命化工事
			校舎	2037、2047 年度：長寿命化工事
			校舎(特別教室)	2037、2047 年度：長寿命化工事
			体育館	2038、2048 年度：長寿命化工事
5	美崎小学校	維持・長寿命化	校舎	2019 年度：点検 2021～2022 年度：長寿命化工事
			校舎	2019 年度：点検 2021～2022 年度：長寿命化工事
			特別教室棟	2043、2053 年度：長寿命化工事
			体育館	2034、2044 年度：長寿命化工事
6	仲里小学校	維持・長寿命化	特別教室棟	2019 年度：点検 2021～2022 年度：長寿命化工事
			管理・普通・特別教室棟	2019 年度：点検 2021～2022 年度：長寿命化工事
			普通・特別教室	2028、2038 年度：長寿命化工事
			体育館	2031、2041 年度：長寿命化工事
7	久米島西中学校	維持・長寿命化	特別教室棟	2031、2041 年度：長寿命化工事
			多目的教室棟	2031、2041 年度：長寿命化工事
			管理棟	2044、2054 年度：長寿命化工事
			普通教室棟	2044、2054 年度：長寿命化工事
			屋内運動場	2048 年度：長寿命化工事
8	球美中学校	維持・長寿命化	特別教室棟	2019、2024 年度：長寿命化工事
			普通教室・特別教室棟	2020、2030 年度：長寿命化工事
			特別教室棟	2033、2042 年度：長寿命化工事
			9 号棟	2052 年度：長寿命化工事
			クラブハウス	2025、2035 年度：長寿命化工事
			屋内運動場	2036、2046 年度：長寿命化工事

(4) 久米島町教育主要施策(令和2年度～令和6年度)

「久米島町教育主要施策(令和2年度～令和6年度)」は、本町教育の最重要課題である、「多様な能力を発揮し未来を拓く島の担い手となる人材の育成」をめざして、学校教育並びに生涯学習の諸施策を推進するために久米島町教育委員会により策定されています。以下に、教育の目標と本計画に大きく関連する目標達成のための主要施策の概要を掲げます。

■教育の目標と主要施策

教育の目標

- ◆自ら学ぶ意欲を育て、学力の向上を目指すとともに、豊かな表現力とねばり強さを持つ幼児児童生徒を育成する。
- ◆平和で安らぎと活力ある社会の形成者として、郷土文化の継承・発展に寄与し、国際社会・情報社会等で活躍する心身ともに健全な県民を育成する。
- ◆学校・家庭・地域社会の相互の連携及び協力のもとに、時代の変化に対応し得る教育の方法を追求し、生涯学習社会の実現を図る。

主要施策の概要

1. 教育課程の効果的な推進

- 教育課程編成の原則を踏まえる。 ○教育課程編成・実施に係る指導計画の充実を図る。
- 教育課程の評価・改善の充実を図る。

2. 学習指導の工夫・改善・充実

- 授業改善、指導体制や指導方法の確立を図る。 ○指導方法の改善・充実を図る。
- 指導と評価の一体化を図る。
- 「沖縄県学力向上推進5カ年プラン・プロジェクトⅡ」の推進を図る。

3. 道徳教育の充実

4. 健やかな心と体を育む教育の充実

- 学校・家庭・地域社会と連携して健康教育・保健管理の充実を図る。
- 体育・スポーツ活動の指導の充実を図る。

5. 生徒指導の充実

6. キャリア教育の充実

- キャリア教育の理解、校内体制等の確立を図る。 ○進路指導の取組の充実を図る。
- 職場体験活動(小：職場見学、中：職場体験)の取組の充実を図る。

7. 特別活動の充実

- 指導計画の充実、指導体制の確立を図る。 ○特別活動の内容の重点化と指導の充実を図る。
- 家庭や地域社会との連携の充実を図る。

8. 特別支援教育の充実

- 特別支援教育を行うための体制の整備及び必要な取組。
- 特別支援学級の教育課程の充実を図る。 ○就学相談体制の充実を図る。

9. 食育の推進

10. 学校安全・防災教育の推進

- 学校安全の推進に関する計画の策定。 ○防犯教育の充実を図る。
- 交通安全教育の充実を図る。 ○河川・海浜等における事故防止の充実を図る。

11. 平和教育の充実

12. 国際理解教育・外国語教育の推進

- 学校の教育活動全体を通じて国際理解教育の推進を図る。
- 小学校における外国語活動の充実を図る。 ○中学校の外国語(英語)教育の充実を図る。

13. 情報教育の充実

- 学校教育全体を通じた情報教育の取組の充実を図る。
- 情報通信ネットワークや教育用コンテンツ活用の取組の充実を図る。
- 指導内容や指導方法の取組の充実を図る。 ○情報モラル指導や情報安全管理の取組の充実を図る。

14. へき地教育の充実

- へき地の特性を生かした体験的な学習の充実を図る。
- 少人数・複式学級における学習指導の改善・充実を図る。
- 合同学習、集合学習、交流学习等を積極的に展開する。

15. 子どもの貧困対策の推進

2. 学校施設の目指すべき姿

学校施設の目指すべき姿は、前述の本町の総合計画や教育施策を踏まえて、本町の学校施設整備の目標像として検討します。

検討するにあたっては、文部科学省の「学校施設整備基本構想の在り方について」（学校施設の在り方に関する調査研究協力者会議：平成25年3月）を参考として、「安全・安心で快適な生活学習環境」、「充実した学習活動」、「地域の拠点機能」の3つの視点から検討し、目指すべき姿を以下のように設定します。

■学校施設の目指すべき姿

多様な能力を発揮し未来を拓く島の担い手となる人材の育成

「学ぶ」世代のために ～小中学校教育の充実～

■安全・安心で快適な生活学習環境を備えた学校 【安全性・快適性】

学校は、児童生徒の学習の場であるとともに、生活の場であることから、心豊かな人づくりにふさわしい、十分な安全性、防災性、防犯性や衛生的な環境を備えた、安全・安心で快適な施設環境を整えます。

- 地震に強い学校：校舎等の躯体や非構造部材の耐震化、機材の転倒対策の整備
- 安全で安心な学校：児童生徒を事故から守るため、学校施設の安全点検の実施並びに老朽化による建物部位の落下防止や剥落・剥離の防止とともに、危険回避能力の育成による河川・海浜等における水難事故の防止
- 防災意識の高い学校：学校の実情に応じた「危機管理マニュアル」の作成・効果的な活用とともに、各種防災訓練や校内研修等の実施による危険予測・回避能力の育成

■充実した学習活動に対応した学校 【学習効率の向上】

学校は、基礎的・基本的な学力の定着を図る子供たちの学習の場であり、「未来に生きる確かな学力」を身に付けるための学校教育活動を行う場であるため、充実した教育活動を存分に展開し、学習効率を向上できるよう、機能的な施設環境を整えます。

- 小人数・複式教育が充実した学校：合同学習、集合学習、交流学習等を積極的に展開し、コミュニケーション能力を向上させるべき地教育の充実
- 学びの質を高める学校：自発的な学習や主体的な行動を促すなど、学習指導の工夫・改善による、「主体的・対話的で深い学び」の実現
- 「豊かな心」を育む特色ある学校：道徳教育の充実により基本的な生活習慣を育むとともに、郷土教育や伝統文化教育等、家庭・地域との連携による郷土に根ざした体験活動の活発化
- 特別支援教育が充実した学校：言語通級指導教室、自閉症・情緒障害通級指導教室、LD、ADHD通級指導教室など、特別支援教育を行うための体制整備や教育課程の充実
- ICT機器を積極的に活用する学校：情報教育の効果を高めるため、大型掲示板装置、書画カメラ、無線LAN環境の整備による、情報通信ネットワークや教育用コンテンツの活用

■地域のコミュニティ拠点機能を備えた学校 【地域の拠点化】

学校は、地域にとって最も身近な施設であり、生涯学習や文化、スポーツ活動など、コミュニティ拠点として、また、災害時の避難所として重要な役割を担っているため、拠点機能や防災機能が強化された施設環境を整えます。

- 地域に開かれた学校：学校・家庭・地域との緊密な連携・協力体制を構築するとともに、地域社会と積極的に交流し、地域の特性が生かされた地域教育力の向上
- 防災機能を備えた学校：災害時の緊急避難場所や避難所に指定されているため、防災備蓄の整備や各種避難訓練の充実
- バリアフリーに配慮した学校：長期的な二次避難所や地域行事の場となるなど、児童生徒だけでなく地域の高齢者等の多様な利用者の利便性と安全性向上のため、スロープ設置などの段差解消や手すりの設置、多目的トイレの整備などバリアフリー化の推進

第2章 学校施設の実態

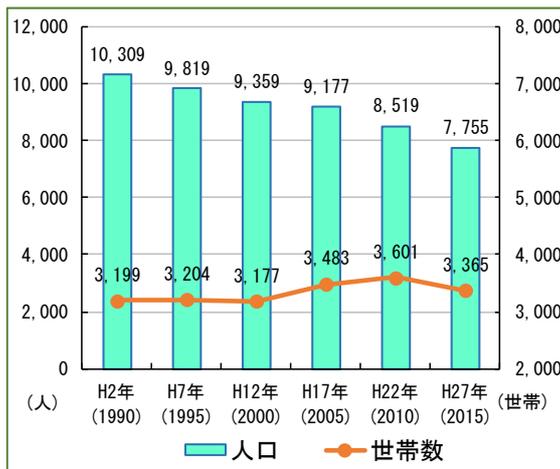
1. 学校施設を取り巻く状況

(1) 人口及び世帯数の推移

本町の国勢調査人口は、平成7(1990)年をピークに一貫して減少傾向が続き、平成27(2015)年では7,755人と、ピーク時から25年で2,554人の減少となっています。世帯数は、それまでの増加傾向から平成27(2015)年には減少に転じ、3,365世帯となっています。直近5年間の推移を推計人口でみると、人口は減少傾向にあり、730人の減少となっています。一方、世帯数は平成28(2016)年に減少して以降は横ばい傾向で推移しています。

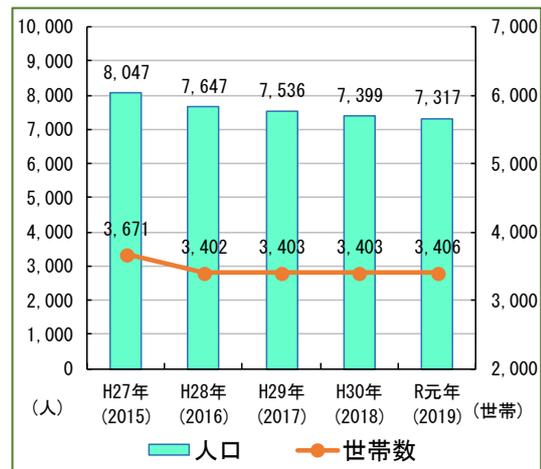
年齢3区分別人口構成比の推移をみると、生産年齢人口は概ね横ばい傾向にあるものの、実数は減少傾向にあり、25年間で1,644人の減少となっています。特に、年少人口構成比の減少が大きく、平成27(2015)年には15.7%(1,218人)となり、実数において平成2(1990)年の2,413人から半数近くまで減少しています。一方、老年人口構成比は増加の一途をたどり、平成27(2015)年では26.5%となっています。

■人口及び世帯数の推移



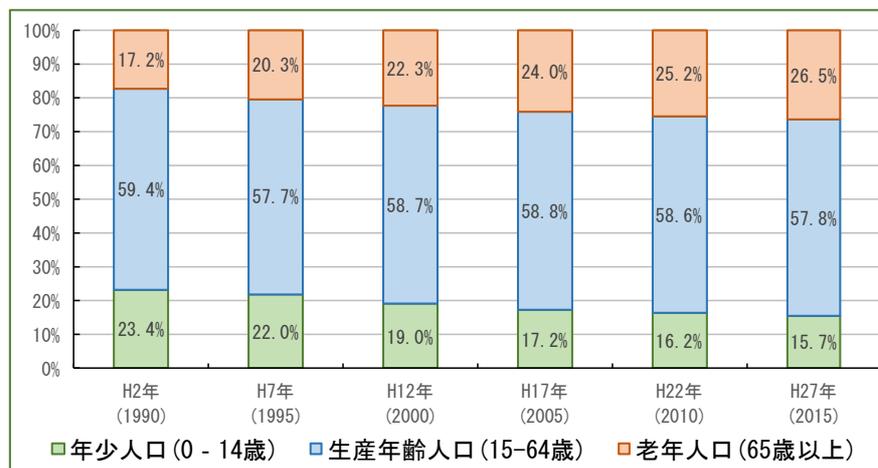
資料：国勢調査

■住民基本台帳に見る近年の人口推移



資料：沖縄県推計人口データ一覧

■年齢3区分別人口構成比の推移



※総人口には年齢不詳人口を含まない

資料：国勢調査

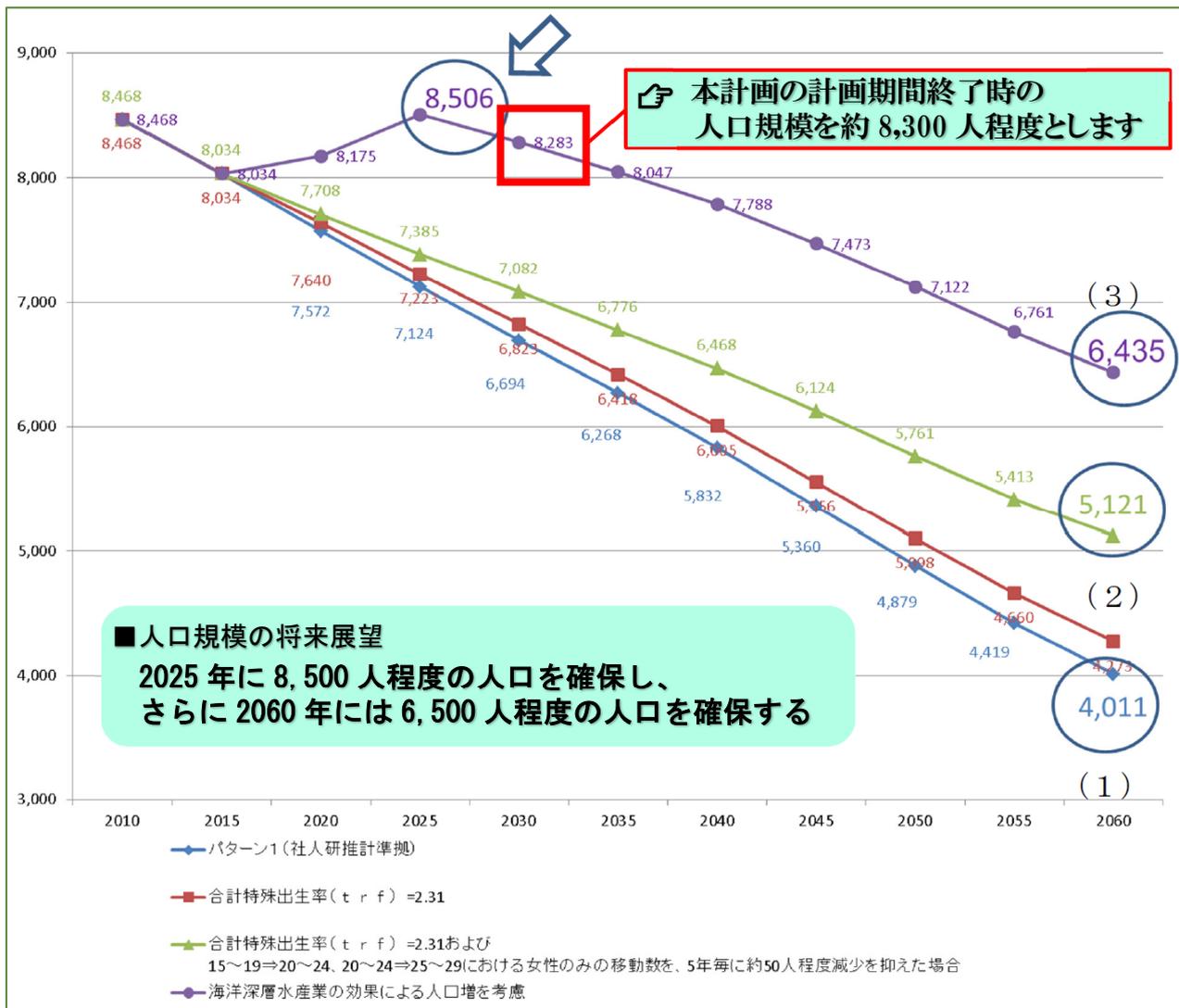
(2) 将来人口の推計

本町の将来人口の推計について、「久米島町人口ビジョン（平成 28 年 3 月）」では、以下に示す将来の方向の基本的視点（提言 1～4）に基づき、将来目指すべき人口規模を「2025 年に 8,500 人程度の人口を確保し、さらに 2060 年には 6,500 人程度の人口を確保する」としています。本計画においてもこれに準じるものとし、計画期間終了時である令和 12（2030）年の総人口は、グラフから「約 8,300 人程度」を見込みます。

■将来の方向の基本的視点

- ★提言 1：子どもたちが島で教育を受け続けられる体制づくり
- ★提言 2：出産年齢の女性（特に島出身）が生活できる環境づくり
- ★提言 3：島の魅力づくり（高齢者の活躍の場づくり）
- ★提言 4：社会増を伸ばす

■将来人口シミュレーション



※2015年から500人程度を増加させれば8,500人になるが、自然減や社会減少は続くので、実質860人を増加させることで2025年に約8,500人が確保可能（生産年齢人口を2020までに360人、2025年までに500人増、計860人増加を仮説値とする）。各年齢階層の増加幅は、会社の一般的な構成に従う。さらに、産業活性化による社会増が見込めることから、2015年から2025までの生産年齢における社会増減幅を男女問わず、移動なし(0%)と設定し、2025年以降は、社人研予測より半分の社会減少率を確保する。

資料：久米島町人口ビジョン

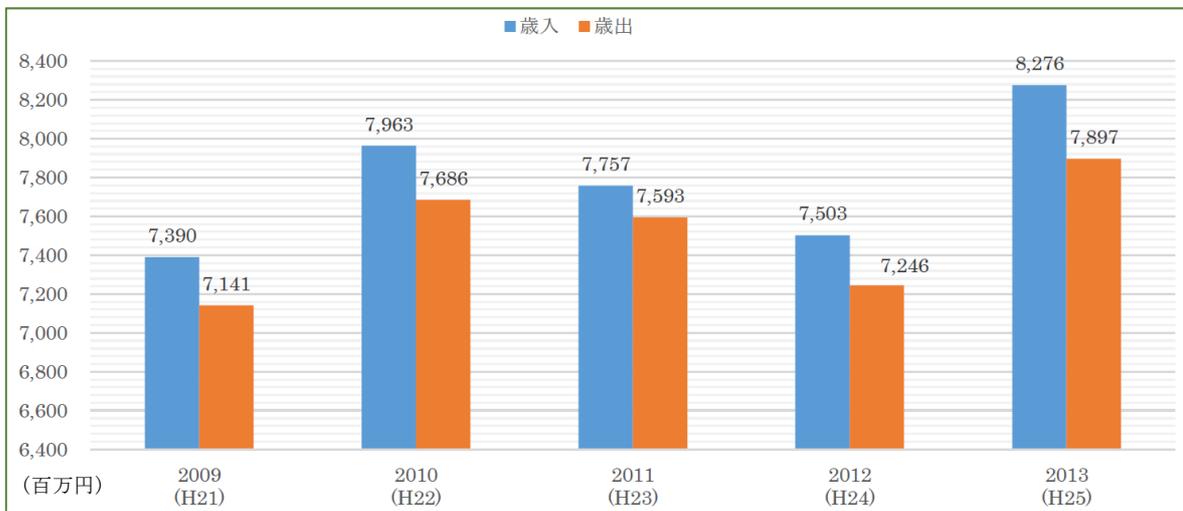
(3) 財政の状況

本町の財政の状況について、平成 25 (2013) 年度の一般会計決算における歳入は 82 億 76 百万円、歳出は 78 億 97 百万円となっており、「沖縄振興特別推進交付金」の影響を受け県支出金が増加しています。

歳入の内訳を自主財源（町税、繰越金、繰入金、諸収入等）と依存財源（地方交付税、町債、国庫支出金、県支出金、地方消費税交付金等）に分類すると、自主財源が 15.0%、依存財源が 85.0%となり、依存財源の占める割合が高く、地方交付税の縮減・見直しなどもあり、今後は自主財源の確保をさらに推し進める必要があります。

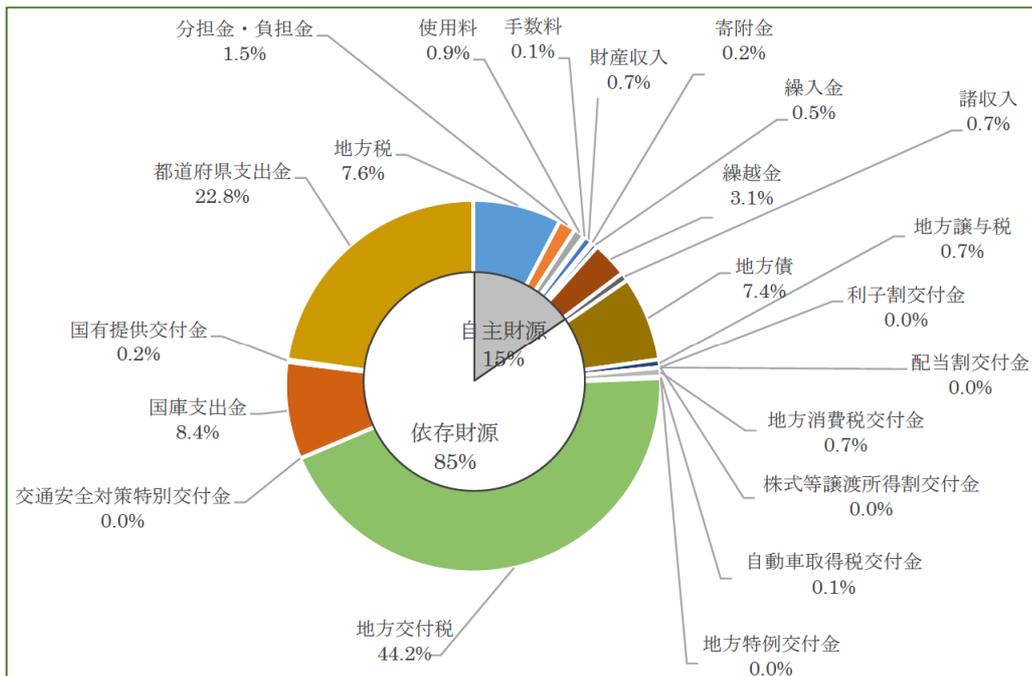
一方、歳出では次頁に示すように一般会計における普通建設事業費は、平成 25 (2013) 年度で 19 億 28 百万円となっており、前年度に比べ大きく増加しています。

■一般会計決算状況



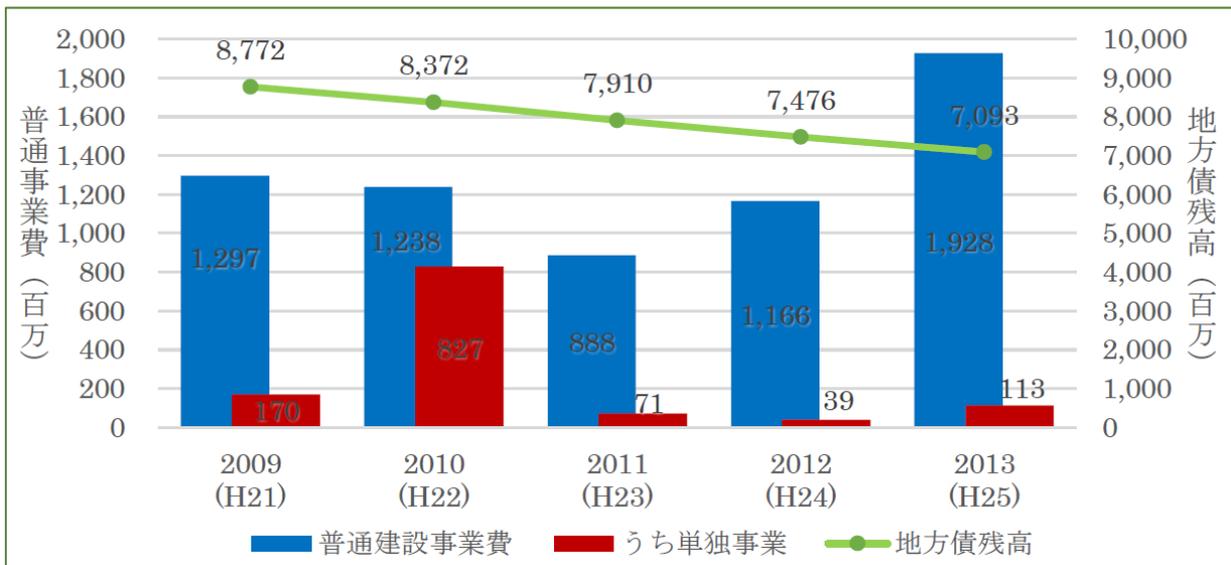
資料：久米島町公共施設等総合管理計画

■一般会計歳入の内訳



資料：久米島町公共施設等総合管理計画

■ 普通建設事業費・地方債残高の推移



資料：久米島町公共施設等総合管理計画

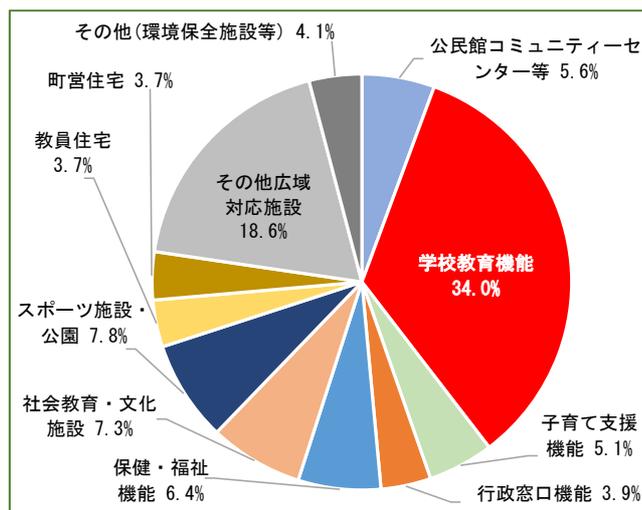
(4) 公共施設の保有量

本町が保有する公共施設のうち、建築物の整備量（延床面積）は、全体で87,622㎡となっています。整備のピークは、第1回目が1975～1984年の10年間、第2のピークが1993～2003年の約10年間となっており、第1回目のピーク時に建設された施設は、築後30～39年ほど経っているため、建替えの検討に入るべき施設群と考えられます。

施設を機能別に延床面積の構成比でみると、本計画の対象学校施設である学校教育機能が34.0%（29,782㎡）で最も割合が高く、次いでその他広域対応施設（農林・水産・観光・その他）で18.6%（16,300㎡）となっています。

■ 公共施設の保有状況

施設分類	延床面積 (㎡)	構成比	主な施設
公民館コミュニティセンター等	4,925	5.6%	地区公民館、地区集会所、構造改善センター、農村振興集落センター、漁民研修センター
学校教育機能	29,782	34.0%	校舎、体育館、プール施設等
子育て支援機能	4,441	5.1%	保育所、幼稚園
行政窓口機能	3,385	3.9%	役場庁舎
保健・福祉機能	5,573	6.4%	地域福祉センター、老人福祉センター、診療所、保健指導所、高齢者コミュニティセンター
社会教育・文化施設	6,355	7.3%	久米島紬訓練所、島の学校体験交流施設、ホテル館、博物館、ユイマール館、海洋深層水ふれあい館、伝統工芸体験施、ウミガメ館
スポーツ施設・公園	6,840	7.8%	五枝松園地売店、野球場、ホテルドーム、多目的グラウンド、パークゴルフ場、総合グラウンド、B&G海洋センター
教員住宅	3,200	3.7%	各小中学校教員住宅
町営住宅	3,268	3.7%	町営住宅団地
その他広域対応施設	16,300	18.6%	薬用作物等農産加工施設、漁港、農村環境改善センター、水産鮮度保持施設、花卉出荷及び貯蔵施設、港ターミナル、と畜場、消防署、堆肥センター、学校給食センター、漁港漁船保全修理施設
その他 (環境保全施設等)	3,553	4.1%	リサイクルセンター、展望台、クリーンセンター、火葬場、仲原家
合計	87,622	100.0%	-



資料：久米島町公共施設等総合管理計画

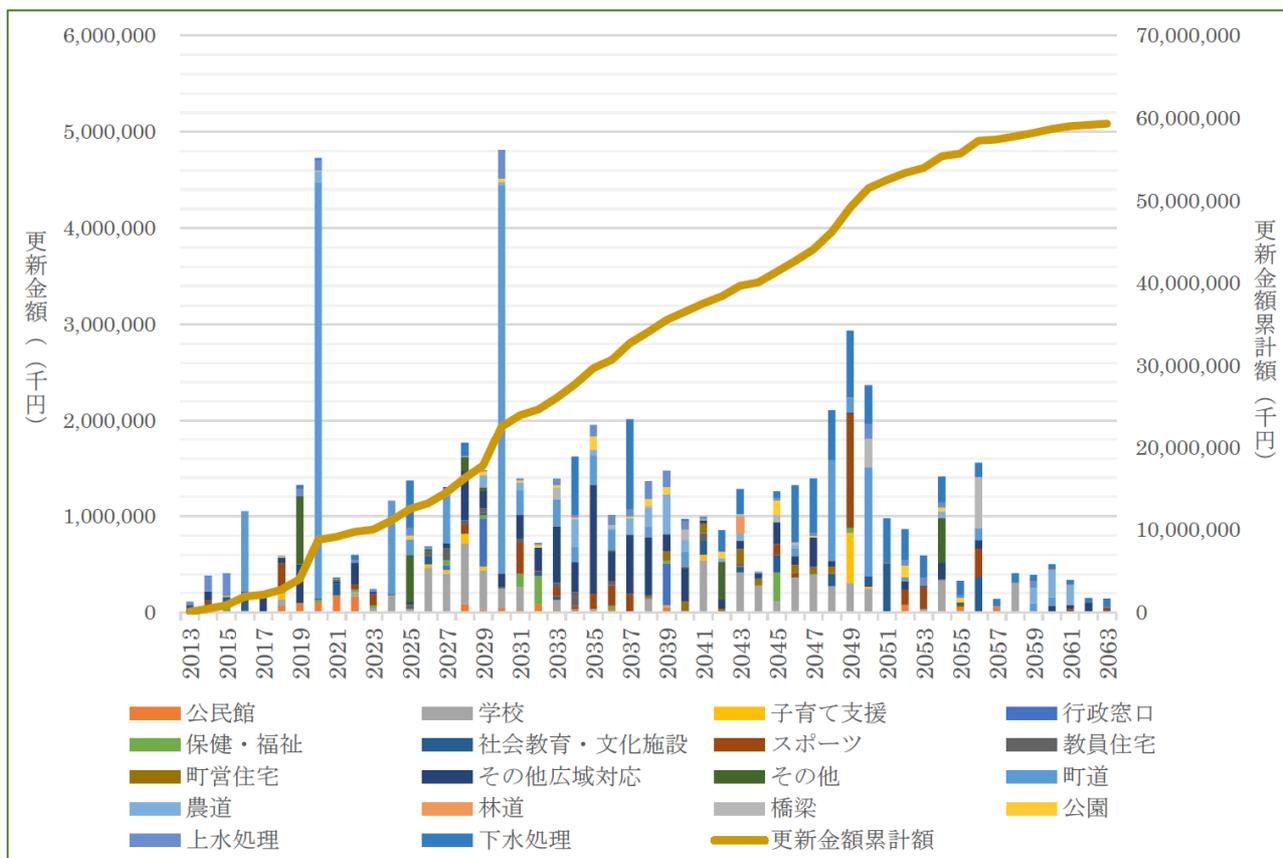
(5) 公共施設等の将来更新費用

①公共施設（全体）に係る更新投資の試算

インフラ施設を含めた公共施設全体の今後50年間の更新投資を試算すると、以下のグラフのように50年間の更新投資額は約593億円、平均年間必要更新投資額は約12億円が必要となります。

これから40年間、更新投資が膨らむ時期となり年々増加している状況であるため、平成25年度（2013年度）の普通建設事業費（年間約19億円）と今後も同様とするならば、耐用年数到来に合わせた施設の更新を実施することは財政的に難しいと考えられています。

■公共建築物とインフラ資産の年度別更新金額



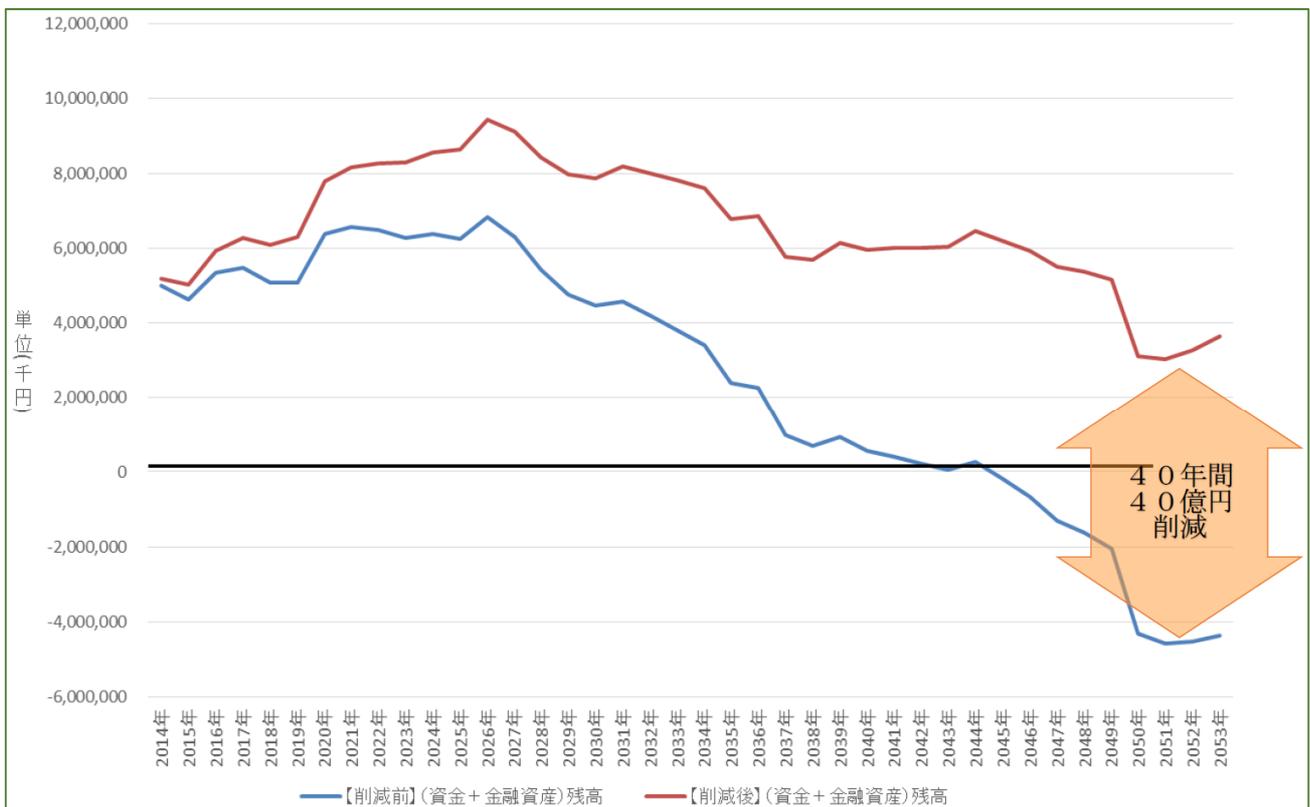
資料：久米島町公共施設等総合管理計画

②財務シミュレーション

総合管理計画の財務シミュレーションによると、平成 25 年度（2013 年度）決算データを使用してシミュレーションを行うと、2045 年度には、「歳入－歳出」の額がマイナスとなり、そのマイナス分の累計が資金と金融資産の合計を上回ると、町が所持している全資産を投下してもマイナス分をまかなえなくなることとなり、町の財政が破綻する結果となっています。

財政を破綻させないためには、公共施設を削減するとともに、公共施設の更新投資や大規模修繕費用を抑える必要があります。財務シミュレーションを基に、少なくとも今後 40 年までは、財政がマイナスにならず現在の資金と金融資産の額が同等になるように試算すると以下のグラフのようになり、40 年間で 40 億円削減する必要があります。

■財務シミュレーション結果



資料：久米島町公共施設等総合管理計画

2. 学校施設の運営・活用状況

(1) 児童生徒数の変化

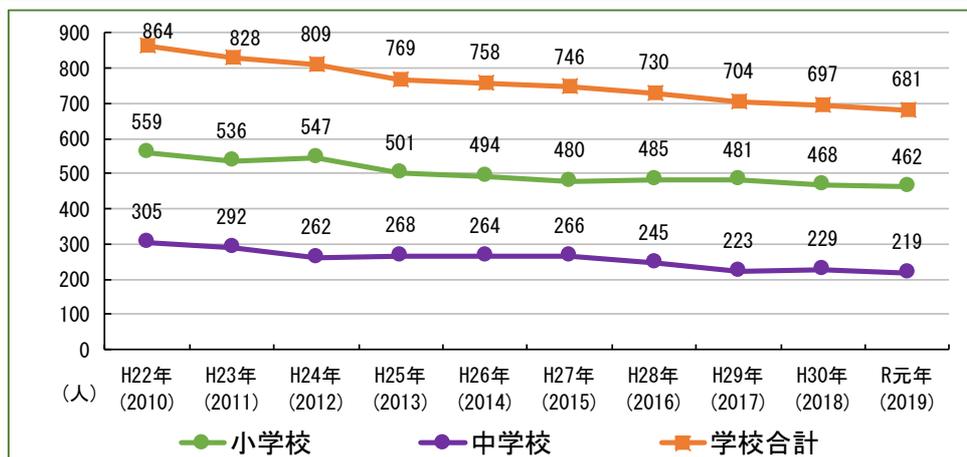
本町の小学校児童数の推移は、平成 22 (2010) 年の 559 人から平成 26 (2014) 年に 500 人を割り込み、その後は僅かながらの増減を繰り返し、令和元 (2019) 年では 462 人と、全体的には 9 年間で 97 人・年平均 1.9%の減少となっています。

中学校生徒数の推移は、平成 23 (2011) 年に 300 人を割り込んだ次の年には 1 年間で 30 人の減少となっています。その後の平成 24 (2011) ~27 (2015) 年の間は若干の増減を繰り返し、令和元 (2019) 年では 219 人と、9 年間で 86 人・年平均 3.1%の減少となっています。

■児童生徒数の推移

単位：人

学校等	H22年 (2010)	H23年 (2011)	H24年 (2012)	H25年 (2013)	H26年 (2014)	H27年 (2015)	H28年 (2016)	H29年 (2017)	H30年 (2018)	R元年 (2019)	年平均 増減率
小学校	559	536	547	501	494	480	485	481	468	462	-1.9%
中学校	305	292	262	268	264	266	245	223	229	219	-3.1%
学校合計	864	828	809	769	758	746	730	704	697	681	-2.4%



資料：学校基本調査

児童生徒数の変化を学年別で見ると、直近 9 年間で小学校では 4 年生の減少率が 3.0%と他に比べ高く、中学校では 1 年生が 3.6%の減少率で他に比べ高くなっています。また、進級する際の児童生徒数の変化は、一部転入等で僅かな増加が見られるものの、ほぼ減少しています。

■学年別児童生徒数の推移

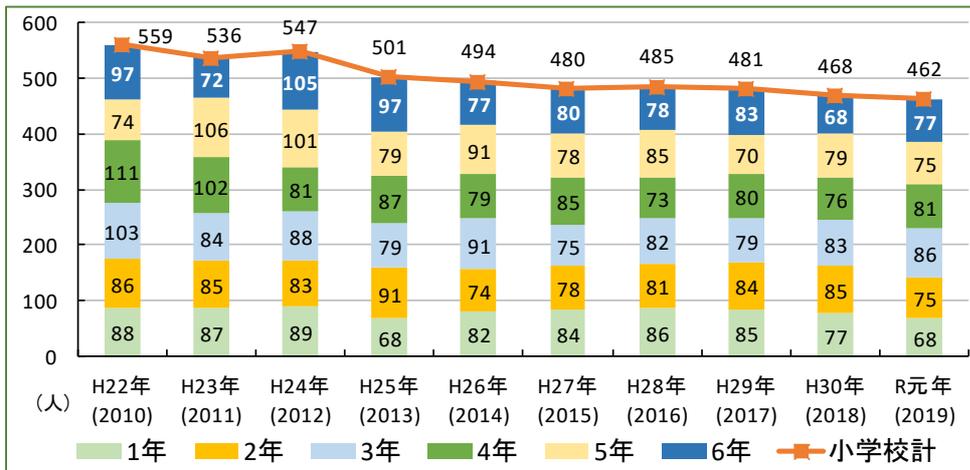
単位：人

学年等	H22年 (2010)	H23年 (2011)	H24年 (2012)	H25年 (2013)	H26年 (2014)	H27年 (2015)	H28年 (2016)	H29年 (2017)	H30年 (2018)	R元年 (2019)	年平均 増減率	
小学校	1年	88	87	89	68	82	84	86	85	77	68	-2.5%
	2年	86	85	83	91	74	78	81	84	85	75	-1.4%
	3年	103	84	88	79	91	75	82	79	83	86	-1.8%
	4年	111	102	81	87	79	85	73	80	76	81	-3.0%
	5年	74	106	101	79	91	78	85	70	79	75	0.2%
	6年	97	72	105	97	77	80	78	83	68	77	-2.3%
	小学校計	559	536	547	501	494	480	485	481	468	462	-1.9%
中学校	1年	98	95	73	99	96	72	80	75	79	66	-3.6%
	2年	99	96	94	71	98	95	72	77	76	78	-2.4%
	3年	108	101	95	98	70	99	93	71	74	75	-3.4%
	中学校計	305	292	262	268	264	266	245	223	229	219	-3.1%
学校合計	864	828	809	769	758	746	730	704	697	681	-2.4%	

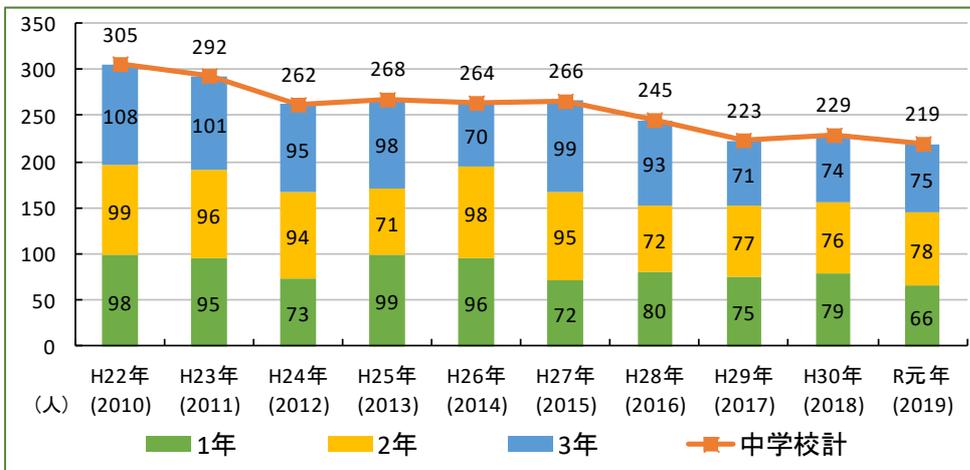
資料：学校基本調査

■学年別児童生徒数の推移

○小学校



○中学校



資料：学校基本調査

児童生徒数の推移を学校別にみると、比屋定小学校の減少率が他の学校と比較して高く、9年間で約半数の生徒数となっています。また、最も生徒数の多い清水小学校も年平均減少率がマイナス2.7%と比屋定小学校に次いで高く、9年間で47人の減少となっています。その他の小学校は、多少の増減を繰り返しつつ、ほぼ横ばい傾向で推移しています。

中学校については、2校とも減少傾向を示しており、球美中学校は9年間で47人の減少（減少率マイナス3.3%）となっています。

なお、平成26（2014）年に仲里中学校と久米島中学校が統合され、球美中学校となっているため、統合以前の球美中学校の生徒数は両中学校の合計となっています。

■学校別児童生徒数の推移

単位：人

学校名	H22年 (2010)	H23年 (2011)	H24年 (2012)	H25年 (2013)	H26年 (2014)	H27年 (2015)	H28年 (2016)	H29年 (2017)	H30年 (2018)	R元年 (2019)	年平均増減率
仲里小学校	137	132	141	131	122	124	122	137	136	138	0.1%
美崎小学校	59	55	55	46	48	53	51	44	47	53	-1.1%
久米島小学校	76	67	64	59	58	55	52	62	61	64	-1.8%
比屋定小学校	29	24	24	22	20	15	17	16	14	15	-5.4%
大岳小学校	68	62	72	58	68	68	68	74	63	65	-0.5%
清水小学校	190	196	191	185	177	165	175	164	159	143	-2.7%
久米島西中学校	147	138	129	133	134	137	124	124	125	120	-2.0%
球美中学校	158	154	133	135	130	129	121	112	116	111	-3.3%

資料：久米島町教育委員会調べ

(2) 学級数の変化

学級数の変化を編成方式別にみると、小学校の単式学級と複式学級は、僅かながらの増減を繰り返し、概ね横ばい傾向で推移しています。一方、特別支援学級は全体からみると少ないものの、近年増加し、令和元（2019）年では10学級となっています。

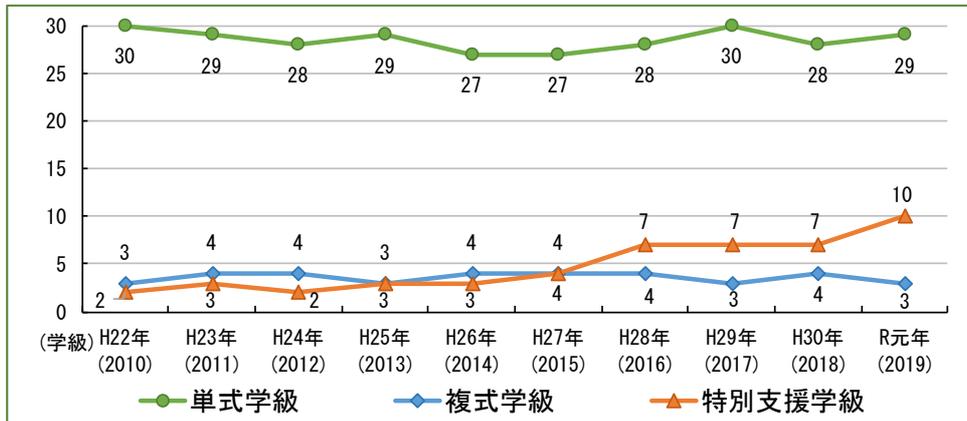
中学校では、単式学級が年平均4.6%の減少率で減少し、特別支援学級は概ね横ばい傾向となっています。

■ 編成方式別学級数の推移

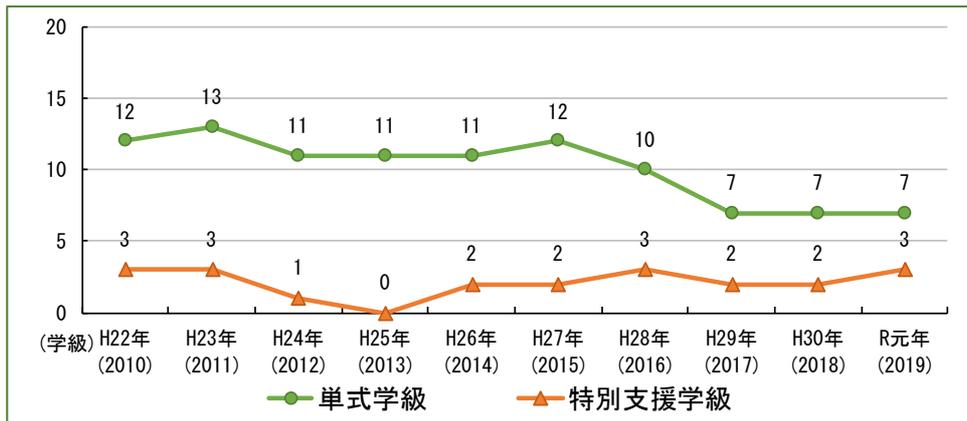
単位：学級

学級編成方式		H22年 (2010)	H23年 (2011)	H24年 (2012)	H25年 (2013)	H26年 (2014)	H27年 (2015)	H28年 (2016)	H29年 (2017)	H30年 (2018)	R元年 (2019)	年平均 増減率
小学校	単式学級	30	29	28	29	27	27	28	30	28	29	-0.4%
	複式学級	3	4	4	3	4	4	4	3	4	3	0.0%
	特別支援学級	2	3	2	3	3	4	7	7	7	10	44.4%
	小学校計	35	36	34	35	34	35	39	40	39	42	2.2%
中学校	単式学級	12	13	11	11	11	12	10	7	7	7	-4.6%
	特別支援学級	3	3	1	0	2	2	3	2	2	3	0.0%
	中学校計	15	16	12	11	13	14	13	9	9	10	-3.7%

○ 小学校



○ 中学校



資料：学校基本調査

■編成方式別学年別学級数の推移

学級編制方式	学年等	H22年 (2010)	H23年 (2011)	H24年 (2012)	H25年 (2013)	H26年 (2014)	H27年 (2015)	H28年 (2016)	H29年 (2017)	H30年 (2018)	R元年 (2019)	年平均 増減率	
小学校	単式学級	1学年	6	6	5	5	6	5	7	5	5	5	-1.9%
		2学年	5	5	5	6	4	4	5	6	4	5	0.0%
		3学年	4	4	4	5	3	4	5	5	5	4	0.0%
		4学年	5	4	4	5	4	5	4	4	5	5	0.0%
		5学年	5	5	5	4	5	4	3	4	5	5	0.0%
	6学年	5	5	5	4	5	5	4	6	4	5	0.0%	
	複式学級	2個学年	3	4	4	3	4	4	4	3	4	3	0.0%
	特別支援学級	知的障害	1	2	2	2	2	3	5	5	5	6	55.6%
		肢体不自由	1	1	0	1	1	1	1	1	1	1	0.0%
		情緒障害	0	0	0	0	0	0	1	1	1	3	-
計		35	36	34	35	34	35	39	40	39	42	2.2%	
中学校	単式学級	1学年	4	4	3	4	4	4	4	3	3	2	-5.6%
		2学年	4	4	4	3	4	4	3	2	2	3	-2.8%
		3学年	4	5	4	4	3	4	3	2	2	2	-5.6%
	複式学級	2個学年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	特別支援学級	知的障害	3	3	1	0	2	2	2	2	2	2	-3.7%
		肢体不自由	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
		情緒障害	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	-
計		15	16	12	11	13	14	13	9	9	10	-3.7%	

資料：学校基本調査

小学校の空き教室は、令和元（2019）年は7教室となっており、全教室数の7.4%を占めています。学校別では、美崎・久米島・大岳の各小学校では空き教室が無く、比屋定小学校では9教室のうち2教室が空いている状況となっています。また、残りの仲里・清水の両小学校は10%台前半の空き室率となっています。

中学校の空き教室は、令和元（2019）年では4教室、全教室数の5.0%となっており、両校とも空き教室数が2となっています。

■学校別空き教室の状況

学校名	H27年 (2015)	H28年 (2016)	H29年 (2017)	H30年 (2018)	R元年 (2019)	全教室数	5年平均 空室率
仲里小学校	2	2	1	2	2	17	10.6%
美崎小学校	0	0	0	0	0	12	0.0%
久米島小学校	0	0	0	0	0	12	0.0%
比屋定小学校	2	2	2	2	2	9	22.2%
大岳小学校	0	0	0	0	0	13	0.0%
清水小学校	3	1	2	2	3	18	12.2%
小学校計	7	5	5	6	7	81	7.4%
久米島西中学校	0	0	1	1	2	15	5.3%
球美中学校	0	0	1	1	2	17	4.7%
中学校計	0	0	2	2	4	32	5.0%

資料：久米島町教育委員会調べ

(3) 学校施設の活用状況

学校施設は、学校教育に支障のない範囲内において、子供の安全な遊び場の確保及び社会教育団体活動の促進並びに社会体育の振興等を図るため、「久米島町立学校施設使用条例（平成19年3月23日・条例第15号）」や「久米島町立学校施設の使用に関する規則（平成14年4月1日・教委規則第13号）」に基づき、校庭や屋内運動場を団体で行うスポーツ・レクリエーション活動の場として利用されています。特に、屋内運動場は多くの学校で年間200回を超える利用回数となっています。

地域防災計画においては、主に地震時など短期的な一次避難のために開設する指定緊急避難場所に、比屋定・大岳の両小学校と久米島西中学校のグラウンドが指定されているほか、主に大規模災害など長期的な二次避難のために開設する指定避難所に多くの屋内運動場が指定されています。

■地域の学校施設活用状況と指定緊急避難場所・指定避難所

学校名	用途区分	年間利用回数	利用内容	指定緊急避難場所	指定避難所	
小学校	仲里小学校	校舎	20	P T A 理事会・部会	-	-
		屋内運動場	219	小学生バスケットボール、P T A 行事、学年レク	-	-
		グラウンド	2	学年レク	-	-
	美崎小学校	校舎	15	P T A 理事会・部会	-	-
		屋内運動場	10	P T A 行事、学年レク	-	○
		グラウンド	-	-	-	-
	久米島小学校	校舎	13	P T A 理事会・部会	-	-
		屋内運動場	11	P T A 行事、学年レク	-	-
		グラウンド	-	-	-	-
	比屋定小学校	校舎	13	P T A 理事会・部会	-	-
		屋内運動場	5	P T A 行事、学年レク	-	○
		グラウンド	-	-	○：崖崩れ、土石流及び地滑り、地震、津波、大規模な火事	-
大岳小学校	校舎	15	P T A 理事会・部会	-	-	
	屋内運動場	195	小学生バスケットボール、P T A 行事、学年レク	-	○	
	グラウンド	230	小学生少年野球	○：崖崩れ、土石流及び地滑り、地震、津波、大規模な火事	-	
清水小学校	校舎	15	P T A 理事会・部会	-	-	
	屋内運動場	220	小学生バスケットボール、P T A 行事、学年レク	-	○	
	グラウンド	3	学年レク	-	-	
中学校	久米島西中学校	校舎	15	P T A 理事会・部会	-	-
		屋内運動場	260	部活動、夜間体育館利用（週5日）、P T A 活動、バスケットボール連盟行事、体育協会行事	-	○
		グラウンド	200	部活動	○：地震、津波、大規模な火事	-
	球美中学校	校舎	15	P T A 理事会・部会	-	-
		屋内運動場	260	部活動、夜間体育館利用（週5日）、P T A 活動、バスケットボール連盟行事、体育協会行事	-	○
グラウンド	230	部活動	-	-		

資料：久米島町教育委員会調べ

(4) 学校施設の保有量

対象学校施設の保有量は、令和元（2019）年度末現在、小学校 32 棟・延床面積 19,190 m²、中学校 13 棟・8,201 m²、合計 45 棟・27,391 m²となっています。以下に、対象学校施設の保有量一覧を示します。

■小学校施設保有量一覧

単位：延床面積m²、圧縮強度 N/mm²

学校名 調査番号	通し 番号	棟番号	用途 区分	建物名	建築年度 西暦/和暦	築 年数	構造	階 数	延床 面積	耐震 基準	耐震 診断	耐震 補強	圧縮 強度	備 考	
仲里 小学校 262	1	08	校舎	特別教室	1975	S50	45	RC	2	284	旧耐震	済	未	22.6	
	2	09	校舎	管理, 普通, 特別教室	1979	S54	41	RC	2	1,608	旧耐震	済	未	23.2	
	3	11	校舎	普通, 特別教室	1990	H2	30	RC	2	651	新耐震	-	-	-	
	4	12	体育館	屋内運動場	1993	H5	27	RC	2	919	新耐震	-	-	-	
計									3,462						
美崎 小学校 263	5	10	校舎	管理, 特別教室	1979	S54	41	RC	2	1,034	旧耐震	済	未	29.6	
	6	13	体育館	屋内運動場	1996	H8	24	RC	2	919	新耐震	-	-	-	
	7	14	校舎	普通教室	1979	S54	41	RC	2	640	旧耐震	済	未	29.7	
	8	15	校舎	特別教室	2005	H17	15	RC	2	185	新耐震	-	-	-	
計									2,778						
久米島 小学校 264	9	08	校舎	管理, 普通, 特別教室	1980	S55	40	RC	2	1,619	旧耐震	済	未	25.9	
	10	10-1	体育館	屋内運動場	2001	H13	19	RC	2	922	新耐震	-	-	-	
	11	10-2	体育館	屋内運動場	2001	H13	19	RC	2	233	新耐震	-	-	-	
	12	11	校舎	特別教室	1980	S55	40	RC	2	264	旧耐震	済	不要	25.0	
計									3,038						
比屋定 小学校 265	13	05	校舎	管理	1977	S52	43	RC	2	193	旧耐震	未	未	-	
	14	07-1	校舎	普通教室	1983	S58	37	RC	2	600	新耐震	-	-	-	
	15	07-2	校舎	特別教室	1983	S58	37	RC	2	152	新耐震	-	-	-	
	16	09	体育館	屋内運動場	2000	H12	20	RC	2	994	新耐震	-	-	-	
	17	18	校舎	特別教室	1999	H11	21	RC	2	260	新耐震	-	-	-	
計									2,199						
大岳 小学校 267	18	10-2	その他	水泳プール	1981	S56	39	RC	1	141	新耐震	-	-	-	
	19	10-3	その他	水泳プール	2002	H14	18	RC	1	35	新耐震	-	-	-	
	20	12-1	校舎	管理, 普通教室	1981	S56	39	RC	2	1,325	新耐震	-	-	-	
	21	12-2	校舎	管理, 普通教室	1991	H3	29	RC	2	70	新耐震	-	-	-	
	22	16	校舎	特別教室	1997	H9	23	RC	3	632	新耐震	-	-	-	
	23	17	体育館	屋内運動場	2002	H14	18	RC	2	954	新耐震	-	-	-	
計									3,157						
清水 小学校 268	24	13	校舎	普通教室	1979	S54	41	RC	2	840	旧耐震	済	未	26.0	
	25	14	校舎	普通教室	1980	S55	40	RC	2	705	旧耐震	済	未	26.0	
	26	15-1	校舎	管理	1980	S55	40	RC	2	745	旧耐震	済	未	26.0	
	27	15-2	校舎	管理(放送室)	1980	S55	40	RC	2	20	旧耐震	済	未	26.0	
	28	19	その他	体育小屋	1985	S60	35	RC	1	30	新耐震	-	-	-	
	29	21-1	体育館	屋内運動場	1995	H7	25	RC	2	1,027	新耐震	-	-	-	
	30	21-2	体育館	屋体クラブハウス	1995	H7	25	RC	2	200	新耐震	-	-	-	
	31	23	その他	水泳プール	1998	H10	22	RC	1	153	新耐震	-	-	-	
	32	24	校舎	特別教室	1999	H11	21	RC	3	836	新耐震	-	-	-	
計									4,556						
小学校計									19,190						

※RCは鉄筋コンクリート造を表しています。

資料：久米島町令和2年度学校施設台帳

■ 中学校施設保有量一覧

単位：延床面積㎡、圧縮強度 N/㎠

学校名 調査番号	通し 番号	棟 番号	用途 区分	建物名	建築年度 西暦/和暦	築 年数	構 造	階 数	延床 面積	耐震 基準	耐震 診断	耐震 補強	圧縮 強度	備 考
久米島西 中学校 3732	33	14-3	校舎	特別教室	1993	H5	RC	2	1,107	新耐震	-	-	-	
	34	15	その他	倉庫	1985	S60	RC	1	32	新耐震	-	-	-	
	35	17	校舎	多目的教室	1993	H5	RC	1	231	新耐震	-	-	-	
	36	19	体育館	屋内運動場	2000	H12	RC	2	1,138	新耐震	-	-	-	
	37	20	校舎	管理	2006	H18	RC	1	505	新耐震	-	-	-	
	38	21	校舎	普通教室	2006	H18	RC	2	1,017	新耐震	-	-	-	
	39	22	その他	変電室	2006	H18	RC	1	22	新耐震	-	-	-	
計									4,052					
球美 中学校 3676	40	12	校舎	普通、特別教室	1982	S57	RC	2	1,186	新耐震	-	-	-	
	41	13	その他	クラブハウス	1987	S62	RC	1	200	新耐震	-	-	-	
	42	15	校舎	特別教室	1995	H7	RC	2	392	新耐震	-	-	-	
	43	16-1	体育館	屋内運動場	1998	H10	RC	2	1,138	新耐震	-	-	-	
	44	16-2	体育館	屋内運動場	1998	H10	RC	2	200	新耐震	-	-	-	
	45	17-1	校舎	特別教室	2014	H26	RC	1	1,033	新耐震	-	-	-	
計									4,149					
中学校計									8,201					
対象学校施設合計									27,391					

※RCは鉄筋コンクリート造を表しています。

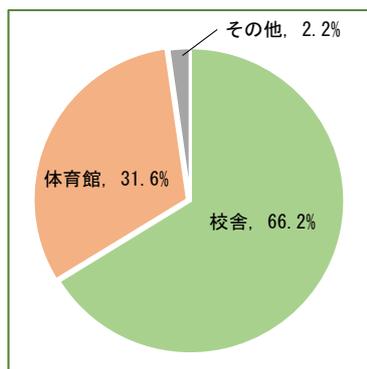
資料：久米島町令和2年度学校施設台帳

対象学校施設を用途区別にみると、校舎は最も多く 18,134 ㎡、全体の 66.2%を占め、体育館は 8,644 ㎡・31.6%、その他（水泳プール・クラブハウス等）613 ㎡・2.2%となっています。

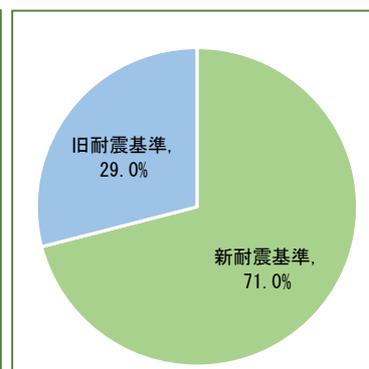
次に、耐震区別にみると、昭和 57（1982）年以降の新耐震基準により建設された建物は、延床面積 19,439 ㎡全体の 71.0%を占め、小学校の屋内運動場及び中学校の対象学校施設全ての建物がこれに該当しています。一方、旧耐震基準により建設された建物は、延床面積 7,952 ㎡全体の 29.0%となっています。

なお、旧耐震基準の建物のうち、耐震診断の結果、耐震性が認められ改修が不要な建物は 1 棟・264 ㎡で、これを除く 9 棟・7,495 ㎡の建物が耐震性のない建物となっているものの、令和 2 年度現在令和 4～6 年度にかけて耐震改修を予定しています。また、比屋定小学校で 1 棟 193 ㎡の建物が未診断未改修となっており、児童の安全性確保のため、早急な耐震補強の実施が求められます。

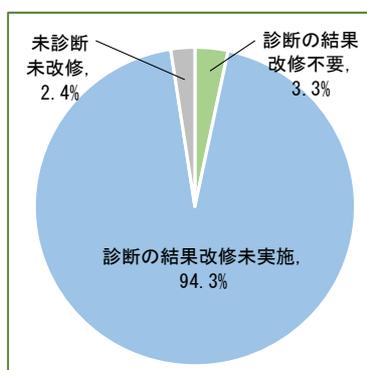
◆用途区別保有量 （延床面積比）



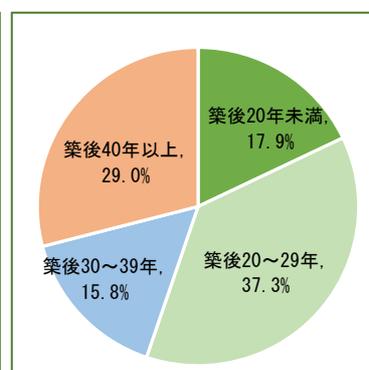
◆耐震区別保有量 （延床面積比）



◆耐震診断・改修の状況 （延床面積比）



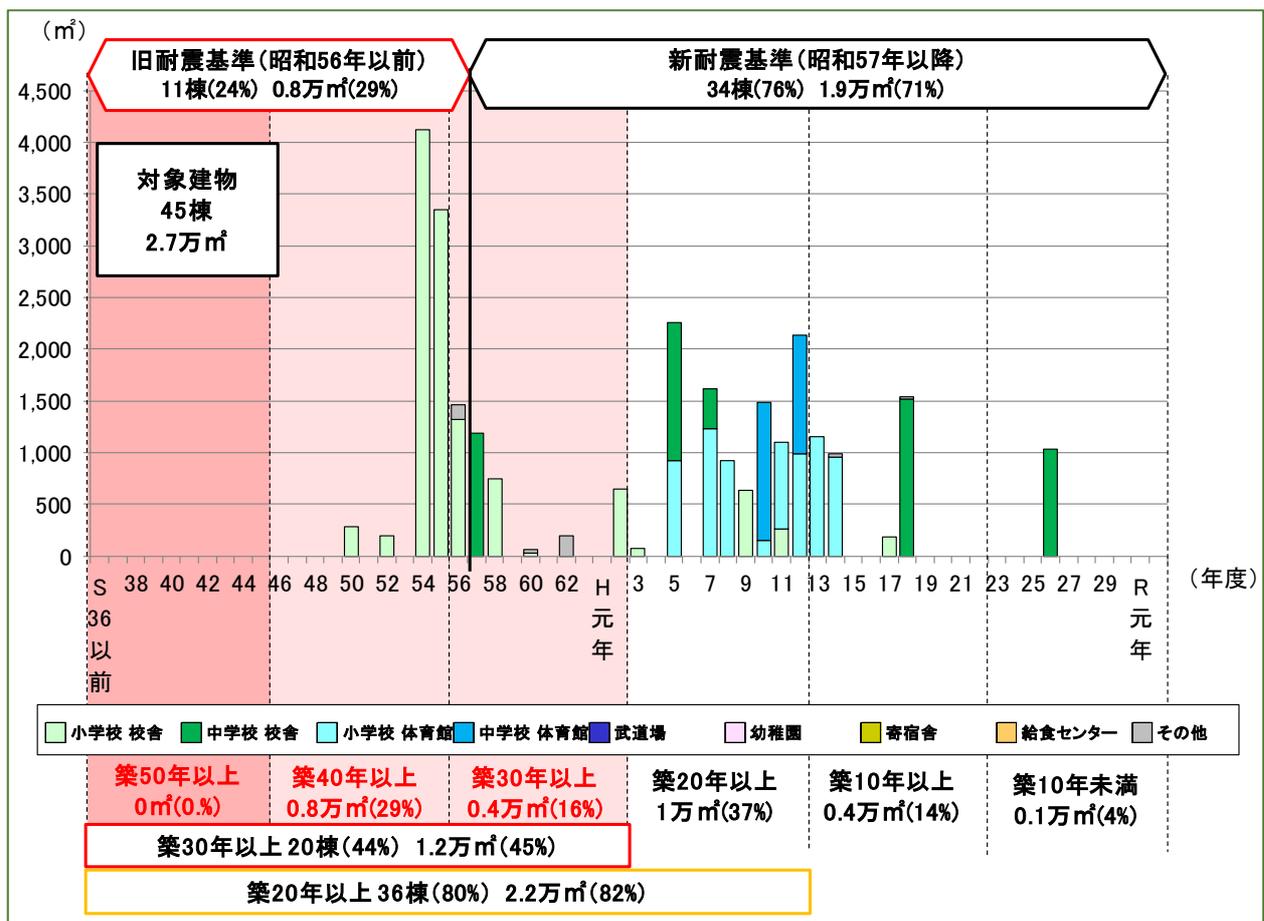
◆築年数経過別保有量 （延床面積比）



対象学校施設を築年数経過別にみると、比較的新しく初回の大規模改造実施の準備を迎える築後20年未満の建物は、9棟・4,906㎡、全体の17.9%を占めています。一方、対象学校施設には築50年以上の建物は無いものの、比較的建物の劣化が目立つ築後40年以上が経過した建物は、11棟・7,952㎡、全体の29.0%を占め、これらの建物は老朽化の進行が見られます。

以下に、対象学校施設の文部科学省提供ソフトによる築年別整備状況をグラフで示します。グラフでは、昭和54(1979)年から56(1981)年にかけて小学校の校舎が多く建てられ、これらは築後39~41年が経過した建物となっており、小学校の校舎で老朽化の進行が多く見られます。また、平成5(1993)年から概ね10年間は小・中学校の体育館が集中して建てられており、これらは現在災害時の避難所として指定されています。

■文部科学省提供ソフトによる築年別整備状況



資料：文部科学省提供ソフトによる作図

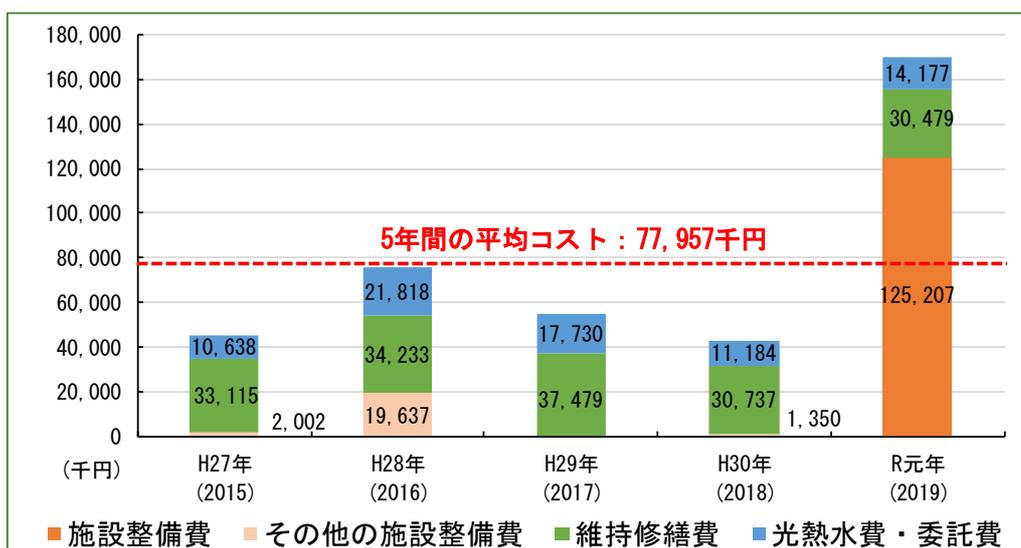
(5) 学校施設の全体コスト

学校施設等に係る全体コストの直近5年間の状況をみると、令和元（2019）年の施設整備費125,207千円は、全学校施設の小中学校空調設置工事となっています。維持修繕費と光熱水費・委託費については、それぞれ年により多少のばらつきはあるものの、5年間の平均は維持修繕費33,209千円、光熱水費・委託費15,109千円で推移しています。これにより、学校施設の直近5年間の平均コストは77,957千円となっています。

■直近5年間の学校施設の全体コスト

単位：千円

項目	H27年 (2015)	H28年 (2016)	H29年 (2017)	H30年 (2018)	R元年 (2019)	5年間の 平均コスト
施設整備費	0	0	0	0	125,207	25,041
その他の施設整備費	2,002	19,637	0	1,350	0	4,598
維持修繕費	33,115	34,233	37,479	30,737	30,479	33,209
光熱水費・委託費	10,638	21,818	17,730	11,184	14,177	15,109
計	45,755	75,687	55,209	43,270	169,863	77,957



資料：久米島町教育委員会調べ

3. 学校施設の老朽化状況

(1) 老朽化状況調査の方法

対象学校施設の老朽化状況調査は、令和2(2020)年9月30日～10月5日にかけて実施した事前ヒアリング調査の内容確認と具体的な問題箇所について、現地にて目視による確認及び消防点検結果資料等の内容確認を同年10月14・15の両日に行いました。

老朽化状況の評価方法は、現地調査において作成した劣化状況調査票を用いて構造躯体以外の劣化状況を把握し、屋根・屋上、外壁及び内部仕上げ(床・内壁・梁)を目視により評価します。また、内部仕上げ(内部建具・間仕切等・照明器具・エアコン)、電気設備、機械設備については、事前ヒアリング調査結果、消防点検結果や現地調査時の管理者への聞き取りを加味したうえで、部位の全面的な改修年からの経過年数を基本にA、B、C、Dの4段階にて評価しています。

健全度については、対象施設の屋根・屋上、外壁、内部仕上げ、電気設備、機械設備の5つの部位について劣化状況を4段階で評価し、100点満点で数値化した評価指標となっており、数値が低いほど劣化が進んでいることを表しています。

■老朽化状況の評価方法

○目視による評価【屋根・屋上、外壁】

評価		基準
 良好 劣化	A	概ね良好
	B	部分的に劣化(安全上・機能上問題なし)
	C	広範囲に劣化(安全上・機能上不具合発生の兆し)
	D	早急に対応する必要がある (安全上・機能上に問題あり) (躯体の耐久性に影響を与えている) (設備が故障し施設運営に支障を与えている)等

○経過年数による評価【内部仕上げ、電気・機械設備】

評価		基準
 良好 劣化	A	20年未満
	B	20～40年
	C	40年以上
	D	経過年数にかかわらず著しい劣化事象がある場合

資料：文部科学省「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」より

■健全度の評価指標

$$\text{総和(部位の評価点} \times \text{部位のコスト配分)} \div 60 = \text{健全度}$$

評価点	
A	100
B	75
C	40
D	10

部位	コスト配分
屋根・屋上	5.1
外壁	17.2
内部仕上げ	22.4
電気設備	8.0
機械設備	7.3
計	60.0

資料：文部科学省「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」より

(2) 事前ヒアリング（管理者アンケート）調査

事前ヒアリング（管理者アンケート）調査は、老朽化状況調査の効率的な調査の実施及び現地調査では確認できない状況等についての情報を確認するため、施設の管理担当者等により事前確認シートへ記入する形で実施しました。以下に、調査概要と学校別調査結果を示します。

■事前ヒアリング調査概要

○調査実施期間：令和2（2020）年9月30日～10月5日実施

○ヒアリング調査項目

1. 現状施設の問題について

- ①教室等の室内環境、事故防止対策、防犯対策、校具などの整備、バリアフリー化、エコスクールなど
- ②降雨時に雨漏れしている場所・数、天井や壁にある雨漏れ痕の場所・数など
- ③落下が特に心配される箇所・部材など

2. 学校生活のための施設・設備改善について

- ①電気設備や機械設備の不具合や期待される諸室や機能の追加、施設・設備利用状況

3. 新たな教育活動のための施設と改善について

- ①オープンスペースの活用など、多様な学習形態、情報環境、国際理解の推進、総合的な学習

◆学校別ヒアリング調査結果-1

仲里小学校	●降雨時に雨漏れ箇所：あり	●電気設備、機械設備の日常利用で不具合：あり
1. 現状施設の問題：①教室等の室内環境、事故防止対策、防犯対策など		
○学級の施錠ができない。 ○窓や戸が閉まりにくい部分が多くあり、児童玄関のドアが閉まりにくい。 ○校門の門扉の破損（修繕予定）や職員室のエアコン室外機の騒音。		
1. 現状施設の問題：②降雨時に雨漏れしている場所・数、天井や壁にある雨漏れ痕の場所・数など		
○校長室前廊下。 ○1号校舎2階更衣室～廊下部分（修繕予定）と給食室近くの天井に水シミがある。 ○屋上へ行く天井部分。 ○2号校舎廊下部分に水シミが多数ある。 ○体育館の雨漏り。		
1. 現状施設の問題：③落下が特に心配される箇所・部材など		
○1号校舎の軒下部分にコンクリートの剥離がある。 ○校庭水銀の電球や部品の落下の可能性がある。 ○舞台の緞帳のワイヤーが破損し、切れそうな状況にある。 ○職員トイレの排水溝が流れにくい。		
2. 学校生活のための施設・設備改善：①電気・機械設備の不具合、施設・設備利用状況など		
○児童玄関シャッターと給食室シャッターの老朽化に伴い動かない。 ○パソコン室のクーラーが老朽化のため故障している。 ○理科室の換気扇が破損している（修繕予定）。 ○校内放送が校庭（運動場）に聞こえない状況にある。 ○学校全体の水道蛇口の締まりが悪い。 ○理科室のコンセントが前面部分しか使えない状況にある。 ○体育館のコンセントが使用できない部分がある。 ○音楽室の後方の床が破損している（修繕予定）。 ○事務室のクーラーから水がもれる。 ○理科室準備室、職員トイレ、2号校舎トイレの換気扇が作動しない。		
3. 新たな教育活動のための施設と改善：①多様な学習形態、情報環境、国際理解の推進、総合的な学習など		
○なし		

◆学校別ヒアリング調査結果-2

美崎小学校	●降雨時に雨漏れ箇所：あり	●電気設備、機械設備の日常利用で不具合：あり
1. 現状施設の問題：①教室等の室内環境、事故防止対策、防犯対策など		
○図工室のエアコンの騒音が授業中の教室にも響いている。		
1. 現状施設の問題：②降雨時に雨漏れしている場所・数、天井や壁にある雨漏れ痕の場所・数など		
○理科室近くの廊下と2階トイレ近くの廊下に雨漏りがある。		
1. 現状施設の問題：③落下が特に心配される箇所・部材など		
○1階3・4年教室前の天井材。		
○校舎外壁に多数ある（職員玄関前、理科室側、1年・3年ベランダ側・しこうむさんルーム外側）。		
2. 学校生活のための施設・設備改善：④電気・機械設備の不具合、施設・設備利用状況など		
○換気扇がほとんど故障している。		
○1階ブレーカーが漏電気味で落ちたことがあり、現在パソコン室のブレーカーを落として応急処置をしている。		
○校舎・体育館の放送設備の機器が古い。		
○教育相談室や生徒指導室がほしい。		
3. 新たな教育活動のための施設と改善：⑤多様な学習形態、情報環境、国際理解の推進、総合的な学習など		
○全てをLED照明に代えてほしい。		
久米島小学校	●降雨時に雨漏れ箇所：あり	●電気設備、機械設備の日常利用で不具合：あり
1. 現状施設の問題：①教室等の室内環境、事故防止対策、防犯対策など		
○校内（各教室、理科室等特別教室）のインターホンがないため、緊急連絡ができない。		
○特別支援学級、体育館の身障者用トイレが使用不可の状況となっている。		
○階段の昇降機が故障して動かない。		
1. 現状施設の問題：②降雨時に雨漏れしている場所・数、天井や壁にある雨漏れ痕の場所・数など		
○1年教室、音楽室、音楽室前廊下、事務室、事務室前廊下、体育館に雨漏りがある。		
○図書館は台風時に床へ水がたまるが、雨漏りか吹き込みか原因は不明である。		
○2階廊下でアルミサッシのプラスチック部分の劣化による強風時の雨水の吹き込みがある。		
○屋上防水シートの劣化による剥がれ、裂孔によるシート内へ雨水の浸入がある。		
1. 現状施設の問題：③落下が特に心配される箇所・部材など		
○赤瓦の軒、学年掲示板、児童玄関軒、理科室周辺軒、家庭科室軒、5年ベランダ軒、屋上電気室軒で部材の落下が心配である。		
○児童玄関シャッターの落下が心配である。		
○給水管の老朽化による錆水の出水。		
○児童用トイレで悪臭がある。		
○教室、音楽室、廊下の床や教室扉、壁面の板に剥がれがある。		
○理科室横出入り口のガラス戸の開閉が堅く、レールから外れやすい。		
○PC室の床がきしむ。		
2. 学校生活のための施設・設備改善：④電気・機械設備の不具合、施設・設備利用状況など		
○職員室から放送ができない、外部スピーカーから音が出ないことがある、CDデッキの音とび、マイクの音量調整不良などの放送設備の不調がある。		
○教育相談室がない。		
○児童用靴箱の劣化による板のはく離がある。		
○校長室、事務室、保健室、図書館クーラーが老朽化している。		
○校舎（特別教室）の継ぎ目金属およびコンクリート部分の修繕。		
○和式トイレの洋式化など、トイレの改修。		
○アルミサッシの老朽化による施錠の困難さの解消。		
○体育館玄関上軒部分で木の葉等がすぐつまりプール状になり、それが原因で体育館ギャラリー壁面から漏水があるため、排水溝の改修が必要である。		
3. 新たな教育活動のための施設と改善：⑤多様な学習形態、情報環境、国際理解の推進、総合的な学習など		
○Wi-Fi環境の構築。		
○児童1人につき1台のタブレット環境を早急に構築（現在は13台）。		

◆学校別ヒアリング調査結果-3

比屋定小学校	●降雨時に雨漏れ箇所：あり	●電気設備、機械設備の日常利用で不具合：あり
1. 現状施設の問題：④教室等の室内環境、事故防止対策、防犯対策など		
○バリアフリーに対応していない。 ○校内がオープンなため防犯面での対応が難しい。 ○校内インターホンがないため緊急連絡ができない。		
1. 現状施設の問題：⑥降雨時に雨漏れしている場所・数、天井や壁にある雨漏れ痕の場所・数など		
○児童玄関・理科室前・体育館・音楽準備室に雨漏れ箇所があり、雨漏れ痕は9か所ある。		
1. 現状施設の問題：③落下が特に心配される箇所・部材など		
○鉄製排水管が腐食している。 ○児童玄関の外部天井が腐食している。 ○理科室前の外部天井が剥離している。 ○屋上防水シートが剥がれている。 ○各階トイレの間仕切板が破損し、老朽化している。 ○管理棟と家庭科室のつなぎ目の外壁に亀裂がある。 ○給食室前出入り口と1年教室ベランダ手すりが剥離している。		
2. 学校生活のための施設・設備改善：④電気・機械設備の不具合、施設・設備利用状況など		
○ブレーカーがよく落ちるなど、教室棟東側と渡り廊下に電気の不備がある。 ○職員室クーラーとランチルームクーラーの室外機に異常がある。 ○電線等の切断や垂れ下がっている状況があり、授業に支障をきたしている。		
3. 新たな教育活動のための施設と改善：④多様な学習形態、情報環境、国際理解の推進、総合的な学習など		
○現在、教室棟にWi-Fi環境がなく授業において支障をきたしているため、Wi-Fi環境の構築をお願いしたい。 ○教室棟から体育館への移動路に屋根がなく雨天時に不便であるため、改善をお願いしたい。		
清水小学校	●降雨時に雨漏れ箇所：あり	●電気設備、機械設備の日常利用で不具合：あり
1. 現状施設の問題：④教室等の室内環境、事故防止対策、防犯対策など		
○校内インターホンがないため緊急連絡ができない。 ○校舎や体育館がバリアフリーに対応していない。 ○シャッターが設置されていても故障や破損等により使用できない。 ○学校敷地内の外灯の設置（故障しているものが多い）。 ○児童数が30名を超える学級にとっては教室が狭い。 ○現在、給食のコンテナが収まらないので室外に設置するなど、給食配膳室が狭い。 ○プールフェンスが破損している。 ○プール（大）の水が流れきれないなど、排水が悪い。 ○すべての便器を洋式便器に変更したい。		
1. 現状施設の問題：⑥降雨時に雨漏れしている場所・数、天井や壁にある雨漏れ痕の場所・数など		
○校舎や体育館など全般的に、台風時にはどんなに窓に詰め物をしていても水が吹きこぼれる（特に海岸に面している部分）。 ○事務室の壁や天井、体育館舞台の壁、特別棟3階の採光窓に雨漏れがある。		
1. 現状施設の問題：③落下が特に心配される箇所・部材など		
○校舎貯水槽の壁面や校舎軒下に剥離がある。 ○浸水による事務室の天井材 ○各階トイレの間仕切板が破損し、老朽化している。 ○職員女子トイレ便器の排水性が悪い。 ○パソコン室床のクロスが全面的に剥がれている。 ○1階男子トイレの2カ所で床の排水性が悪い。		
2. 学校生活のための施設・設備改善：④電気・機械設備の不具合、施設・設備利用状況など		
○放送室の放送機器が古い。 ○飲み水として利用できる場所が限られている上に、飲めたととしても塩素濃度が低いため、水道設備の改善が必要である。 ○留守番電話機能のある電話機を設置してほしい。 ○一部、照明器具が無い又は老朽化による明るさが不足しているため、体育館の照明の改善が必要である。 ○校舎内1階備品室と校舎内第2倉庫の照明が点かない。 ○運動場用の放送設備の設置してほしい。		
3. 新たな教育活動のための施設と改善：④多様な学習形態、情報環境、国際理解の推進、総合的な学習など		
○校内すべての照明をLED化に改善。 ○校内どこでも使えるWi-Fi環境の整備。		

◆学校別ヒアリング調査結果-4

久米島西中学校	●降雨時に雨漏れ箇所：あり	●電気設備、機械設備の日常利用で不具合：あり
1. 現状施設の問題：①教室等の室内環境、事故防止対策、防犯対策など		
○技術室・家庭科室・美術室に冷房機器が設置されていない。		
1. 現状施設の問題：②降雨時に雨漏れしている場所・数、天井や壁にある雨漏れ痕の場所・数など		
○1年2組の教室右後方壁と壁側から廊下へ浸水がある。		
○2年1組から廊下へ浸水がある。		
○3年2組の壁側から廊下へ浸水がある。		
○図書室左側壁から浸水があり床が剥がれている箇所がある。		
○保健室壁から浸水があり床が剥がれている箇所がある。		
○技術室に雨漏れがある。		
1. 現状施設の問題：③落下が特に心配される箇所・部材など		
○多目的室の裏に倒木が多数あり、野球場のマウンド近くには陥没箇所がある。		
○美術室入り口近くにコンクリートの落下箇所がある。		
○1年1組ベランダ側の壁に大きな亀裂がある。		
○理科室裏の農園の壁が崩れている。		
○理科室横のパイプが破損している。		
2. 学校生活のための施設・設備改善：④電気・機械設備の不具合、施設・設備利用状況など		
○多目的室の蛍光灯がつかない箇所がある（昨年、型が古いので電球が生産されていないと言われている）。		
○パソコン室・多目的室共にコンセントの個数が足りないため、10台以上のノートパソコンが使用出来ない。		
○体育館のスピーカーの一部が故障している。		
○特別棟や体育館への内線が使用出来ないため、緊急時等に対応できない。		
○体育館舞台上の火災報知器が1台故障している。		
○放送室の放送機器の調子が悪い。		
○体育館男子トイレの1箇所と1年1組の1箇所でコンセントが使用できない。		
○体育館の照明が点いたり、消えたりする箇所がある。		
3. 新たな教育活動のための施設と改善：⑤多様な学習形態、情報環境、国際理解の推進、総合的な学習など		
○体育館にWi-Fi環境が設置されているが、故障している。		
球美中学校	●降雨時に雨漏れ箇所：あり	●電気設備、機械設備の日常利用で不具合：あり
1. 現状施設の問題：①教室等の室内環境、事故防止対策、防犯対策など		
○管理棟保健室側の出入り口は、鍵の不具合により鍵が閉まらないため、戸締りはワイヤーで行っている。		
○図書館入り口の引き戸に内側からのカギがないので不便である。		
○2年教室内の床がガタガタしているため、生徒の机も不安定である。		
○1年ロッカー室出入り口ドアの鍵が破損している。		
1. 現状施設の問題：②降雨時に雨漏れしている場所・数、天井や壁にある雨漏れ痕の場所・数など		
○体育館の天井全体に多数の雨漏り箇所があり、床の腐食が進んでいる。		
○生徒玄関に雨漏り箇所がある。		
○普通教室棟の窓は、台風や大雨の時に吹込みがあり、教室が浸水する。		
1. 現状施設の問題：③落下が特に心配される箇所・部材など		
○普通教室棟の窓は、戸車が破損している箇所が多く、開閉が困難な箇所が多数ある。		
○学習センターの女子トイレは詰まることが多くなっている。		
○カウンセリング室のブラインドに破損があり、1か所が開閉不能となっている。		
2. 学校生活のための施設・設備改善：④電気・機械設備の不具合、施設・設備利用状況など		
○人感センサーで点灯する照明器具が誰もいないのに点いたり消えたりする。		
○管理棟周囲の外灯が全て点かない。		
○管理棟女子トイレはセンサーで感知して自動消灯のはずだが消灯しない。		
○職員室のコンセントは床に埋設されているが、天井からの吊り下げ方式の方が良い。		
○調理室に網戸がないため、調理実習中にハエや虫が室内に侵入してくる。		
○美術室、家庭科室、技術室にもクーラーを設置してほしい。		
○体育館でスイッチやコンセントに破損箇所がある。		
○体育館内の戸が外れやすくなっている箇所がある。		
○3年教室の扇風機のスイッチが破損している。		
○パソコン室の換気扇が故障している。		
3. 新たな教育活動のための施設と改善：⑤多様な学習形態、情報環境、国際理解の推進、総合的な学習など		
○すべての照明をLEDに換えてほしい。		
○PC室にプリンターを設置するとともに、誰がどのPCでどのような作業をしているのかがわかるシステムを構築し、生徒管理を効率的に行いたい。		

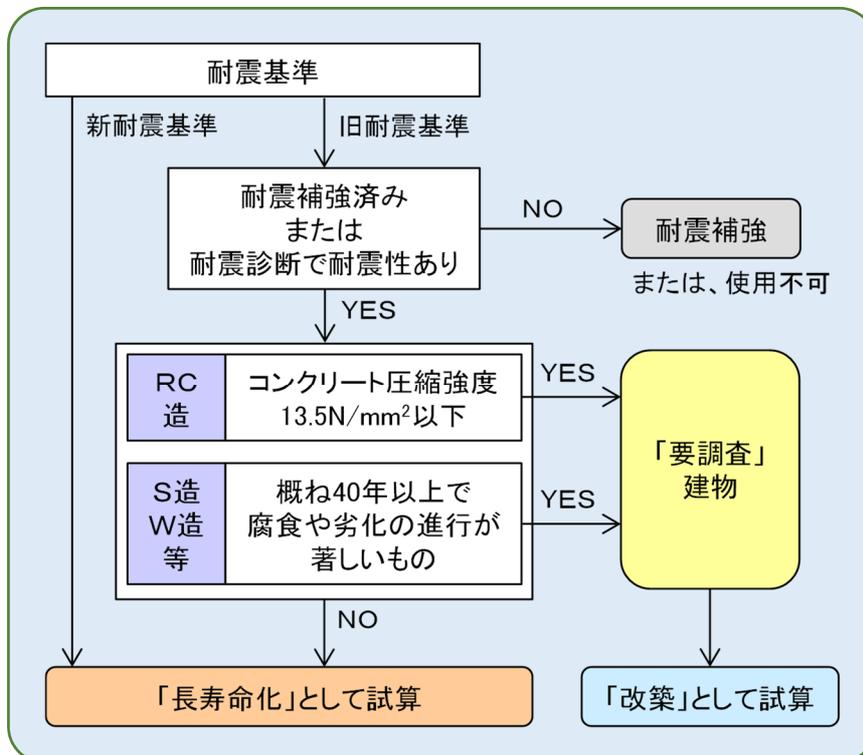
(3) 構造躯体の健全性評価

構造躯体の健全性は、以下に示す建物について躯体の健全性が確保されているものとし、その評価については長寿命化の判定フローに従って判定を行います。

■躯体の健全性が確保されている建物

- ①新耐震基準にて建設された建物
- ②旧耐震基準にて建設された鉄筋コンクリート造（RC造）の建物で、耐震診断の結果耐震性があり耐震補強が不要と判定された、建物コンクリート圧縮強度が13.5N/mm²を超える建物
- ③旧耐震基準にて建設された鉄筋コンクリート造（RC造）の建物で、耐震診断の結果耐震性がないため耐震補強を実施した、コンクリート圧縮強度が13.5N/mm²を超える建物

■長寿命化の判定フロー



資料：文部科学省「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」より

健全性が確保されている建物は、長寿命化判定において試算上の区分を「長寿命」とし、今後の具体的な長寿命化計画につなげます。また、上記以外の建物及び健全性が確認できない建物は「要調査」建物とし、建物の状況をはじめとして地域の状況を考慮して、改築、長寿命化、解体撤去等の今後の方向性検討につなげます。

評価の結果、旧耐震基準により建てられ、診断を実施した10棟のうち、耐震性能のある1棟を除く9棟について令和4～6年度にかけて耐震補強工事を実施する予定であり、また、未診断の1棟についても早急に耐震診断・耐震補強を行うものとし、これらの棟を「長寿命化」と評価します。次頁に評価の結果一覧を示します。

■構造躯体の健全性評価

□ : 築30年以上

建物基本情報										構造躯体の健全性					備考	
学校名 学校調査 番号	通し 番号	棟 番号	用途 区分	建物名	建築年度		築 年 数	構 造	階 数	延床 面積 (㎡)	耐震安全性			長寿命化判定		
					西暦/和暦						基 準	耐 震 診 断	耐 震 補 強	圧 縮 強 度 (N/㎡)		試 算 上 の 区 分
仲里 小学校 262	1	08	校舎	特別教室	1975	S50	45	RC	2	284	旧	済	未	22.6	長寿命	R5耐震補強予定
	2	09	校舎	管理, 普通, 特別教室	1979	S54	41	RC	2	1,608	旧	済	未	23.2	長寿命	R5耐震補強予定
	3	11	校舎	普通, 特別教室	1990	H2	30	RC	2	651	新	-	-	-	長寿命	
	4	12	体育館	屋内運動場	1993	H5	27	RC	2	919	新	-	-	-	長寿命	
美崎 小学校 263	5	10	校舎	管理, 特別教室	1979	S54	41	RC	2	1,034	旧	済	未	29.6	長寿命	R4耐震補強予定
	6	13	体育館	屋内運動場	1996	H8	24	RC	2	919	新	-	-	-	長寿命	
	7	14	校舎	普通教室	1979	S54	41	RC	2	640	旧	済	未	29.7	長寿命	R4耐震補強予定
	8	15	校舎	特別教室	2005	H17	15	RC	2	185	新	-	-	-	長寿命	
久米島 小学校 264	9	08	校舎	管理, 普通, 特別教室	1980	S55	40	RC	2	1,619	旧	済	未	25.9	長寿命	R6耐震補強予定
	10	10-1	体育館	屋内運動場	2001	H13	19	RC	2	922	新	-	-	-	長寿命	
	11	10-2	体育館	屋内運動場	2001	H13	19	RC	2	233	新	-	-	-	長寿命	
	12	11	校舎	特別教室	1980	S55	40	RC	2	264	旧	済	不要	25.0	長寿命	
比屋定 小学校 265	13	05	校舎	管理	1977	S52	43	RC	2	193	旧	未	未	-	長寿命	
	14	07-1	校舎	普通教室	1983	S58	37	RC	2	600	新	-	-	-	長寿命	
	15	07-2	校舎	特別教室	1983	S58	37	RC	2	152	新	-	-	-	長寿命	
	16	09	体育館	屋内運動場	2000	H12	20	RC	2	994	新	-	-	-	長寿命	
	17	18	校舎	特別教室	1999	H11	21	RC	2	260	新	-	-	-	長寿命	
大岳 小学校 267	18	10-2	その他	水泳プール	1981	S56	39	RC	1	141	新	-	-	-	長寿命	
	19	10-3	その他	水泳プール	2002	H14	18	RC	1	35	新	-	-	-	長寿命	
	20	12-1	校舎	管理, 普通教室	1981	S56	39	RC	2	1,325	新	-	-	-	長寿命	
	21	12-2	校舎	管理, 普通教室	1991	H3	29	RC	2	70	新	-	-	-	長寿命	
	22	16	校舎	特別教室	1997	H9	23	RC	3	632	新	-	-	-	長寿命	
	23	17	体育館	屋内運動場	2002	H14	18	RC	2	954	新	-	-	-	長寿命	
清水 小学校 268	24	13	校舎	普通教室	1979	S54	41	RC	2	840	旧	済	未	26.0	長寿命	R4耐震補強予定
	25	14	校舎	普通教室	1980	S55	40	RC	2	705	旧	済	未	26.0	長寿命	R4耐震補強予定
	26	15-1	校舎	管理	1980	S55	40	RC	2	745	旧	済	未	26.0	長寿命	R4耐震補強予定
	27	15-2	校舎	管理(放送室)	1980	S55	40	RC	2	20	旧	済	未	26.0	長寿命	R4耐震補強予定
	28	19	その他	体育小屋	1985	S60	35	RC	1	30	新	-	-	-	長寿命	
	29	21-1	体育館	屋内運動場	1995	H7	25	RC	2	1,027	新	-	-	-	長寿命	
	30	21-2	体育館	屋体クラブハウス	1995	H7	25	RC	2	200	新	-	-	-	長寿命	
	31	23	その他	水泳プール	1998	H10	22	RC	1	153	新	-	-	-	長寿命	
	32	24	校舎	特別教室	1999	H11	21	RC	3	836	新	-	-	-	長寿命	
久米島西 中学校 3732	33	14-3	校舎	特別教室	1993	H5	27	RC	2	1,107	新	-	-	-	長寿命	
	34	15	その他	倉庫	1985	S60	35	RC	1	32	新	-	-	-	長寿命	
	35	17	校舎	多目的教室	1993	H5	27	RC	1	231	新	-	-	-	長寿命	
	36	19	体育館	屋内運動場	2000	H12	20	RC	2	1,138	新	-	-	-	長寿命	
	37	20	校舎	管理	2006	H18	14	RC	1	505	新	-	-	-	長寿命	
	38	21	校舎	普通教室	2006	H18	14	RC	2	1,017	新	-	-	-	長寿命	
	39	22	その他	変電室	2006	H18	14	RC	1	22	新	-	-	-	長寿命	
球美 中学校 3676	40	12	校舎	普通, 特別教室	1982	S57	38	RC	2	1,186	新	-	-	-	長寿命	
	41	13	その他	クラブハウス	1987	S62	33	RC	1	200	新	-	-	-	長寿命	
	42	15	校舎	特別教室	1995	H7	25	RC	2	392	新	-	-	-	長寿命	
	43	16-1	体育館	屋内運動場	1998	H10	22	RC	2	1,138	新	-	-	-	長寿命	
	44	16-2	体育館	屋内運動場	1998	H10	22	RC	2	200	新	-	-	-	長寿命	
	45	17-1	校舎	特別教室	2014	H26	6	RC	1	1,033	新	-	-	-	長寿命	

※構造欄のRCは鉄筋コンクリート造を、また、基準欄の旧は旧耐震基準、新は新耐震基準にて建設された建物を表しています。

(4) 構造躯体以外の劣化状況評価

構造躯体以外の劣化状況は、現地の老朽化調査により得られた各部位の評価とこれらを数値化した健全度で評価し、今後の長寿命計画の劣化優先順位づけや保全の方針等、施設の中長期の保全計画につなげます。以下に、構造躯体以外の劣化状況評価を示します。

■ 構造躯体以外の劣化状況評価

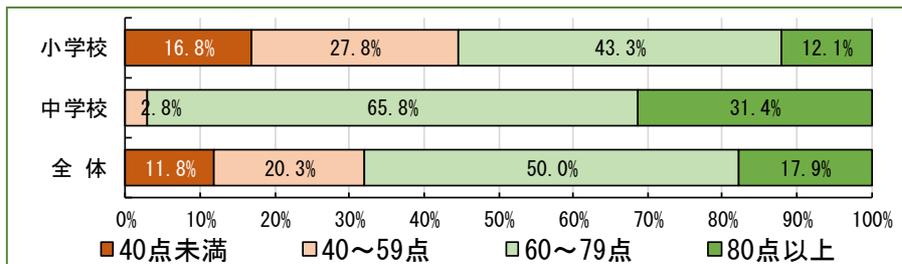
A : 概ね良好 C : 広範囲に劣化
B : 部分的に劣化 D : 早急に対応する必要がある
 : 築30年以上

建物基本情報										健全性		劣化状況評価						備考
学校名 学校調査 番号	通し 番号	棟 番号	用途 区分	建物名	建築年度 西暦/和暦	築 年数	構 造	階 数	延床 面積 (㎡)	長寿命 化判定	屋根 屋上	外壁	内部 仕上	電気 設備	機械 設備	健全度 (100点 満点)		
仲里 小学校 262	1	08	校舎	特別教室	1975 S50	45	RC	2	284	長寿命	C	B	C	C	C	50		
	2	09	校舎	管理、普通、特別教室	1979 S54	41	RC	2	1,608	長寿命	C	B	C	C	C	50		
	3	11	校舎	普通、特別教室	1990 H2	30	RC	2	651	長寿命	D	B	B	B	B	70		
	4	12	体育館	屋内運動場	1993 H5	27	RC	2	919	長寿命	B	B	B	B	B	75		
美崎 小学校 263	5	10	校舎	管理、特別教室	1979 S54	41	RC	2	1,034	長寿命	C	D	C	C	C	31		
	6	13	体育館	屋内運動場	1996 H8	24	RC	2	919	長寿命	B	B	B	B	B	75		
	7	14	校舎	普通教室	1979 S54	41	RC	2	640	長寿命	C	D	C	C	C	31		
	8	15	校舎	特別教室	2005 H17	15	RC	2	185	長寿命	B	B	A	A	A	91		
久米島 小学校 264	9	08	校舎	管理、普通、特別教室	1980 S55	40	RC	2	1,619	長寿命	C	C	C	C	C	40		
	10	10-1	体育館	屋内運動場	2001 H13	19	RC	2	922	長寿命	B	B	A	A	A	91		
	11	10-2	体育館	屋内運動場	2001 H13	19	RC	2	233	長寿命	A	B	A	A	A	93		
	12	11	校舎	特別教室	1980 S55	40	RC	2	264	長寿命	C	C	C	C	C	40		
比屋定 小学校 265	13	05	校舎	管理	1977 S52	43	RC	2	193	長寿命	C	C	C	C	C	40		
	14	07-1	校舎	普通教室	1983 S58	37	RC	2	600	長寿命	D	C	C	B	B	46		
	15	07-2	校舎	特別教室	1983 S58	37	RC	2	152	長寿命	B	B	B	B	B	75		
	16	09	体育館	屋内運動場	2000 H12	20	RC	2	994	長寿命	B	B	B	B	B	75		
	17	18	校舎	特別教室	1999 H11	21	RC	2	260	長寿命	B	B	B	B	B	75		
大岳 小学校 267	18	10-2	その他	水泳プール	1981 S56	39	RC	1	141	長寿命	B	B	B	B	B	75		
	19	10-3	その他	水泳プール	2002 H14	18	RC	1	35	長寿命	B	B	A	A	A	91		
	20	12-1	校舎	管理、普通教室	1981 S56	39	RC	2	1,325	長寿命	C	C	B	B	B	62		
	21	12-2	校舎	管理、普通教室	1991 H3	29	RC	2	70	長寿命	C	C	B	B	B	62		
	22	16	校舎	特別教室	1997 H9	23	RC	3	632	長寿命	B	B	B	B	B	75		
	23	17	体育館	屋内運動場	2002 H14	18	RC	2	954	長寿命	B	B	A	A	A	91		
清水 小学校 268	24	13	校舎	普通教室	1979 S54	41	RC	2	840	長寿命	C	D	C	C	C	31		
	25	14	校舎	普通教室	1980 S55	40	RC	2	705	長寿命	C	D	C	C	C	31		
	26	15-1	校舎	管理	1980 S55	40	RC	2	745	長寿命	B	C	C	C	C	43		
	27	15-2	校舎	管理(放送室)	1980 S55	40	RC	2	20	長寿命	B	C	C	C	C	43		
	28	19	その他	体育小屋	1985 S60	35	RC	1	30	長寿命	B	B	B	B	B	75		
	29	21-1	体育館	屋内運動場	1995 H7	25	RC	2	1,027	長寿命	B	B	B	B	B	75		
	30	21-2	体育館	屋体クラブハウス	1995 H7	25	RC	2	200	長寿命	B	B	B	B	B	75		
	31	23	その他	水泳プール	1998 H10	22	RC	1	153	長寿命	B	B	B	B	B	75		
	32	24	校舎	特別教室	1999 H11	21	RC	3	836	長寿命	C	B	B	B	B	72		
久米島西 中学校 3732	33	14-3	校舎	特別教室	1993 H5	27	RC	2	1,107	長寿命	D	B	B	B	B	70		
	34	15	その他	倉庫	1985 S60	35	RC	1	32	長寿命	B	B	B	B	B	75		
	35	17	校舎	多目的教室	1993 H5	27	RC	1	231	長寿命	C	B	C	B	B	59		
	36	19	体育館	屋内運動場	2000 H12	20	RC	2	1,138	長寿命	B	B	B	B	B	75		
	37	20	校舎	管理	2006 H18	14	RC	1	505	長寿命	B	B	A	A	A	91		
	38	21	校舎	普通教室	2006 H18	14	RC	2	1,017	長寿命	B	B	B	A	A	81		
球美 中学校 3676	39	22	その他	変電室	2006 H18	14	RC	1	22	長寿命	B	A	A	A	A	98		
	40	12	校舎	普通、特別教室	1982 S57	38	RC	2	1,186	長寿命	B	B	B	B	B	75		
	41	13	その他	クラブハウス	1987 S62	33	RC	1	200	長寿命	B	B	B	B	B	75		
	42	15	校舎	特別教室	1995 H7	25	RC	2	392	長寿命	B	B	B	B	B	75		
	43	16-1	体育館	屋内運動場	1998 H10	22	RC	2	1,138	長寿命	B	B	B	B	B	75		
	44	16-2	体育館	屋内運動場	1998 H10	22	RC	2	200	長寿命	B	B	B	B	B	75		
	45	17-1	校舎	特別教室	2014 H26	6	RC	1	1,033	長寿命	A	A	A	A	A	100		

調査の結果、小学校の健全度の平均は 63.3 点、中学校の平均は 78.8 点、学校施設全体では 67.7 点となっています。特に、中学校は全ての棟が新耐震基準により建てられ、多くの建物が平成以降の建設となっているため、健全度の数値が高い結果となっています。

健全度の状況を延床面積比のグラフでみると、小学校は 40 点未満が 16.8%、40～59 点が 27.8%、合わせると 60 点未満が 44.6%となっており、やや老朽化が進んでいます。一方、中学校は 40 点未満が無く、40～59 点も 2.8%と少なく、健全度は良好な状況と言えます。

■健全度の状況（延床面積比）

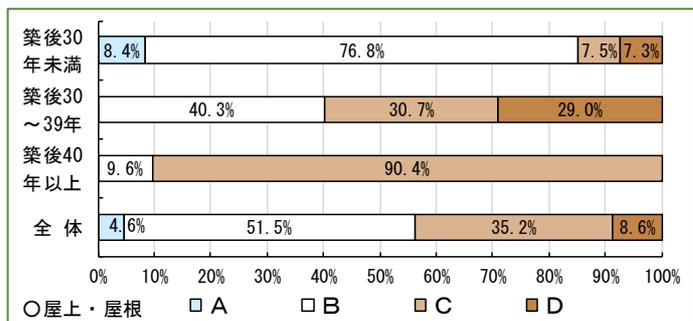


建物を長く使用する上で重要と思われる屋根・屋上の評価を築年別に延床面積比でみると、築後 30 年未満で概ね良好な A 評価と部分的に劣化が見られる B 評価の合計は 85%を超えています。一方、築後 40 年以上が経過した建物では、早急に対応する必要がある D 評価はないものの、広範囲に劣化が見られる C 評価が 9 割を超え、老朽化がうかがえます。

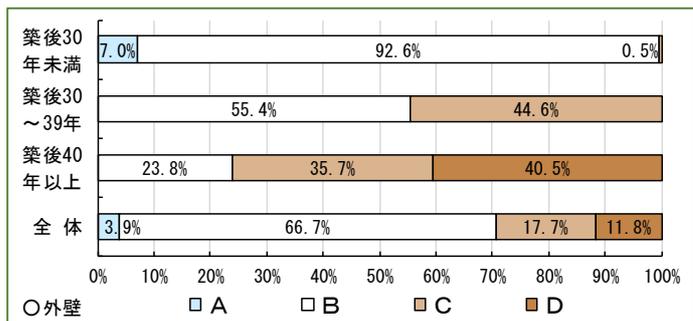
外壁について、築後 30 年未満の棟ではほぼ全てが A と B 評価で、築後 40 年以上では C と D 評価の合計が 76.2%となっています。このように外壁の劣化が大きい要因は、地理的に学校施設が島の海岸近くに位置することで塩害を直接受けていることなどが考えられます。

内部仕上げについては、早急に対応を要する D 評価は無いものの、築後 40 年以上が経過した建物の 100%が C 評価となっており、機能の低下が見られます。全体として、指定避難所として二次避難のために開設される屋内運動場は、全て築後 30 年未満となっており、健全度評価も B 評価以上となっています。

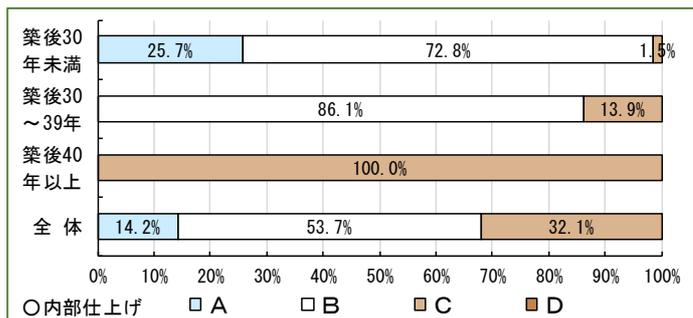
◆屋上・屋根の築後経過年別の評価（延床面積比）



◆外壁の築後経過年別の評価（延床面積比）



◆内部仕上げの築後経過年別の評価（延床面積比）



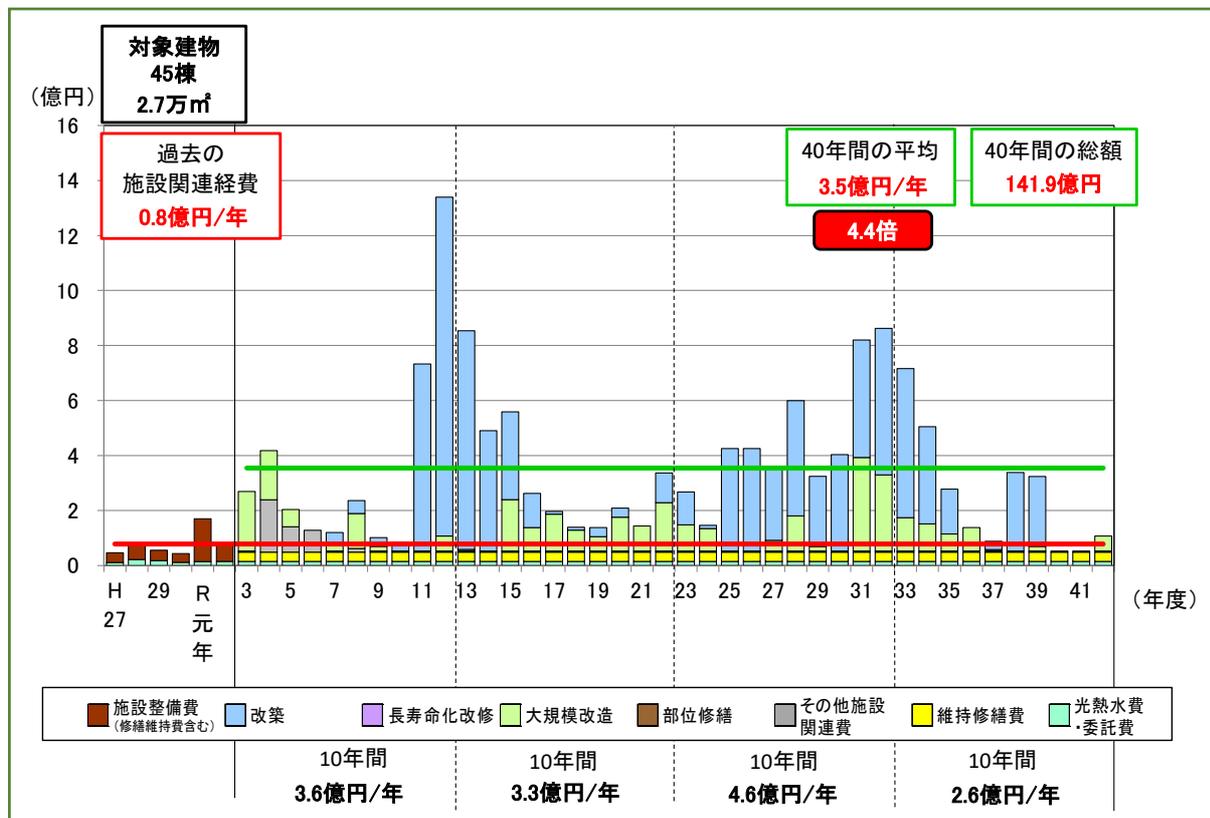
(5) 今後の維持・更新コストの把握

①従来型整備方法による維持・更新コスト

今後の維持・更新コストは、更新周期を50年で改築する条件で文部科学省提供の試算ソフトを使って試算します。従来型の整備方法を前提とした場合の試算期間40年間の維持・更新コストは、以下の通りとなります。なお、耐震改修工事費は施設関連費として計上します。

試算の結果、総コストは141.9億円、年平均3.5億円が必要となります。特に、令和11(2029)～15(2033)年度と令和25(2043)～34(2052)年度では改築が集中し、令和12(2030)年度では施設関連経費等も含めて年間13.4億円ものコストが発生することとなります。また、令和13(2031)年度からの10年間は4.6億円/年もの費用が発生しています。これらのことから、従来の改築中心の整備を継続することは財政的にも厳しいため、平準化等の対応策を検討する必要があります。

■今後の維持・更新コスト（従来型）



○コスト試算条件（従来型）

基準年度 2020年

試算期間：基準年の翌年度から40年間

改築 工事期間 2年
更新周期 50年 実施年数より古い建物の改築を10年以内に実施
改築単価 330,000円/㎡

大規模改造
実施年数 20年周期 工事期間 1年

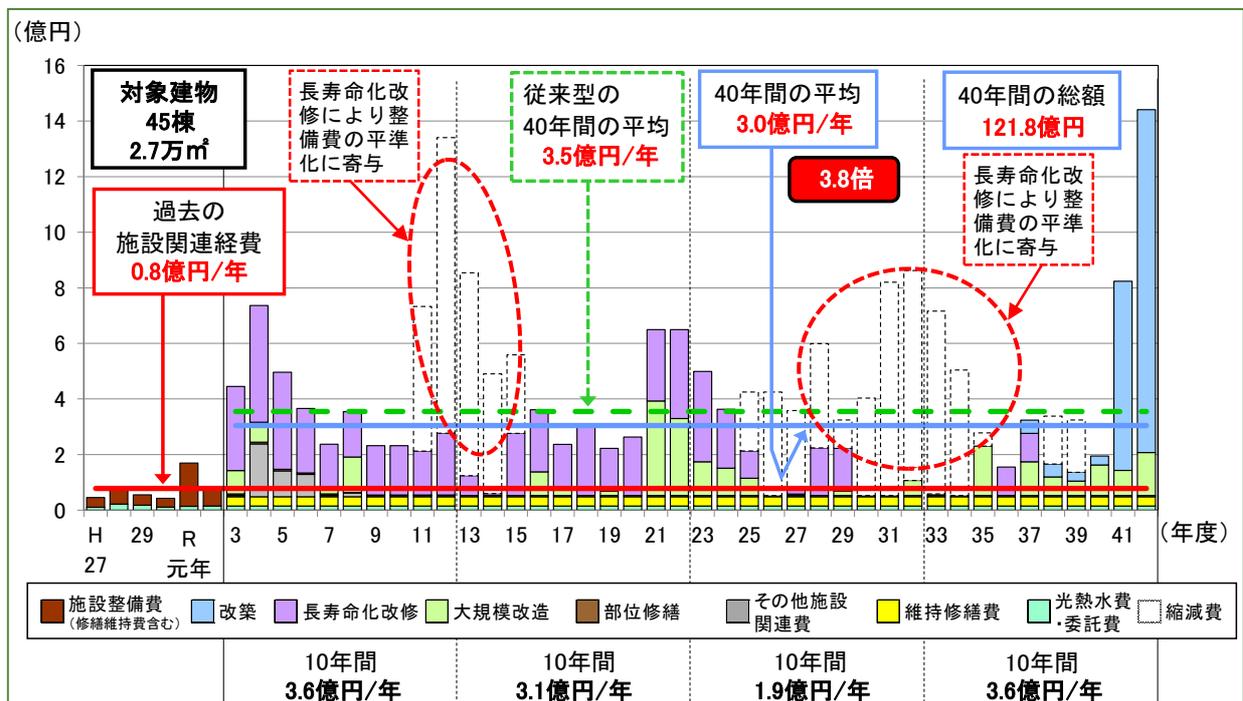
作図：文部科学省提供ソフト

②長寿命化型整備方法による維持・更新コスト

学校施設の計画的な機能回復・向上に向けた修繕・改修を行う長寿命化型に整備手法をシフトした場合の維持・更新コストは、以下のグラフの通りとなります。

試算の結果、40年間の維持・更新コストは、総額 121.8 億円、年平均 3.0 億円が必要となります。従来型と比較すると、整備方法が改築から長寿命化改修にシフトされ、改築の更新周期が 30 年延びることにより、総額で 20.1 億円程度、40年間の平均で年に 0.5 億円ほど少なくなります。また、期間の終わりの令和 41（2059）・42（2060）年度に改築が突出するものの、令和 23（2041）～32（2050）年度の 10 年間では 2.7 億円/年もの費用が縮減となり、コストの平準化に寄与しています。

■今後の維持・更新コスト（長寿命化型）



○コスト試算条件（長寿命化型）

基準年度 2020年 試算期間：基準年の翌年度から40年間

改築

※1 試算上の区分（改築、長寿命）ごとに更新周期を設定する。
試算上の区分が未記入の場合は「改築」と同条件で算出する。

更新周期 年 年 工事期間 年
実施年数より古い建物の改築を 年以内

長寿命化改修

改修周期 年 工事期間 年
実施年数より古い建物の改築を 年以内

大規模改造

実施年数 年周期（ただし、改築、長寿命化改修の前後10年間に重なる場合は実施しない）

部位修繕

D評価： 今後 年以内に部位修繕を実施
C評価： 今後 年以内に部位修繕を実施
（ただし、改築、長寿命化改修、大規模改造を今後10年以内に実施する場合を除く）
A評価： 今後 年以内の長寿命化改修から部位修繕相当額を差し引く

4. 学校施設の実態を踏まえた課題

学校施設を取り巻く状況をはじめとして運営・活用状況、老朽化状況などの学校施設の実態を踏まえた課題を以下に整理して示します。

🏠 運営状況・活用状況等の実態を踏まえた課題

- へき地の特性を生かした少人数・複式学級の展開や地域行事を核とした体験的な学習、合同・集合・交流学习等の集団での学びの経験などにより、小規模・複式教育を充実させる必要があります。
- 学校ホームページによる情報発信や学校行事への地域住民の参加、社会教育団体活動の促進など、地域に開かれ根ざした心豊かな児童生徒を育み、地域コミュニティの拠点となる学校づくりが求められます。
- 情報教育の効果を高めるため、校内Wi-Fi環境の整備・改善をはじめとして、児童生徒用のタブレット、電子黒板、デジタル教科書等の整備など、デジタル教材の活用を見据えたICT環境の充実が求められます。
- 近年、特別支援学級の増加が見られることから、自閉症、情緒障害又はADHD等のある児童生徒に配慮し、特別支援教育のニーズに応じた教室の確保や教材の整備が必要です。
- 学校施設は、災害時の避難所として重要な役割を担っているため、建物の耐震化とともに、照明器具等の非構造部材の耐震対策や避難スペースの確保、多目的トイレ等、避難所としての防災機能を強化する必要があります。
- 小学校児童数は、僅かながらの増減を繰り返しつつも、全体的には減少傾向にあり、施設の老朽化の状況や地域の状況、通学負担の軽減等を踏まえた上で、統廃合の必要性など学校施設の適正配置の検討が必要です。

🏠 老朽化状況の実態を踏まえた課題

- 耐震診断の結果、耐震性のない建物で補強が未実施の小学校校舎については、早急な耐震改修の実施により、学校施設の安全性を確保する必要があります。また、耐震診断が未実施の校舎についても、速やかな耐震診断と耐震改修の実施が求められます。
- 築後40年以上が経過した施設では、屋根や窓廻りの漏水や塗装の剥がれ等、広範囲に及ぶ劣化が見られるため、安全性を考慮しつつ危険性が高いものから早急な対策を進め、老朽化に伴う危険を未然に防ぐ必要があります。
- 大規模な不具合が発生する前に、計画的で劣化状況の評価に沿った長寿命化改修等の老朽化対策が必要です。
- これまでの建物の維持管理は、不具合発生の度に補修する「事後保全型」の対応が行われており、建物の良好な維持と長期利用を図るためには計画的に施設の点検・診断を行うなど、「予防保全型」の維持管理への転換が必要です。
- 屋内運動場は、長期的な二次避難のために開設する地域の避難所に指定されており、児童生徒だけではなく地域住民の利用も考慮し、スロープ設置などの段差解消や手すりの設置、多目的トイレの整備など、バリアフリー化を推進する必要があります。
- 照明器具の老朽化による不具合や照度不足等が見られるため、高効率化を目指した教室等の照明器具のLED化などの対応策が求められます。
- 近年の日常生活環境の変化を考慮し、衛生面や生活面の向上を目指したトイレ床の乾式化と便器の洋式化を検討する必要があります。

第3章 学校施設整備の基本的な方針等

1. 学校施設整備の基本方針

(1) 長寿命化計画の方針

総合管理計画の管理に関する基本的な考え方に即するとともに、本計画の課題を踏まえた長寿命化計画の方針を以下に定めます。

🏠 校舎や非構造部材の耐震化と機材の転倒防止等による学校施設の安全性の確保

地震に強い学校施設を目指して、耐震性がない小学校校舎の早急な耐震改修の実施を図るとともに、非構造部材の耐震化や機材の転倒対策を計画的に進めます。また、老朽化に伴う落下等の危険を未然に防ぎ、学校施設の安全性を確保します。

🏠 定期的な点検と予防保全、計画的な長寿命化改修等への整備手法の転換

施設整備の考え方を改築から計画的な長寿命化改修に転換し、トータルコストの縮減や予算の平準化を図ります。また、老朽化による突発的な事故や費用の発生を減少させるため、日常点検・定期点検の徹底と予防保全の考え方を取り入れた適切な維持管理を行います。

🏠 地域特性を生かした機能的で利用しやすい学校施設の整備

情報教育の向上に寄与するため、多様な学習活動に対応できる Wi-Fi 環境等の整備を進め、ICTを活用した機能的で利用しやすい学校施設の整備を図ります。また、自閉症、情緒障害又はADHD等のある児童生徒に配慮し、特別支援教育のニーズに応じた教室の確保や教材の充実を図ります。

🏠 地域に開かれ多様な利用者が利用できる安全・安心な施設の活用

学校施設は、災害時の避難所として重要な役割を担っているため、非構造部材の耐震化や機材の転倒防止を進めます。また、多様な利用者の利便性と安全性向上のため、段差解消や手すりの設置、多目的トイレの整備など、施設のバリアフリー化を推進するとともに、身近な地域の拠点となるよう地域住民の多面的な活用を増進し、効率的かつ効果的な施設の運営に取り組みます。

🏠 学校施設の統廃合の必要性など適正配置の検討

児童数の減少や施設の老朽化の状況、地域の状況に注視し、必要に応じて学校再編等の適正配置について検討します。その際、公民館やコミュニティーセンターなどの公共施設等について、地域の実状に応じた機能の再編、集約化・複合化等についても検討します。

(2) 学校施設の規模・配置計画等の方針

① 将来児童生徒数の検討

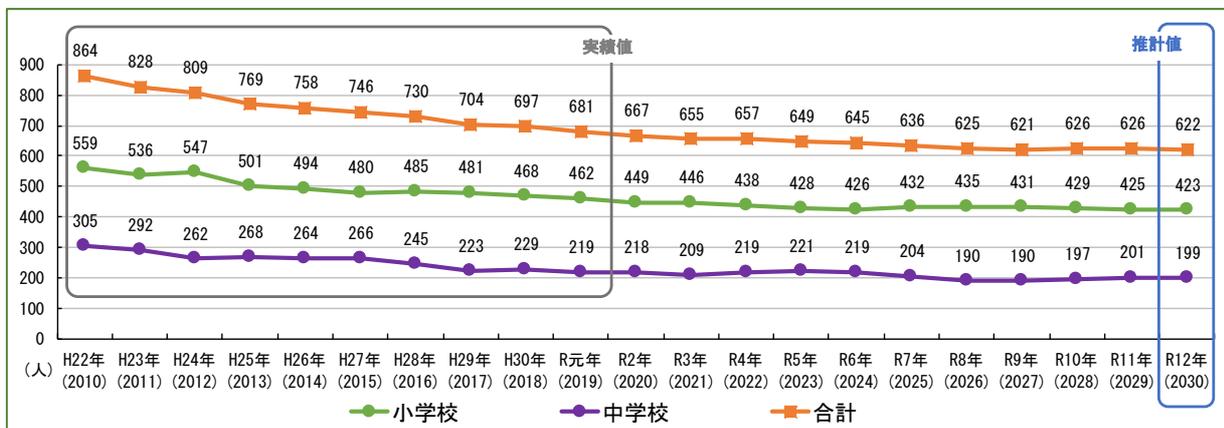
ここでは、本町の将来児童生徒数を直近 9 年間の学年別児童生徒数の推移を基に変化率法を用いて検討します。検討の結果、計画期間終了年である令和 12 (2030) 年度の小学校児童数は令和元年度から 39 人減少の 423 人、中学校生徒数は 20 人減少の 199 人、合計 59 人減少の 622 人と予測します。

令和 12 (2030) 年度の児童数 423 人、生徒数 199 人、合計 622 人と予測します

■ 将来児童生徒数の推計結果

単位：人

項目	過去9年間平均変化率	推計値												
		実績値 R元年 (2019)	R2年 (2020)	R3年 (2021)	R4年 (2022)	R5年 (2023)	R6年 (2024)	R7年 (2025)	R8年 (2026)	R9年 (2027)	R10年 (2028)	R11年 (2029)	R12年 (2030)	
5歳	-	69	75	74	74	73	73	72	72	71	71	71	70	
小1	5歳⇒小1	1.019	68	70	76	76	75	74	74	74	73	73	72	
小2	小1⇒小2	0.989	75	67	70	75	75	74	74	73	73	72	71	
小3	小2⇒小3	1.000	86	75	67	70	75	75	74	74	73	73	72	
小4	小3⇒小4	0.974	81	84	73	65	68	73	73	72	72	71	71	
小5	小4⇒小5	0.987	75	80	83	72	65	67	72	72	71	71	70	
小6	小5⇒小6	0.967	77	73	77	80	70	63	65	70	69	69	68	
小学校計	-	462	449	446	438	428	426	432	435	431	429	425	423	
中1	小6⇒中1	0.972	66	75	70	75	78	68	61	63	68	68	67	
中2	中1⇒中2	0.987	78	65	74	70	74	77	67	60	62	67	66	
中3	中2⇒中3	0.996	75	78	65	74	69	74	76	67	60	62	67	
中学校計	-	219	218	209	219	221	219	204	190	190	197	201	199	
小中学校合計	-	681	667	655	657	649	645	636	625	621	626	626	622	



■ 変化率法による推計の手順について

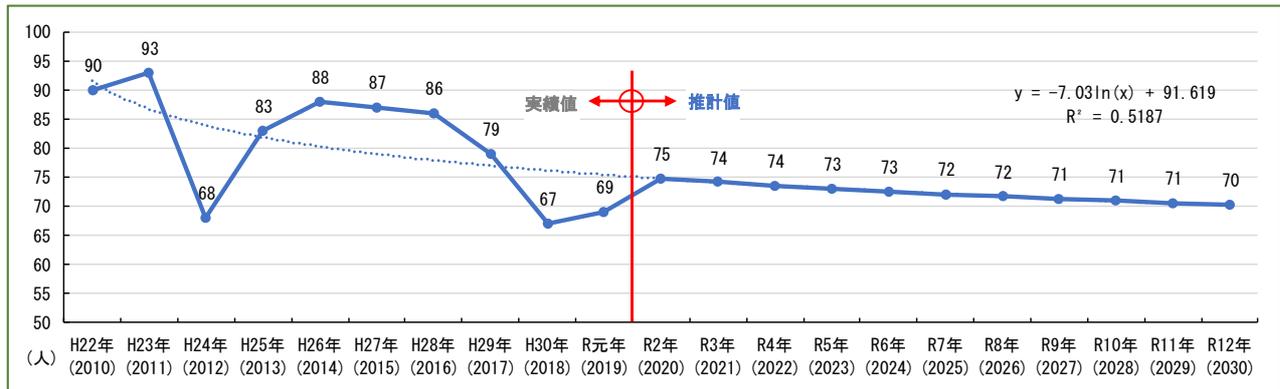
- 過去 10 年の各学年の児童生徒数を基本母集団数として、次年度に進級（例えば小学校 1 年生が小学校 2 年生に進級、小学校 6 年生が中学校 1 年生に進級）する際の変化率を算出。
- 過去の各学年の変化率は、転入・転出による社会増減及び死亡による自然増減を加味していると考えられることから、各学年の 9 年間の平均変化率を算出。なお、算出した平均変化率は、計画期間内において一定であると仮定。
- 将来の 5 歳児園児数の算出は、過去 10 年の児童数を基に相関係数が他に比べ高い対数近似曲線による回帰分析にて推計。
- 推計した将来の 5 歳児園児数に、5 歳児が小学校 1 年生に進級する際の平均変化率を乗じて次年度の 1 年生の児童数とする。以降、これを将来の年次毎に各学年の児童数に平均変化率を乗じて推計。

■過去 10 年の児童生徒数と 9 年間の変化率の推移

単位：人

項目		H22年 (2010)	H23年 (2011)	H22⇒ H23	H24年 (2012)	H23⇒ H24	H25年 (2013)	H24⇒ H25	H26年 (2014)	H25⇒ H26	H27年 (2015)	H26⇒ H27	H28年 (2016)	H27⇒ H28	H29年 (2017)	H28⇒ H29	H30年 (2018)	H29⇒ H30	R元年 (2019)	H30⇒ R元
5歳	-	90	93	-	68	-	83	-	88	-	87	-	86	-	79	-	67	-	69	-
小学校	小1 5歳⇒小1	88	87	1.034	89	1.045	68	1.000	82	1.012	84	1.048	86	1.012	85	1.012	77	1.026	68	0.985
	小2 小1⇒小2	86	85	0.966	83	0.954	91	1.022	74	1.088	78	0.951	81	0.964	84	0.977	85	1.000	75	0.974
	小3 小2⇒小3	103	84	0.977	88	1.035	79	0.952	91	1.000	75	1.014	82	1.051	79	0.975	83	0.988	86	1.012
	小4 小3⇒小4	111	102	0.990	81	0.964	87	0.989	79	1.000	85	0.934	73	0.973	80	0.976	76	0.962	81	0.976
	小5 小4⇒小5	74	106	0.955	101	0.990	79	0.975	91	1.046	78	0.987	85	1.000	70	0.959	79	0.988	75	0.987
	小6 小5⇒小6	97	72	0.973	105	0.991	97	0.960	77	0.975	80	0.879	78	1.000	83	0.976	68	0.971	77	0.975
中学校	中1 小6⇒中1	98	95	0.979	73	1.014	99	0.943	96	0.990	72	0.935	80	1.000	75	0.962	79	0.952	66	0.971
	中2 中1⇒中2	99	96	0.980	94	0.989	71	0.973	98	0.990	95	0.990	72	1.000	77	0.963	76	1.013	78	0.987
	中3 中2⇒中3	108	101	1.020	95	0.990	98	1.043	70	0.986	99	1.010	93	0.979	71	0.986	74	0.961	75	0.987

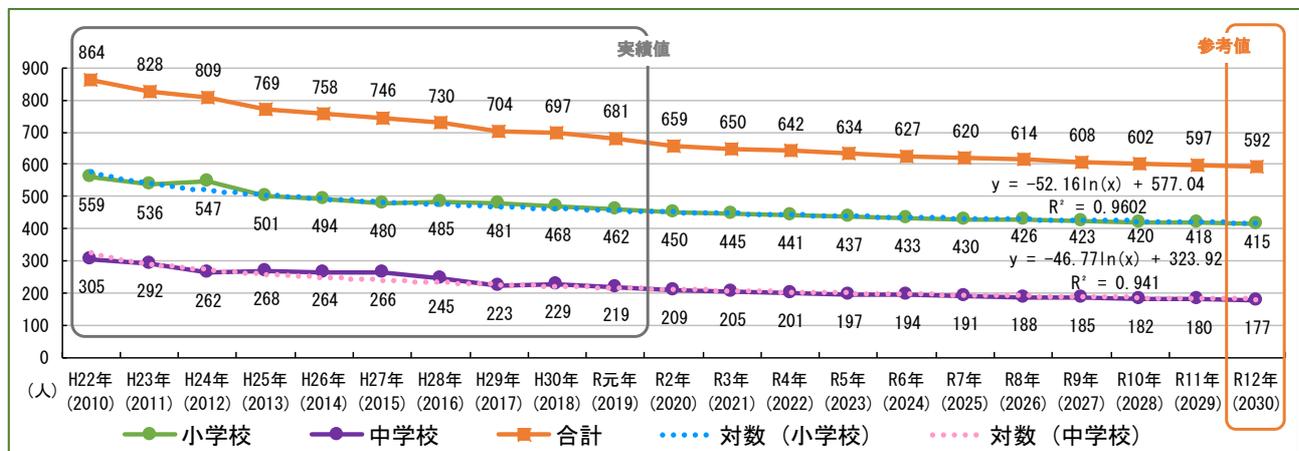
■5 歳児の推移と回帰分析による将来の 5 歳児園児数



ここでは参考として、過去 10 年の児童生徒数を相関係数が他に比べ高い対数近似で単純に回帰分析すると、児童生徒数は以下のグラフの通りとなります。結果は、計画期間終了年である令和 12 (2030) 年度の小学校児童数は 415 人、中学校生徒数は 177 人、合計 592 人、変化率法に比べさらに 30 人の減少となり、変化率法と比べて減少幅が大きくなります。

本計画では、「久米島町人口ビジョン」において、島の魅力づくりによる人口の社会増を伸ばすことや出産年齢の女性が島で生活できる環境づくりなど、人口減少を抑える施策の展開を考慮し、社会増減及び自然増減を加味した変化率法による将来推計値を採用するものとします。

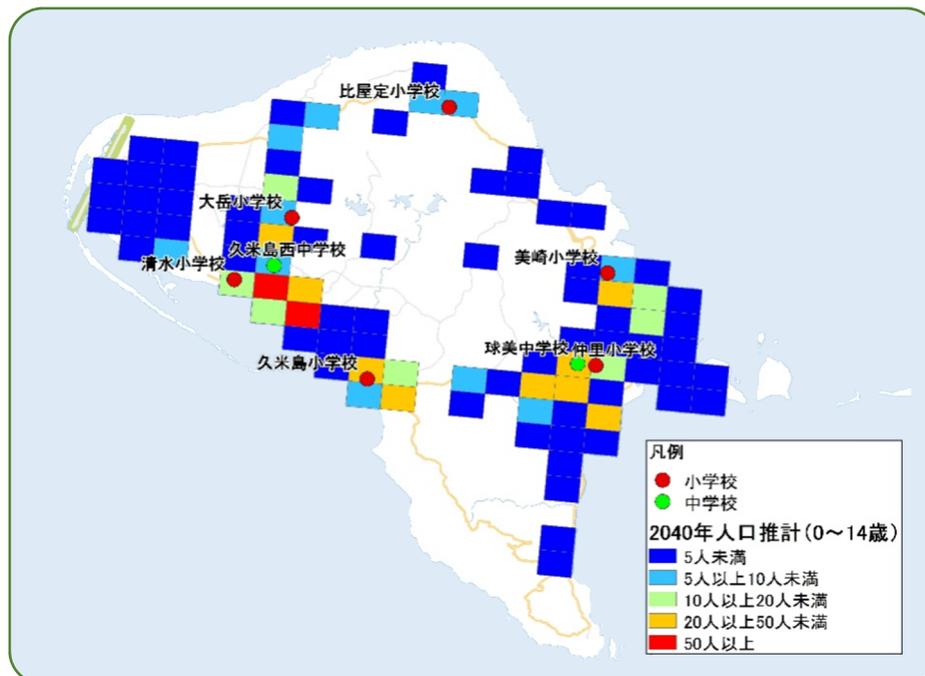
■参考：回帰分析による将来の児童生徒数



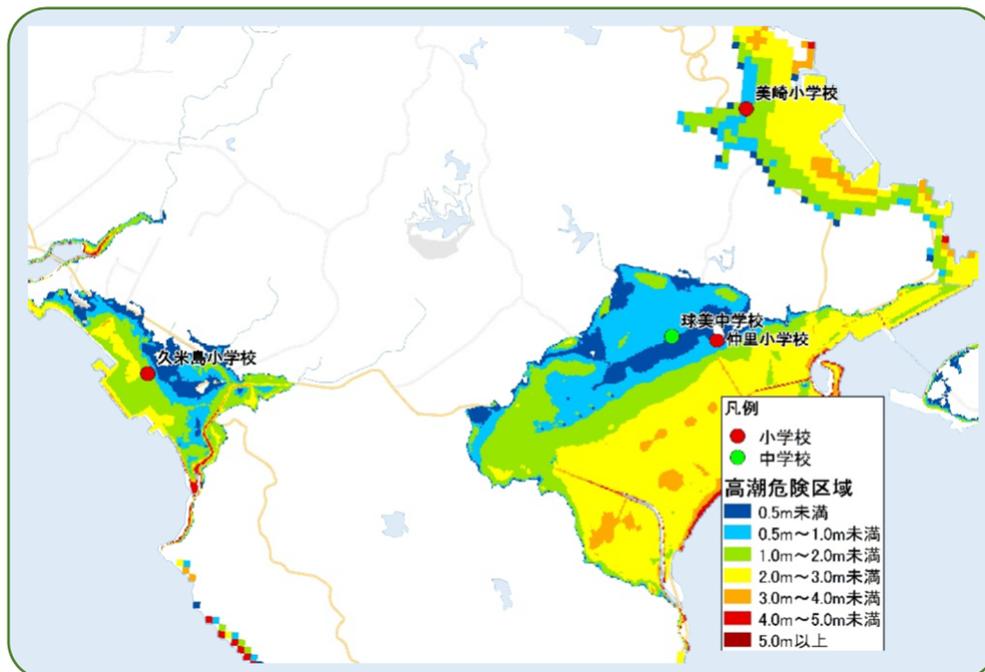
②総合的地域情報の整理

本町の学校施設は、概ね島の外周を取り囲むように立地しています。また、各学校施設が立地している周辺部は、島内において住宅地となっており、比較的人口が集中しています。社人研の推計から令和 22 (2040) 年の将来年少人口 (0~14 歳未満) の分布と学校施設を重ね合わせてみると、比屋定小学校周辺で 10 人未満となっています。また、ハザードマップの高潮危険区域をみると、海岸沿岸部付近で 2m 未満 (久米島小学校) や 1m 未満 (仲里・美崎小学校、球美中学校) の高潮危険区域内に位置する学校施設がみられます。

■令和 22 (2040) 年の将来年少人口と学校施設の位置



■ハザードマップによる高潮危険区域と学校施設の位置



③適正化に向けた方針

人口減少や少子高齢化、財政負担の軽減等により、公共施設の集約化や複合化は将来的に避けられない問題となっており、中でも小学校が集約化により廃校になると、一般的には廃校となった学区の過疎化が一気に進む傾向にあるとされています。

一方、教育的な観点からは、児童生徒が集団の中で多様な考えに触れ、認め合い、協力し合って切磋琢磨することを通じて思考力や表現力、判断力、問題解決能力を育み、身につけさせる教育を行うためには、一定規模の児童生徒数が確保されることが必要であるとも言われています。

本町では、平成 19（2007）年と同 26（2014）年度に中学校の統廃合を行っています。小学校においても、将来は校区の就学・未就学児童が大きく減少し、特に児童数の少ない小学校では、将来の児童数や学級数が極端に変わる状況にあるため、再編・統合の検討を開始することが考えられます。このため、本町の小学校のあり方を示すガイドラインの策定により検討を開始する時期を基準化するとともに、平成 27 年度に文部科学省が示した「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」を踏まえ、保護者や地域住民の意見を尊重しつつ、再編・統合の検討を進める必要があります。学校施設の規模・配置計画等を検討するにあたっては、以下の点を考慮して適正化に努めます。

🏠 隣接校との再編・統合

今後、近隣で規模の小さな学校がある場合には、児童を主体としたスクールバスの運行などの通学条件を考慮した再編・統合を検討する必要があります。その場合、当該地域の避難施設としての防災機能やこれまで利用していた地域活動の活用にも十分に配慮することが必要です。

🏠 既存公共施設との複合化

児童・生徒の多様な学習機会を創出し、地域コミュニティの強化や地域の振興・再生にも資するとされる学校施設と他の公共施設との複合化は、複数の公共施設等の一体的整備や既存学校施設の活用により、地域内全体の整備費用の削減が可能となります。複合化にあたっては、複数の公共施設等関係部局が連携し、地域内の公共施設の整備計画や、複合化する各施設の計画、管理・運営の方法等について検討することが必要です。

🏠 学校施設の減築

小規模校を存続する場合は、学校が小規模であることのデメリットを抑えつつ、メリットを活かして現状の規模や機能を維持するなど、余裕教室などの空きスペースの有効活用を進めます。さらに、児童数が減少した場合、学校施設の改築を行う際には日常的な維持管理の縮減のため、不要となった部分を取り除く減築について検討します。

2. 改修等の基本方針

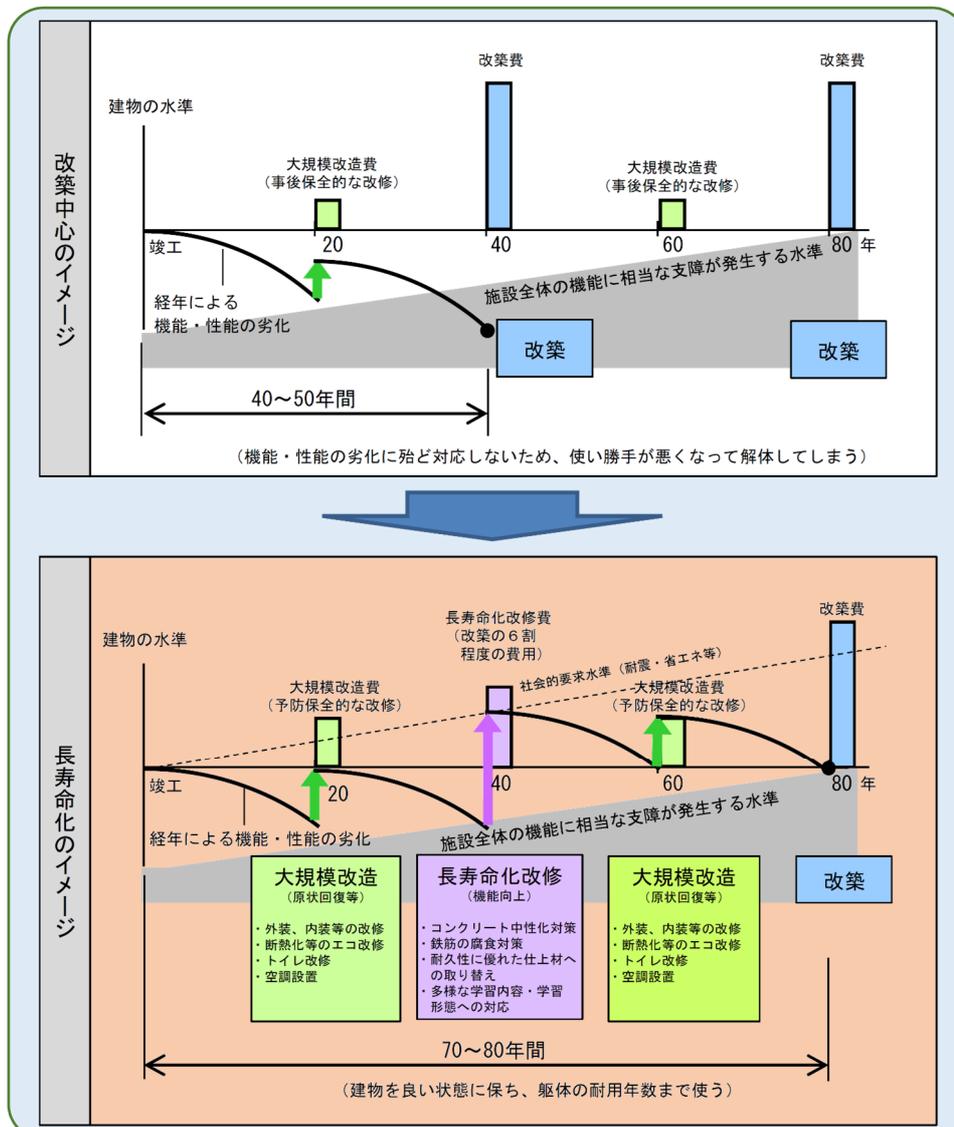
(1) 長寿命化改修の方針

従来型の整備手法では、改築が集中する時期が到来し、対象施設を将来にわたって維持することが財政的にも厳しくなり、改築中心の老朽化対策では対応しきれない施設が大幅に増加することが予想されます。

このため、中長期的な維持管理等に係るトータルコストの縮減・予算の平準化を実現することが重要であり、改築より工事費が安価で、廃棄物や二酸化炭素の排出量が少ない長寿命化改修へ転換を図る必要があります。なお、耐震診断未実施及び構造躯体が長期間の利用に適さない場合には、個別施設の棟ごとに躯体の詳細な調査を行い、長寿命化に適しないと判断された建物については、改築等までの期間に応急的な保全を行うなど、当面の安全性・機能性の確保に努めます。

🏠 改築中心の整備から長寿命化改修中心の整備へ転換を図ります

■ 改築中心から長寿化への転換イメージ



資料：文部科学省 学校施設の長寿命化計画策定の手引きと解説

(2) 予防保全の方針

これまで、劣化・破損等の大規模な不具合が起きてから修繕等を対処療法的に行う「事後保全型」の維持管理を行ってきました。このような保全方法では、老朽化や機能の低下など施設整備水準の維持に対応できない可能性があり、結果として建物全体の寿命を縮める要因となっていました。

これからは、建物の良好な維持と長期間の利用を図るため、定期的な点検・調査の実施とともに、損傷などの劣化が軽い早期の段階から予防的修繕を実施して、機能・性能の保持・回復を図る「予防保全型」の維持管理を導入します。これにより、改修や日常的な維持管理の費用を平準化し、中長期的なトータルコストを下げる事が可能となります。

🏠 維持管理をこれまでの「事後保全型」から「予防保全型」へ転換します

(3) 目標使用年数の設定

一般的に鉄筋コンクリート造の建物は、コンクリートのひび割れ・欠けや鉄筋の腐食等の劣化が生じていたとしても、劣化が重度にならない概ね築後45年程度までにその劣化の原因を調査し、適切な補修・改修を行うことで耐用年数を伸ばすことができるとされています。「建築物の耐久計画に関する考え方（社団法人日本建築学会・昭和63年）」では、鉄筋コンクリート造の校舎の場合、目標耐用年数として、普通品質50～80年、高品質では80～120年とされています。なお、減価償却資産の法定耐用年数（財務省・財務省令）では、校舎・園舎・講堂は47年となっているものの、これは減価償却資産の耐用年数であり、実際の建物の使用年数の参考とはなり難いものと考えられます。

🏠 適切な維持管理により、学校施設の目標使用年数を80年とします

■ 望ましい目標耐用年数の級と目標耐用年数の級の区分例

用途	鉄筋コンクリート造の目標耐用年数の級		級	代表値	範囲
	高品質の場合	普通品質の場合			
学校・官公庁	Y. 100以上	Y. 60以上	Y. 100	100年	80～120年
			Y. 60	60年	50～80年

資料：建築物の耐久計画に関する考え方（社団法人日本建築学会・昭和63年）

(4) 改修周期の設定

設定した目標使用年数まで建物を使用し、機能・性能の低下を放置することなく、求められている水準まで引き上げるため、築20年経過時点で原状回復のための大規模改造を行い、目標使用年数80年の中間期である築40年経過時点で長寿命化改修を実施、その後改築までの期間に再度原状回復のための大規模改造を実施し、定期的に必要な改修を計画的に行います。

🏠 大規模改造周期は築20年・60年、長寿命化改修周期は築40年とします

■ 改修周期の設定

用途	目標使用年数	大規模改造の周期	長寿命化改修の周期
校舎・屋内運動場	80年	築20年・築60年	築40年

第4章 基本的な方針等を踏まえた施設整備の水準等

1. 改修等の整備水準

長寿命化型改修は、単に不具合箇所を修繕するだけでなく、建物の機能や性能を現在の学校施設に求められている水準まで引き上げる改修です。ここでは、現在の劣化状況や学校施設整備の基本的な方針等を踏まえ、今後の改修でどの水準まで引き上げるかを施設の部位ごとに検討し、学校施設に関する統一的な方針として、今後の改修等による整備水準を設定します。

以下に、長寿命化改修において「耐久性を高めるもの（外部仕上げ）」、「現代の社会的要請に応じ機能向上させるもの（内部仕上げ・設備）」、「多様な学習内容・学習形態への対応（学習環境の多様化・安全安心な施設整備）」に区分した整備水準表を示します。

■改修等の整備水準表

部 位		建設当初の標準仕様	長寿命化改修の整備水準	省エネ型の改修	修繕レベル		
		低 ←	整備レベル	→ 高			
耐久性を高めるもの	外部	屋根・屋上	アスファルト防水	被せ工法によるシート防水	外断熱シート 防水(t-25) 外断熱保護 防水(t-20)	クラック補修 浮き部補修	
			シート防水	シート防水張替え			
			スチール鋼板屋根	塗膜防水			
			瓦葺屋根	割れた瓦の葺替え			
	RC造躯体	※構造体の劣化状況調査		躯体の状況に応じた補修	-	ひび割れ補修, 中性化抑制 断面修復, 鉄筋腐食補修	
		S造構造体			-	錆補修	
	外壁	RC部	モルタル下地外装塗装材 (リシン吹付け)	耐久性を高める塗装材 (防水型複層塗材)	内断熱	複層塗材	
		鉄骨部	外壁ボード塗装(複層塗材)	セメントボード葺替え			
	外部開口部		アルミサッシ スチールサッシ スチール扉	危険個所の落下防止対策 既存サッシのガラス交換 (複層ガラス等) ガラス飛散安全対策	サッシ交換 (カバー・はつり工法) (複層ガラス)	シーリング打替え 開閉調整 塗装	
	給排水設備	給水	ライニング鋼管	硬質塩化ビニル管による配 管の更新	-	-	
機能向上させるもの	内部	各室	内装材	一般材料(E P 塗装)	空気汚染物質発生させない 材料に更新	内装の全面撤去・更新 (木質化)	-
			換気設備	自然換気	機械換気	-	-
		教室・廊下	間仕切壁	スチール枠, アルミ枠, 木製扉	鋼製・アルミ製スクール パーテーション	-	-
			床	Pタイル, シート床, フローリングブロック	床補修, 教室内段差解消, 適 切なスロープ設置	床の全面撤去・更新 (木質化)	-
			出入建具	木製扉	鋼製・アルミ製スクールパー テーション, 鋼製建具更新	-	-
	階段室	防火戸	防火戸(建設時の基準法)	防火戸の改修	-	-	
	トイレ	床	ウェット式(タイル仕上げ)	ドライ式(抗菌シート), 段差解消	-	部分タイル張替え	
		衛生器具	和式便器, 一般形小便器, 水栓	洗浄機能付便座付洋式便 器, 節水型小便器, 自動水栓	節水型小便器, 自動水栓	衛生器具交換	
		照明設備	手動照明	自動照明	自動照明	-	
	設備	電気設備	照明設備	蛍光灯	LED照明	LED照明(人感・照度 センサー付)	蛍光灯(照明器具交換)
		給排水設備	給水	受水槽方式	直結増圧給水方式	雨水・中水利用	-
		空調設備	冷・暖房	ヒートポンプ式エアコン設 置(教室・管理教室)	-	ヒートポンプ式マルチ エアコン	-
	多様な学習内容への対応や	学習環境の多様化	対応なし	I C T 環境設備	-	-	
内部		バリアフリー	スロープ等に手摺設置, 案内板カウンター設置, 誘導ブロック設置, 車椅子対応駐車場	多目的トイレの設置 乗用エレベーター設置	-		
		防災	非常用自家発電設備, 災害時飲料用受水槽(20t)FRP製	-	-		
		アスベスト	アスベスト封じ込め	アスベスト撤去	-	-	
		防犯	玄関モニター付きインターホン, 管理室~教室用イン ターホン, 防犯カメラ	-	-		

2. 維持管理の項目・手法等

(1) 維持管理の項目・手法

建物の点検調査には、建築基準法第12条点検や消防点検など、法令で義務付けられている定期点検があります。これらの定期点検の際に、簡易な老朽度調査も併せて行うことで、老朽状況の進行や危険な箇所を早期に確認することが可能となります。また、簡易な老朽調査結果を施設カルテや公共施設データベースに蓄積更新することで、老朽化の進捗状況に合わせた改修メニューや改修時期などの見直しに役立ちます。

以下に、施設の部位ごとの対応手法について整理します。予防保全を実施すべき部位については、建物構造躯体への影響が大きいことから「計画的な対応が必要＝A」、運転の時間等においてまた点検を介して「不具合があれば故障する前に対応が必要＝B」、「事後保全に対応する部位＝C」の3つに区分し設定します。

■維持管理の部位ごとの対応手法

対象部位	具体例	対応手法	理由
建築	屋根・屋上	屋上防水・屋根	A 屋根・屋上及び外壁の劣化に伴う亀裂の発生は漏水原因となる可能性が高い
	外壁	RC造躯体・外壁ボード	
	開口部	シャッター・アルミサッシ・スチール扉	B 日常使用で不具合が発見できる
	内部仕上げ	床・壁・天井内装材	A 雨漏れなどにより仕上げ材の劣化・損傷が進行するが、日常使用で不具合が発見できる
電気設備	受変電	受電盤・変圧器・コンデンサー	B 電気事業法による点検及び消防法による点検が年1回実施されており、点検を通じて不具合が発見できる
	通信・情報	映像・音響・インターホン	C 日常使用で不具合が発見できる
	通信・情報(防災)	自動火災報知器・非常警報・非常灯	B 消防法による点検が年1回実施されており、点検を通じて不具合が発見できる
機械設備	避雷・屋外	避雷針・外灯	C 日常点検により不具合が発見できる
	空調	パッケージエアコン・室外機	C 日常使用で不具合が発見できる
	換気・排煙	送風機・排煙機	C 窓やドアを開けるなどして代替え措置が可能
	給排水衛生	屋内給水設備・ポンプ	C 衛生的環境の確保に関する法律により貯水槽の清掃を年1回実施されており、清掃に合わせて点検を行い不具合が発見される
	消火	消火栓	B 消防法による点検が年1回実施されており、点検を通じて不具合が発見できる

(2) 情報の更新と整理

日常点検については、今後2年周期で点検を行うものとします。また、定期調査報告における調査の項目や方法、判定基準等を定めた「国土交通省告示第282号（平成20年3月10日）」を参考として、建築基準法に基づく有資格者による専門的な点検については、3年ごとの実施に努めます。なお、効率的・効果的に維持管理を実施するため、本計画の構造躯体以外の劣化状況等において使用した「劣化状況調査票」の項目を点検・評価の対象とします。

点検結果の整理は、次頁以降に示す財政局資産運用課公表の公共建築物点検マニュアル（平成25年3月）の「点検チェックシート」を参考に、点検結果を記録するとともに、新たな劣化状況や改善状況の記録、工事履歴などを設定します。

 日常点検は2年毎、有資格者による専門的な点検は3年毎の実施に努めます

■建築物の日常点検チェックシート（参考）

V 点検チェックシート

点検日 年 月 日 点検者()

点検のポイント	対象部位 非該当		点検結果 劣化		メモ欄
	当	否	無	有	
1～3. < 建 築 >					
1. 建物(敷地)					
① 敷地内の舗装などに大きなひび割れ・陥没、傾斜、損傷はないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
② 排水溝などに排水不良や損傷はないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
③ 塀(補強コンクリートブロック等)や擁壁に著しいひび割れ、破損、傾斜等はないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
○④ 門やフェンスに腐食(著しい錆)や変形はないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
2. 建物(外部)					
2-1 屋上・屋根					
① 屋上床面に歩行上危険なひび割れ、反りや目地部の欠落や防水層等の膨れ等はないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
○② 排水溝に著しいひび割れ、浮きやゴミ溜まり、植生等はないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
③ 屋根ふき材に割れ、変形、腐食(著しい錆)等がないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
④ 屋上回りのパラペットの立ち上がり面や笠木に著しいひび割れ、白華や破損はないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
⑤ 屋上やバルコニーに設置された手すり・タラップに腐食(著しい錆)やがたつきはないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
○⑥ 雨樋のつまり、がたつき、破損等や支持金物に腐食(著しい錆)はないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
⑦ 煙突本体、接合部や付帯金物に著しいひび割れ、肌分かれ、腐食(著しい錆)等はないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
⑧ 設備機器や広告塔等の本体や接合部、支持部分に腐食(著しい錆)や損傷等はないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
2-2 外壁					
外壁躯体に異常はないか(以下の該当する項目毎に点検)。 ・鉄筋コンクリート造:鉄筋露出や著しい白華、ひび割れ、欠損等がないか。					
① 鉄骨造:鋼材に腐食(著しい錆)等はないか。 ・木造:木材の著しい腐朽、損傷や虫害又は緊結金物に腐食(著しい錆)はないか。 ・その他の構造:れんが、石、ブロック等に割れ、ずれ又は変位等や目地モルタルに著しい欠落はないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
② 外装仕上げ材(タイル、モルタル、石等)に剥落等や著しい白華、ひび割れ、浮き、錆、変形等はないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
○③ 吹付け等の塗料仕上げ部分に浮き、剥落等はないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
○④ 目地、シーリング材にひび割れ等はないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
⑤ 広告板、空調設備等で、機器本体及び支持部分等に腐食(著しい錆)や損傷等はないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
2-3 外部建具 他					
① 窓やドア本体に腐食(著しい錆)、ネジ等の緩みによる変形はないか。シーリング材にひび割れはないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
② 窓ガラスに亀裂その他の損傷はないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
○③ 扉の開閉時に著しいガタツキはないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
○④ 施錠、解錠に不具合はないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
⑤ 基礎コンクリートに鉄筋露出や著しいひび割れ・欠損等はないか。礎石部にずれはないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
⑥ 屋外階段に歩行上支障があるひび割れ等や、手すりにがたつき等がないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
⑦ 給気口、排気口、防虫網等に通気不良となる塵埃、障害物がないか。損傷はないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
⑧ 土台が木造の場合は、木材の著しい腐朽、損傷や虫害又は緊結金物に腐食(著しい錆)等はないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
⑨ 免震装置の鋼材部分に腐食(著しい錆)等はないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
3. 建物(内部)					
① 天井、壁、床の仕上げ材に浮き、たわみ、損傷、剥落等はないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
○② 壁や天井にむやみに物を取り付けていないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
③ 階段に歩行上支障があるひび割れ、腐食(著しい錆)等や手すり、滑り止めに損傷はないか。 室内躯体に異常はないか(以下の該当する項目毎に点検)。 ・鉄筋コンクリート造:鉄筋露出や著しい白華、ひび割れ、欠損等がないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
④ 鉄骨造:鋼材に著しい錆による腐食等はないか。 ・木造:木材の著しい腐朽、損傷や虫害又は緊結金物に腐食(著しい錆)はないか。 ・その他の構造:れんが、石、ブロック等に割れ、ずれ又は変位等や目地モルタルに著しい欠落はないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
⑤ 躯体が鉄骨造の場合は、耐火被覆の剥がれ等により鉄骨が露出していないか 防火設備(防火戸、シャッター、ダンパー等)に変形、損傷はないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
⑥ 防火設備の建具の動作に支障がないか。 廊下、防火戸、避難ハシゴ、救助袋、避難経路上等を物品がふさいでないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
⑦ 防煙壁に亀裂、破損、変形等はないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
⑧ トイレ、湯沸し室等に異臭、水漏れはないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
⑨ トイレ、湯沸し室等の排水状況は良好か。換気機器は正常に作動し、排気しているか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
○⑩ 点検口本体及び枠にずれ、変形、腐食等がないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
⑪ 石綿(アスベスト)の表面の毛羽立ち、繊維のくずれ、たれ下がり等がないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
⑫ 石綿(アスベスト)を囲い込み又は封じ込めている部材に亀裂、剥落等はないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
⑬ 給気口、排気口、ドアガラリ等に通気不良となる塵埃、障害物がないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
⑭ 給気口、排気口、ドアガラリ等に損傷はないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

※○印は、法令点検チェック項目にない点検項目

■電気・機械・防災設備の日常点検チェックシート（参考）

点検のポイント	対象部位 非該当	点検結果 劣化		メモ欄
		無	有	
4. < 電気設備 >				
4-1. 受変電・自家発電設備				
① 受変電設備の扉やフェンスは施錠されているか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
② 受変電設備に錆が発生していないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
③ 受変電設備に、異音・異臭はないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
○④ 自家発電設備に錆が発生していないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
⑤ 燃料は、十分あるか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
⑥ 冷却水は、十分あるか。(水冷の場合)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
4-2. 分電盤・照明設備				
○① 分電盤に損傷、腐食、錆がないか。異音、異臭が発生していないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
○② 分電盤の変形や前に物を置くことによる開閉の障害はないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
○③ 照明器具のスイッチの入り切り及び点灯は正常か。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
④ 照明器具や支持金物に損傷、変形がないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
4-3. コンセント設備				
○① コンセント、スイッチ、プレートに損傷、変形等がないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
○② コンセントや延長コードがたこ足配線になっていないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
○③ アースが必要な器具にアースが接続されているか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
4-4. 屋外電気設備				
○① 外灯にぐらつき、傾き、腐食はないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
○② 屋外灯の点灯時間や消灯時間がずれていないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
③ 避雷針、テレビアンテナ、支柱に傾き、ぐらつき、腐食、破損等、避雷導線に破断がないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
○④ 盤類、ボックス類、電線管に腐食や損傷がないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
5. < 機械設備 >				
5-1. 給排水設備				
① 受水槽、高置水槽及び架台、基礎に腐食、漏水、損傷、変形、沈下、固定の緩みがないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
○② 受水槽、高置水槽の点検口は、施錠されているか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
③ オーバーフロー管から水が流出していないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
④ オーバーフロー管、通気管の防虫網が破れていないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
○⑤ ポンプからの異常振動、異音等はないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
⑥ 給水・排水配管から水漏れ、腐食はないか。保温材は濡れていないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
⑦ 給水栓より赤水がでていないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
⑧ トイレ、手洗い、流しからの排水状況は良好か。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
○⑨ 排水口より異臭がしないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
5-2. ガス設備				
○① ガス湯沸器、ガスコンロ及びガス管からガス臭がしていないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
○② ガス管にひび割れなどの劣化はないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
○③ ガス器具やその支持金物に変形、腐食がないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
5-3. 暖房・空調・換気設備				
① 各機器(内部、外部共)の損傷、変形、腐食(著しい錆)はないか。異常振動、異音はないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
② 各機器(内部、外部共)の固定(基礎、ボルト等)に亀裂、腐食(著しい錆)、ゆるみはないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
③ 配管、バルブに変形、破損、腐食(著しい錆)はないか。また水漏れや油漏れの痕跡はないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
○④ 吹出口、吸込口にほこりが著しく付着していないか。前に物が置かれていないか。異音はないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
⑤ 送風機等は正常に作動しているか。異音はないか。換気風量の極端な変化はないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
⑥ ダクト、ダンパー及び支持金物類に損傷、腐食(著しい錆)変形がないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
⑦ 防火ダンパーは、「閉」になっていないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
6. < 防災設備 >				
6-1. 自動火災報知設備				
○① 受信機、発信機等に埃が付着していないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
○② 感知器に著しい汚れ、損傷等がないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
6-2. 非常照明、誘導灯設備				
① 非常照明器具は点灯するか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
○② ロッカー等により非常照明器具等が隠れていないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
6-3. 消火設備				
① 消火器、消火栓の前等に物を置いていないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
② 屋内消火栓箱に変形や腐食がないか。また、開閉することができるか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
6-4. 排煙設備				
① 排煙窓が備品や書類で開放不能になっていないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
② 排煙・給気風道に変形、破損又は著しい腐食等はないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
○③ 排煙窓操作器(オペレーター)の前に物を置いていないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
○④ 排煙窓は作動するか。腐食、変形はないか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

※○印は、法令点検チェック項目にない点検項目

第5章 長寿命化の実施計画

1. 改修等の優先順位付け

今後の長寿命化改修等を行う際の優先順位について、以下の点を考慮して優先度の高い施設を設定します。なお、改修等は基本的に棟単位で行います。

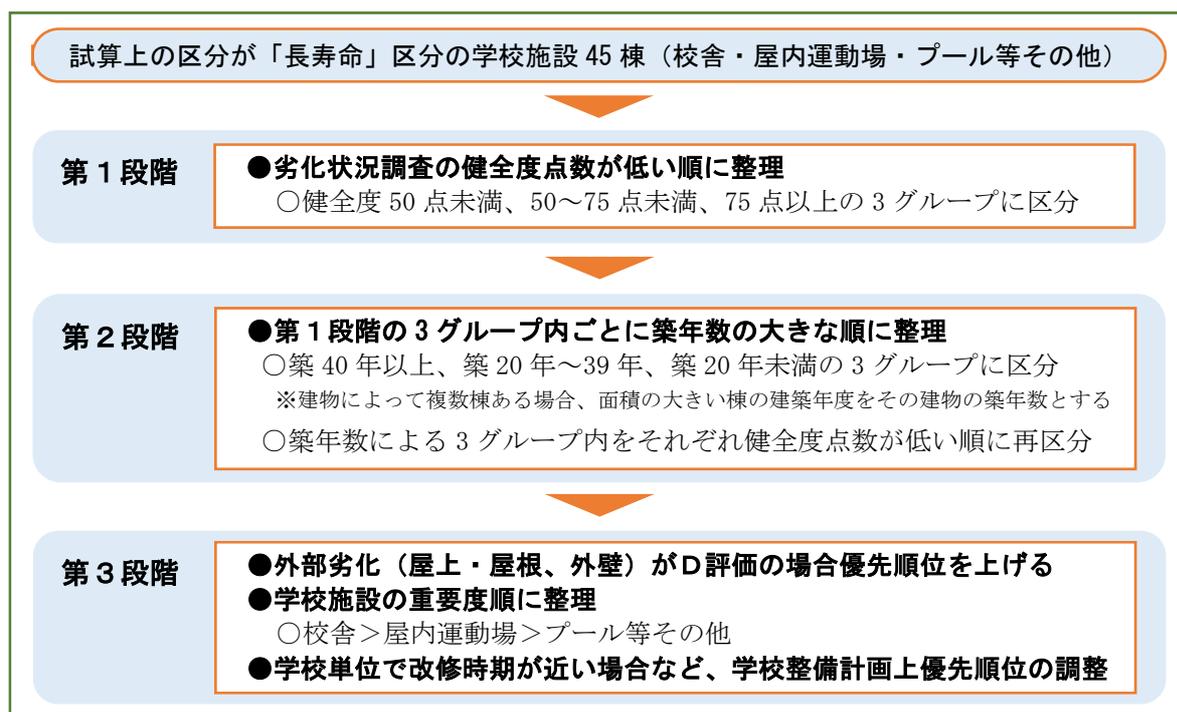
■改修等の優先順位付けの基本的な考え方

長寿命化改修の優先度が高い棟

- 劣化状況調査結果による優先度：健全度小 ⇒ 健全度大の順
- 建築後の年数による優先度：築年数大 ⇒ 築年数小の順
- 学校施設の重要度による優先度：校舎 ⇒ 屋内運動場 ⇒ その他の順
- その他今後の学校整備計画上考慮すべき理由による優先度

構造躯体の健全性評価では、対象施設の試算上の区分が「要調査」の棟は無く、全ての棟が「長寿命」となっています。このような中、優先順位の設定にあたっては、第1段階では劣化状況調査の健全度が低い順に50点未満、50～75点未満、75点以上の3グループに区分します。第2段階は、第1段階の3つのグループ内ごとにそれぞれ築年数の大きい順に整理し、整理された築年数による3グループ内ごとに、再度健全度が低い順に整理します。第3段階は、建物の外部劣化（屋上・屋根、外壁）がD評価の場合、学校生活で最も長い時間を過ごす校舎を優先する学校施設の重要度（校舎＞屋内運動場＞プール等その他）や学校単位の整備時期などを加味して優先順位を調整の上設定します。なお、最終の優先順位は、次頁以降の設定表の第3段階順位とします。

■優先順位付け設定フロー



■優先順位の設定：第1グループ（健全度50点未満）

建物基本情報										健全性	劣化状況評価			優先順位			
学校名	通し番号	棟番号	用途区分	建物名	建築年度 西暦/和暦	築年数	構造	階数	延床面積 (㎡)	長寿命 化判定	健全度 (100点 満点)	屋根 屋上	外壁	第1 段階 順位	第2 段階 順位	第3 段階 順位	
美崎小学校	5	10	校舎	管理, 特別教室	1979	S54	41	RC	2	1,034	長寿命	31	C	D	1	1	1
美崎小学校	7	14	校舎	普通教室	1979	S54	41	RC	2	640	長寿命	31	C	D	2	2	2
清水小学校	24	13	校舎	普通教室	1979	S54	41	RC	2	840	長寿命	31	C	D	3	3	3
清水小学校	25	14	校舎	普通教室	1980	S55	40	RC	2	705	長寿命	31	C	D	4	4	4
比屋定小学校	14	07-1	校舎	普通教室	1983	S58	37	RC	2	600	長寿命	46	D	C	10	10	5
比屋定小学校	13	05	校舎	管理	1977	S52	43	RC	2	193	長寿命	40	C	C	7	5	6
久米島小学校	9	08	校舎	管理, 普通, 特別教室	1980	S55	40	RC	2	1,619	長寿命	40	C	C	5	6	7
久米島小学校	12	11	校舎	特別教室	1980	S55	40	RC	2	264	長寿命	40	C	C	6	7	8
清水小学校	26	15-1	校舎	管理	1980	S55	40	RC	2	745	長寿命	43	B	C	8	8	9
清水小学校	27	15-2	校舎	管理(放送室)	1980	S55	40	RC	2	20	長寿命	43	B	C	9	9	10

■優先順位の設定：第2グループ（健全度50～75点未満）

建物基本情報										健全性	劣化状況評価			優先順位			
学校名	通し番号	棟番号	用途区分	建物名	建築年度 西暦/和暦	築年数	構造	階数	延床面積 (㎡)	長寿命 化判定	健全度 (100点 満点)	屋根 屋上	外壁	第1 段階 順位	第2 段階 順位	第3 段階 順位	
仲里小学校	3	11	校舎	普通, 特別教室	1990	H2	30	RC	2	651	長寿命	70	D	B	16	16	11
久米島西中学校	33	14-3	校舎	特別教室	1993	H5	27	RC	2	1,107	長寿命	70	D	B	17	17	12
仲里小学校	1	08	校舎	特別教室	1975	S50	45	RC	2	284	長寿命	50	C	B	11	11	13
仲里小学校	2	09	校舎	管理, 普通, 特別教室	1979	S54	41	RC	2	1,608	長寿命	50	C	B	12	12	14
久米島西中学校	35	17	校舎	多目的教室	1993	H5	27	RC	1	231	長寿命	59	C	B	13	13	15
大岳小学校	20	12-1	校舎	管理, 普通教室	1981	S56	39	RC	2	1,325	長寿命	62	C	C	14	14	16
大岳小学校	21	12-2	校舎	管理, 普通教室	1991	H3	29	RC	2	70	長寿命	62	C	C	15	15	17
清水小学校	32	24	校舎	特別教室	1999	H11	21	RC	3	836	長寿命	72	C	B	18	18	18

■優先順位の設定：第3グループ（健全度75点以上）

建物基本情報										健全性	劣化状況評価			優先順位			
学校名	通し番号	棟番号	用途区分	建物名	建築年度 西暦/和暦	築年数	構造	階数	延床面積 (㎡)	長寿命 化判定	健全度 (100点 満点)	屋根 屋上	外壁	第1 段階 順位	第2 段階 順位	第3 段階 順位	
球美中学校	40	12	校舎	普通, 特別教室	1982	S57	38	RC	2	1,186	長寿命	75	B	B	32	20	19
比屋定小学校	15	07-2	校舎	特別教室	1983	S58	37	RC	2	152	長寿命	75	B	B	21	21	20
球美中学校	42	15	校舎	特別教室	1995	H7	25	RC	2	392	長寿命	75	B	B	34	28	21
大岳小学校	22	16	校舎	特別教室	1997	H9	23	RC	3	632	長寿命	75	B	B	25	30	22
比屋定小学校	17	18	校舎	特別教室	1999	H11	21	RC	2	260	長寿命	75	B	B	23	34	23
仲里小学校	4	12	体育館	屋内運動場	1993	H5	27	RC	2	919	長寿命	75	B	B	19	25	24
清水小学校	29	21-1	体育館	屋内運動場	1995	H7	25	RC	2	1,027	長寿命	75	B	B	27	26	25
清水小学校	30	21-2	体育館	屋体クラブハウス	1995	H7	25	RC	2	200	長寿命	75	B	B	28	27	26
美崎小学校	6	13	体育館	屋内運動場	1996	H8	24	RC	2	919	長寿命	75	B	B	20	29	27
球美中学校	43	16-1	体育館	屋内運動場	1998	H10	22	RC	2	1,138	長寿命	75	B	B	35	32	28
球美中学校	44	16-2	体育館	屋内運動場	1998	H10	22	RC	2	200	長寿命	75	B	B	36	33	29
比屋定小学校	16	09	体育館	屋内運動場	2000	H12	20	RC	2	994	長寿命	75	B	B	22	35	30
久米島西中学校	36	19	体育館	屋内運動場	2000	H12	20	RC	2	1,138	長寿命	75	B	B	31	36	31
大岳小学校	18	10-2	その他	水泳プール	1981	S56	39	RC	1	141	長寿命	75	B	B	24	19	32
清水小学校	28	19	その他	体育小屋	1985	S60	35	RC	1	30	長寿命	75	B	B	26	22	33
久米島西中学校	34	15	その他	倉庫	1985	S60	35	RC	1	32	長寿命	75	B	B	30	23	34
球美中学校	41	13	その他	クラブハウス	1987	S62	33	RC	1	200	長寿命	75	B	B	33	24	35
清水小学校	31	23	その他	水泳プール	1998	H10	22	RC	1	153	長寿命	75	B	B	29	31	36
久米島西中学校	38	21	校舎	普通教室	2006	H18	14	RC	2	1,017	長寿命	81	B	B	37	37	37
美崎小学校	8	15	校舎	特別教室	2005	H17	15	RC	2	185	長寿命	91	B	B	38	41	38
久米島西中学校	37	20	校舎	管理	2006	H18	14	RC	1	505	長寿命	91	B	B	42	42	39
球美中学校	45	17-1	校舎	特別教室	2014	H26	6	RC	1	1,033	長寿命	100	A	A	45	45	40
久米島小学校	10	10-1	体育館	屋内運動場	2001	H13	19	RC	2	922	長寿命	91	B	B	39	38	41
大岳小学校	23	17	体育館	屋内運動場	2002	H14	18	RC	2	954	長寿命	91	B	B	41	40	42
久米島小学校	11	10-2	体育館	屋内運動場	2001	H13	19	RC	2	233	長寿命	93	A	B	43	43	43
大岳小学校	19	10-3	その他	水泳プール	2002	H14	18	RC	1	35	長寿命	91	B	B	40	39	44
久米島西中学校	39	22	その他	変電室	2006	H18	14	RC	1	22	長寿命	98	B	A	44	44	45

2. 実施計画の策定

(1) 今後の学校施設の整備について

長寿命化改修は、前述の優先順位の設定表の第1グループから順次実施計画の検討に取り組みます。年間の整備規模は、本町の財政規模やこれまでの整備状況、保有量と老朽化の状況等を考慮して、概ね年3億円程度の整備規模を目標とし、各棟を2箇年かけて長寿命化改修を実施して平準化へ向けた検討を行います。なお、令和4～6（2022～2024）年度にかけて、美崎小学校の校舎をはじめとした耐震補強未実施となっている9棟の耐震補強工事を計画的に行い、さらにその後未診断未改修の1棟・193㎡の建物についても診断と補強を行います。また、劣化状況評価の屋根・屋上及び外壁がD評価の棟については5年以内に、C評価の棟は概ね10年以内に部位修繕を行うものとします。

これらの整備事業の財源については、国の補助金や起債、公共施設整備基金などを適切かつ効果的に活用して財政負担を軽減するものとします。

(2) 今後5年間の実施計画

令和3～7（2021～2025）年度の5年間の実施計画は、先の優先順位付けに従い、第1グループの美崎小学校の管理・特別教室棟（棟番号10）から優先順位6番目の比屋定小学校の管理棟（棟番号05）までの6棟・4,012㎡並びに通常の改修周期となる清水小学校の体育小屋棟（棟番号19）30㎡の長寿命化改修工事をはじめとして、美崎小学校の特別教室棟（棟番号15）の大規模改造工事、9棟の耐震補強工事、仲里小学校と久米島西中学校の屋上防水の部位修繕等の整備を行います。以下に、コスト算出条件の設定と今後5年間の個別施設の整備計画表・グラフを示します。

■コスト算出条件の設定

項目		工事内容	数量	金額	単位	備考
長寿命化改修	校舎	仕上げ、設備の全面更新	延面積	198	千円/㎡	改築金額の60%
	屋内運動場	仕上げ、設備の全面更新	延面積	198	千円/㎡	改築金額の60%
	その他施設	仕上げ、設備の全面更新	延面積	198	千円/㎡	改築金額の60%
大規模改造	校舎	防水、屋根・外壁塗装、設備機器更新	延面積	82.5	千円/㎡	改築金額の25%
	屋内運動場	防水、屋根・外壁塗装、設備機器更新	延面積	72.6	千円/㎡	改築金額の22%
	その他施設	防水、屋根・外壁塗装、設備機器更新	延面積	82.5	千円/㎡	改築金額の22%
部分改修	屋上防水・屋根	シート防水改修	延面積	20	千円/㎡	
	外壁	外壁塗装	延面積	20	千円/㎡	
耐震補強	校舎	鉄骨ブレース・RC壁増設・柱補強等	延面積	46.6	千円/㎡	
	その他施設	鉄骨ブレース・RC壁増設・柱補強等	延面積	46.6	千円/㎡	
経常修繕		小さな破損・破壊等の修繕	延面積	0.5	千円/㎡	
改築	校舎	校舎建替え（RC造）	延面積	330	千円/㎡	
	屋内運動場	屋内運動場建替え（RC造）	延面積	330	千円/㎡	
	その他施設	水泳プール・クラブハウス等建屋建替え（RC造）	延面積	330	千円/㎡	

資料：総務省総務省公共施設等更新費用試算ソフト更新単価、文部科学省提供試算ソフト、文部科学省・地震に負けない学校施設（耐震補強事例集より）

■今後5年間の個別施設の整備計画表

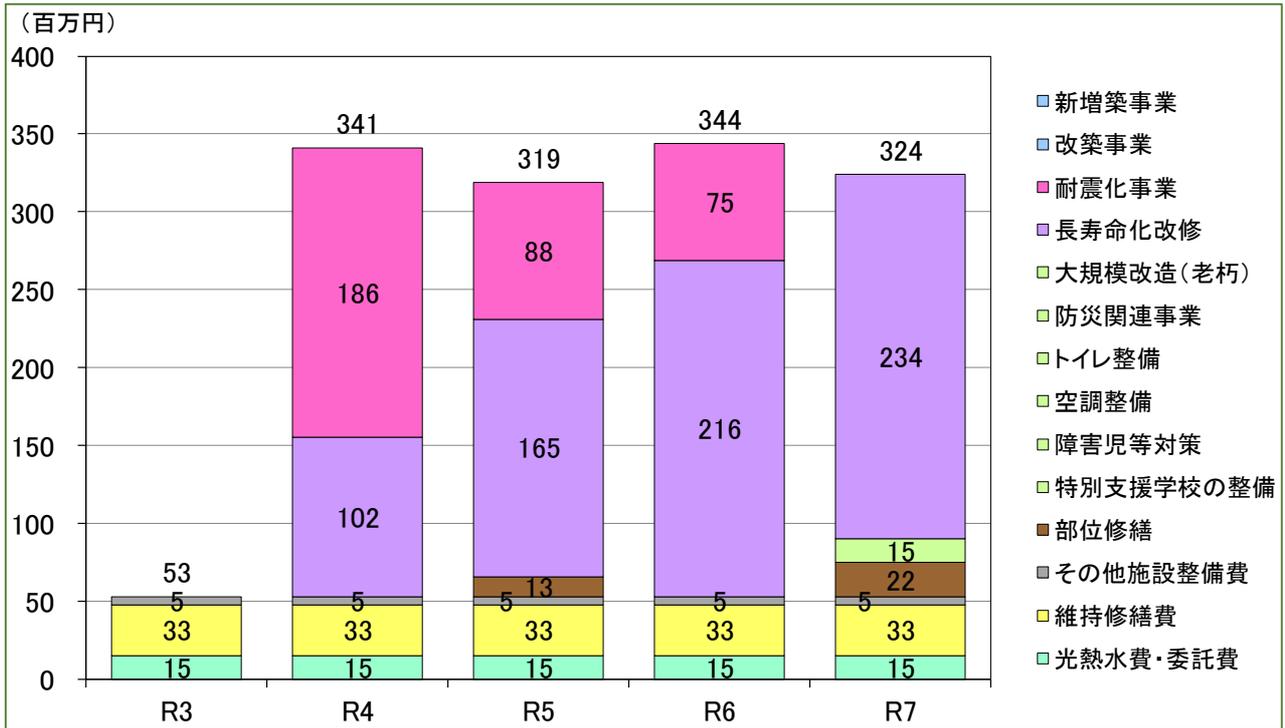
単位：百万円

事業名称	2021		2022		2023		2024		2025	
	R3		R4		R5		R6		R7	
	学校名	事業費	学校名	事業費	学校名	事業費	学校名	事業費	学校名	事業費
新增築事業										
改築事業										
耐震化事業 (非構造部材の 対策含む)			美崎小 10管理,特別教室 美崎小 14普通教室 清水小 13普通教室 清水小 14普通教室 清水小 15-1管理 清水小 15-2管理	48 30 39 33 35 1	仲里小 08特別教室 仲里小 09管理,普通,特別	13 75	久米島小 08管理,普通,特別	75		
長寿命化改修			美崎小 10管理,特別教室	102	美崎小 10管理,特別教室 美崎小 14普通教室	102 63	美崎小 14普通教室 清水小 13普通教室 清水小 14普通教室	63 83 70	清水小 13普通教室 清水小 14普通教室 比屋定小 07-1普通教室 比屋定小 05管理 清水小 19体育小屋	83 70 59 19 3
大規模改造(老朽)									美崎小 15特別教室	15
防災関連事業										
トイレ整備										
空調整備										
障害児等対策										
特別支援学校の整備										
部位修繕					仲里小 11屋上	13			久米島 西中14-3屋上	22
その他施設整備費	年間	5	年間	5	年間	5	年間	5	年間	5
維持修繕費	年間	33	年間	33	年間	33	年間	33	年間	33
光熱水費・委託費	年間	15	年間	15	年間	15	年間	15	年間	15
合計		53		341		319		344		324

施設整備費

作図：文部科学省提供ソフト

■ 今後 5 年間の個別施設の整備計画グラフ



作図：文部科学省提供ソフト

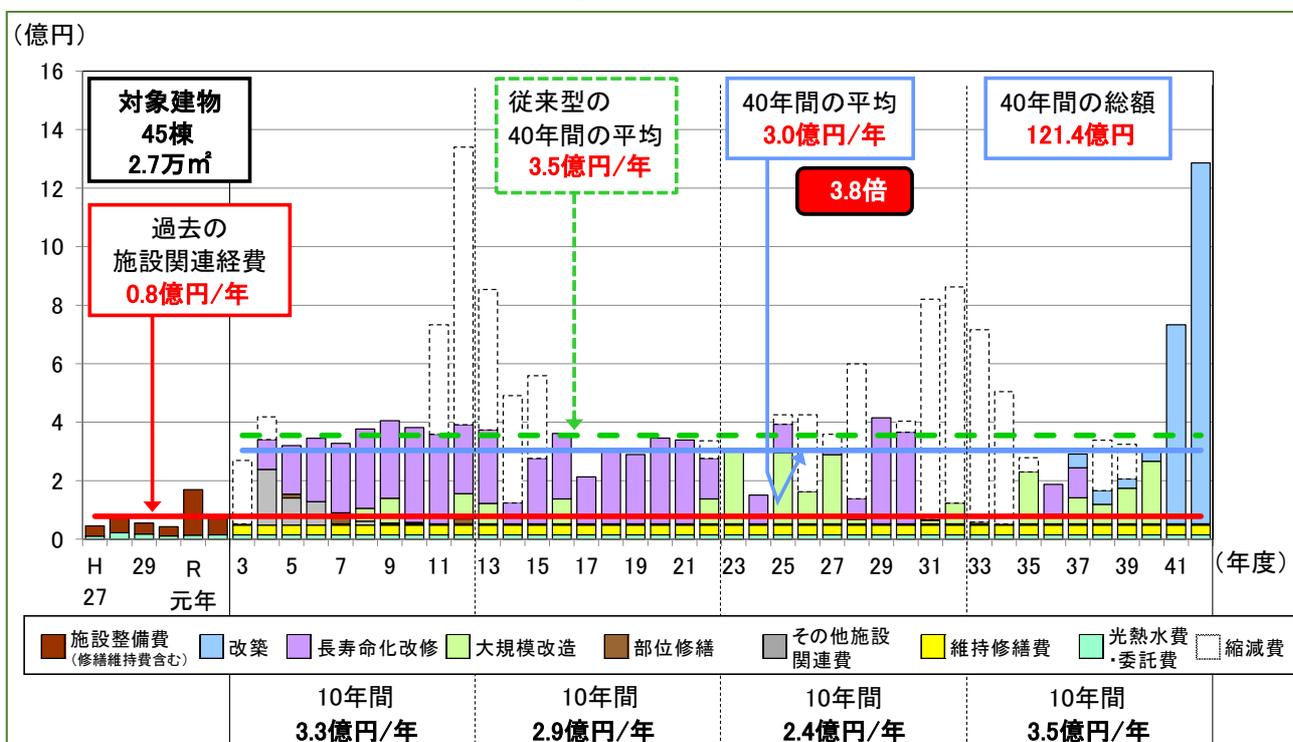
3. 長寿命化のコストの見通しと効果

(1) 長寿命化のコストの見通し

老朽化状況調査の結果を考慮した施設整備の優先順位付け及び5年間の実施計画を加味した長寿命化のコストの見通しについて、文部科学省提供ソフトにより試算すると、40年間の総額は121.4億円、40年間の平均は3.0億円/年となります。コストの総額は0.4億円の減額となり、前述の長寿命化型と大差はないものの、本計画の計画期間である今後の10年間では、年平均3.6億円から3.3億円へと減額され、整備費の平準化が図られる結果となっています。

今後は、直近5年間の実施計画及びこれ以降の長寿命化改修や予防保全型の部位修繕の導入を検討するとともに、35～40年後に改築工事が集中する時期においては、児童生徒数の推移や財政運営状況、地域の状況等を考慮した学校施設の再配置とともに、改築が必要な施設の減築を検討するなど、更なるコストの縮減に努めます。

■長寿命化の実実施計画を加味した維持・更新コストの試算



作図：文部科学省提供ソフト

(2) 長寿命化の効果

施設の整備を従来の手法から長寿命化に切り替え、計画的な予防保全にシフトすることで、施設を長く使い続けることができるため、安全に配慮した長期利用や有効活用、建替え費の軽減が可能となります。また、建替え時期を先に延ばすことができるため、その時点での児童生徒数や財政運営状況、地域の実情に応じた学校施設のあり方を十分検討できる時間的余裕が生まれます。さらに、建替えに比べて廃棄物を減少することができるとともに、省エネ型の改修を導入することにより、光熱水費の縮減につながるため、トータルの維持・管理コストも縮減されます。

次頁に、実施計画を考慮した40年間のロードマップとして長期整備計画の概要を示します。

■実施計画を考慮した40年間のロードマップ【令和3～22（2021～2040）年度】

: 改築
 : 長寿命化改修
 : 大規模改造
 : 部位修繕
 : 耐震補強
 単位：百万円

学校名	番号	棟番号	建物名	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22	
				2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	2039	2040	
仲里 小学校 262	1	08	特別			13						28	28											
	2	09	管理、普通、特別			75						159	159											
	3	11	普通、特別			13							64	64										
	4	12	屋内運動場												91	91								
美崎 小学校 263	5	10	管理、特別		150	102																	85	
	6	13	屋内運動場															91	91					
	7	14	普通		30	63	63																	
	8	15	特別					15																
久米島 小学校 264	9	08	管理、普通、特別				75		160	160														
	10	10-1	屋内運動場											67										
	11	10-2	屋内運動場										17											
	12	11	特別						26	26														
比屋定 小学校 265	13	05	管理					19	28															
	14	07-1	普通					59	59															
	15	07-2	特別									15	15											
	16	09	屋内運動場																					
大岳 小学校 267	17	18	特別																			26	26	
	18	10-2	水泳プール									14	14											
	19	10-3	水泳プール											3										
	20	12-1	管理、普通								131	131												
	21	12-2	管理、普通							3				7	7									
清水 小学校 268	22	16	特別																63	63				
	23	17	屋内運動場										69											
	24	13	普通		39		83	83																
	25	14	普通		33		70	70																
	26	15-1	管理		35					74	74													
	27	15-2	管理		1					2	2													
	28	19	体育小屋					3	3															
	29	21-1	屋内運動場														102	102						
久米島 西中学校 3732	30	21-2	クラブハウス													20	20							
	31	23	水泳プール																		15	15		
	32	24	特別									33								83	83			
	33	14-3	特別					22								110	110							
	34	15	倉庫						3	3														
	35	17	多目的教室								5					23	23							
	36	19	屋内運動場																			113	113	
球美 中学校 3676	37	20	管理					42																
	38	21	普通						84															
	39	22	変電室					2																
	40	12	普通、特別								117	117												
	41	13	クラブハウス										20	20										
	42	15	特別														39	39						
その他整備・修繕・光熱水費等	43	16-1	屋内運動場																		113	113		
	44	16-2	屋内運動場																		20	20		
	45	17-1	特別													85								
年間整備費				53	341	319	344	324	376	405	382	358	408	373	124	277	362	214	305	290	347	340	277	

■実施計画を考慮した40年間のロードマップ【令和23～42（2041～2060）年度】

: 改築
 : 長寿命化改修
 : 大規模改造
 : 部位修繕
 : 耐震補強
 単位：百万円

学校名	番号	棟番号	建物名	R23	R24	R25	R26	R27	R28	R29	R30	R31	R32	R33	R34	R35	R36	R37	R38	R39	R40	R41	R42	
				2041	2042	2043	2044	2045	2046	2047	2048	2049	2050	2051	2052	2053	2054	2055	2056	2057	2058	2059	2060	
仲里 小学校 262	1	08	特別			23												47	47					
	2	09	管理, 普通, 特別					133														265	265	
	3	11	普通, 特別										54											
	4	12	屋内運動場												67									
美崎 小学校 263	5	10	管理, 特別																		171	171		
	6	13	屋内運動場															67						
	7	14	普通	53																	106	106		
久米島 小学校 264	8	15	特別					18	18															
	9	08	管理, 普通, 特別			134																	267	
	10	10-1	屋内運動場							91	91													
	11	10-2	屋内運動場							23	23													
比屋定 小学校 265	12	11	特別			22																	44	
	13	05	管理	16																32	32			
	14	07-1	普通	50																				
	15	07-2	特別						13															
	16	09	屋内運動場		98	98																		
大岳 小学校 267	17	18	特別																		21			
	18	10-2	水泳プール									12												
	19	10-3	水泳プール								3	3												
	20	12-1	管理, 普通				109																	
	21	12-2	管理, 普通											6										
	22	16	特別																52					
清水 小学校 268	23	17	屋内運動場							94	94													
	24	13	普通	69																		139	139	
	25	14	普通	58																			116	
	26	15-1	管理			61																	123	
	27	15-2	管理			2																	3	
	28	19	体育小屋					2																
	29	21-1	屋内運動場														75							
	30	21-2	クラブハウス														15							
	31	23	水泳プール																			13		
	32	24	特別																		69			
久米島 西中学校 3732	33	14-3	特別													91								
	34	15	倉庫						3															
	35	17	多目的教室													19								
	36	19	屋内運動場																		83			
	37	20	管理							50	50													
	38	21	普通								101	101												
球美 中学校 3676	39	22	変電室							3	3													
	40	12	普通, 特別					98																
	41	13	クラブハウス										17											
	42	15	特別													32								
	43	16-1	屋内運動場																		83			
44	16-2	屋内運動場																		15				
45	17-1	特別														102	102							
その他整備・修繕・光熱水費等				53	53	53	53	53	53	53	53	53	53	53	53	53	53	53	53	53	53	53	53	53
年間整備費				299	151	393	162	304	140	415	365	68	124	59	53	230	187	292	167	206	300	734	1,287	

第6章 長寿命化計画の継続的運用方針

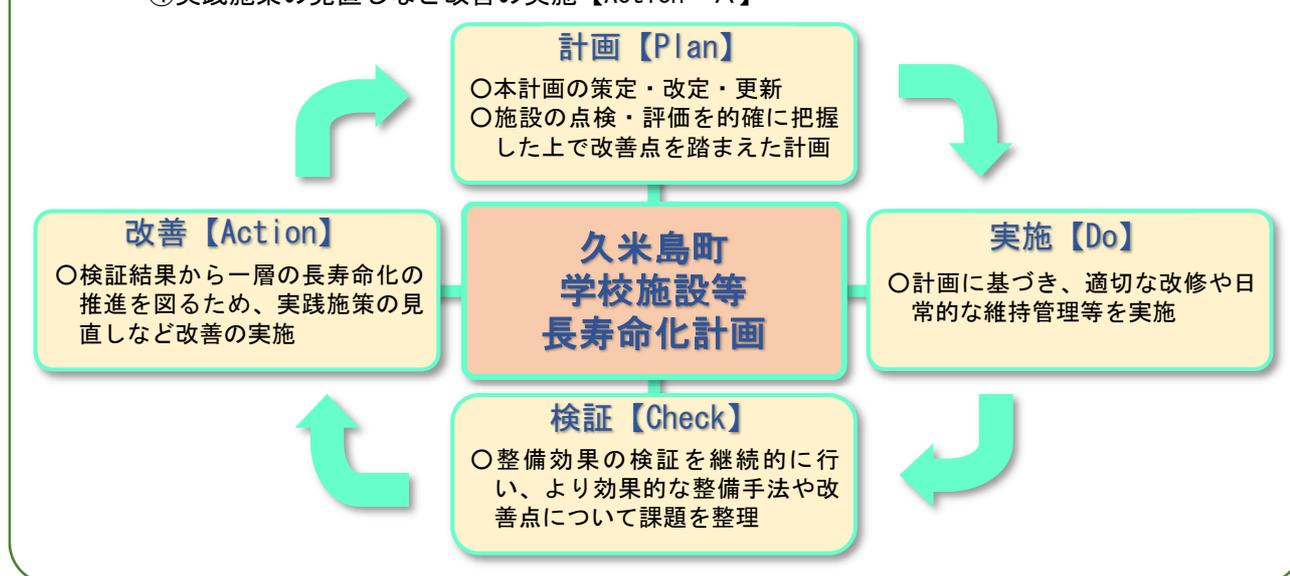
1. 長寿命化計画のPDCAサイクル

本計画をより効果的・継続的に進めていくためには、将来の学校教育を取り巻く環境の変化や児童生徒数の変動、本町の財政状況等に随時対応する必要があり、上位関連計画や他の公共施設等の状況とも整合を図りつつ、メンテナンスサイクルであるPDCAサイクルを確立し、10年ごとに見直してフォローアップしていくことが重要です。

また、このPDCAサイクルを着実に確立し、長寿命化計画を継続的に運用していくためには、把握した現状データの蓄積に関する「情報基盤の整備と活用」、計画を継続的に運用するために必要な組織体制等の充実に関する「推進体制等の整備」、適切な期間内に実施する「フォローアップ」が重要となります。

■長寿命化計画のPDCAサイクル

- ①施設の点検・評価によって現状を的確に把握した上で、改善点を踏まえた長寿命化計画の策定・見直し【Plan=P】
- ②長寿命化計画に基づき、適切な改修や日常的な維持管理等の実施【Do=D】
- ③整備による効果の検証を継続的に行い、より効果的な整備手法などの改善すべき点の整理【Check=C】
- ④実践施策の見直しなど改善の実施【Action=A】



2. 情報基盤の整備・運用と活用方針

本計画のPDCAサイクルを着実に実行していくため、継続的に実態を把握したデータベースの蓄積、計画・評価のためのシミュレーションなどの基本情報とともに、光熱水費、修繕履歴・点検情報などを統一フォーマットで一元管理するなど、学校施設のマネジメントを支援するシステムの構築を検討します。

3. 推進体制等の整備

学校施設の老朽化や求められる機能の変化を的確に把握し、教育の円滑な推進を確保するとともに、本計画を継続的に運用していくためには、各学校と協力して不具合個所の早期把握と修繕対応を行うとともに、点検等の実施業者等との綿密な連携が重要となります。

さらには、施設に関するソフト・ハード面の広範な課題を解決するためには、所管である教育委員会が中心となり、全庁横断的な連携・調整機能を発揮できる庁内推進体制を構築し、本町全体の取組みとして推進する必要があります。特に、学校施設に関する地域の課題に対しては、各地域の自治会・町内会等の地域コミュニティ組織との綿密な連携とともに、地域住民との学校施設に関する情報と問題意識を共有することが重要であることから、今後の推進体制や情報共有のあり方を検討します。

4. フォローアップによる達成状況の管理

本計画のフォローアップについては、施設の老朽化に関する点検・評価を実施し、その結果を踏まえ、必要に応じて10年を基本として見直します。なお、状況により本計画の計画期間の範囲内であっても、計画の進捗状況等についてフォローアップを実施し、目標の達成状況等を把握します。

フォローアップの評価結果については、議会への報告や町民への公表の方法について検討します。また、避難所機能の強化、バリアフリー化、高効率照明への転換、太陽光発電等の再生エネルギーの導入による省エネ化などの社会的要請に対応するため、施設整備に努め、整備効果による検証を継続的に行い、PDCAサイクルを確立していきます。